



オンラインサロン嚥下セミナー

4月19日 (水) 20:00～

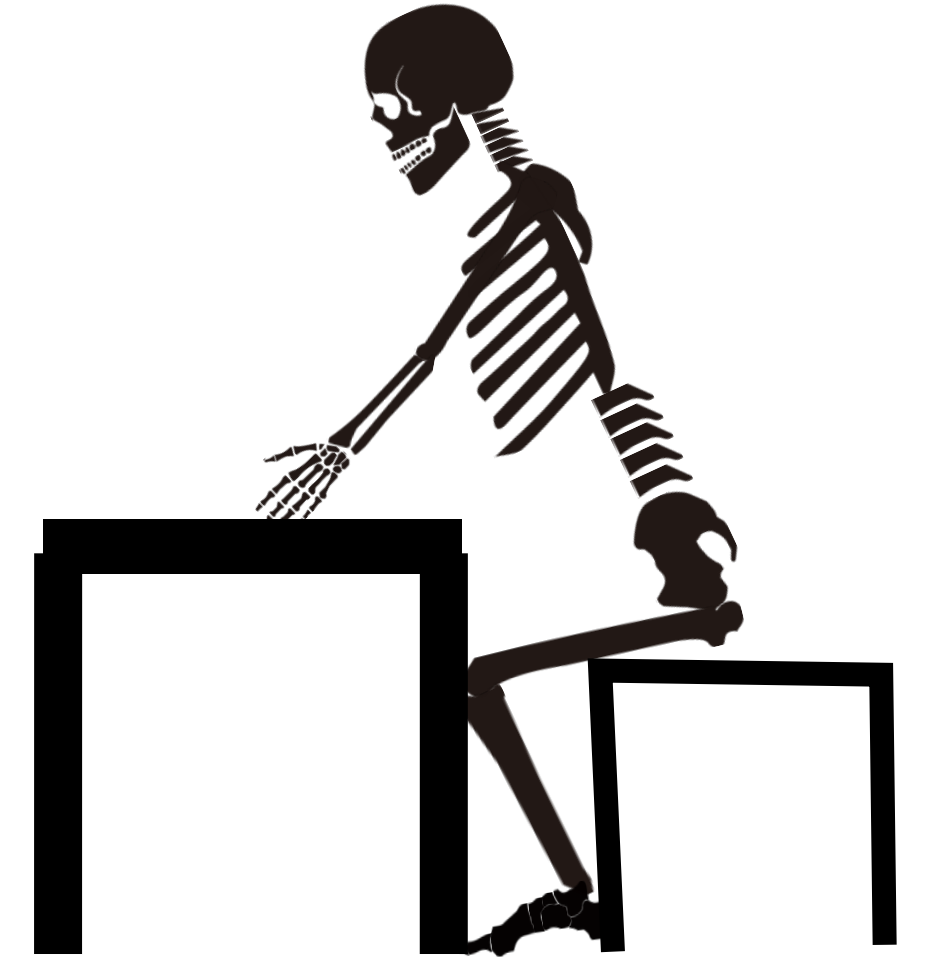
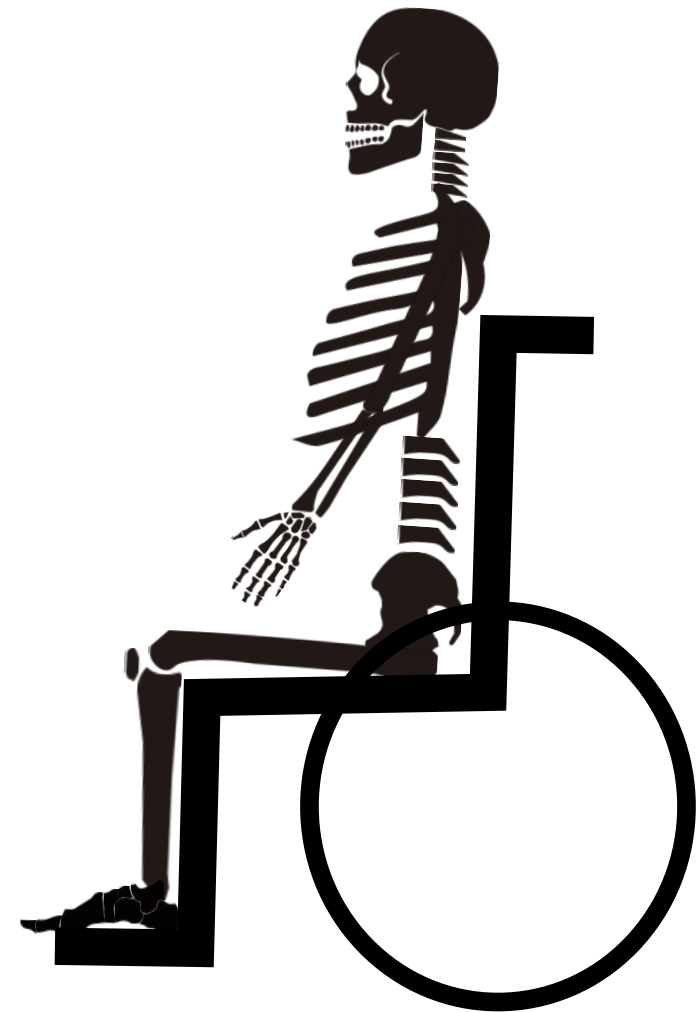
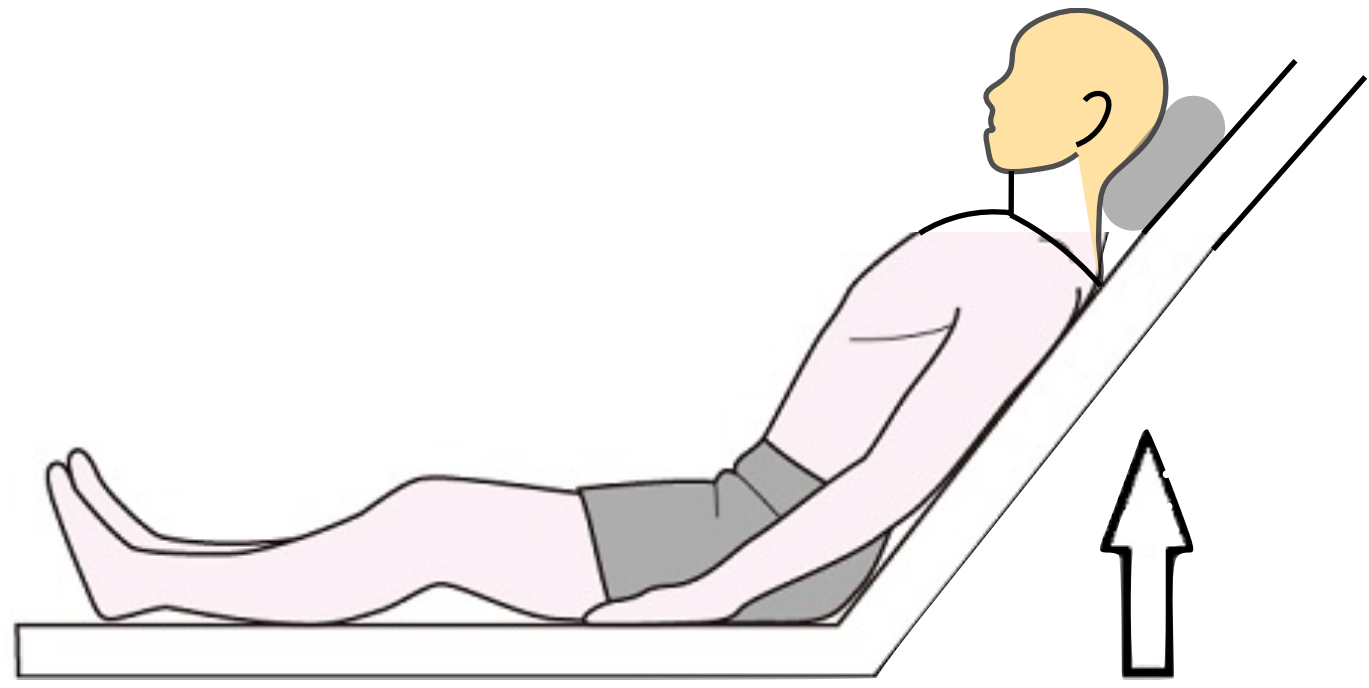
基礎から考える

《頸部ポジショニング》

脳外臨床研究会 嚥下セミナー講師 小西 弘晃



# 頸部ポジショニング

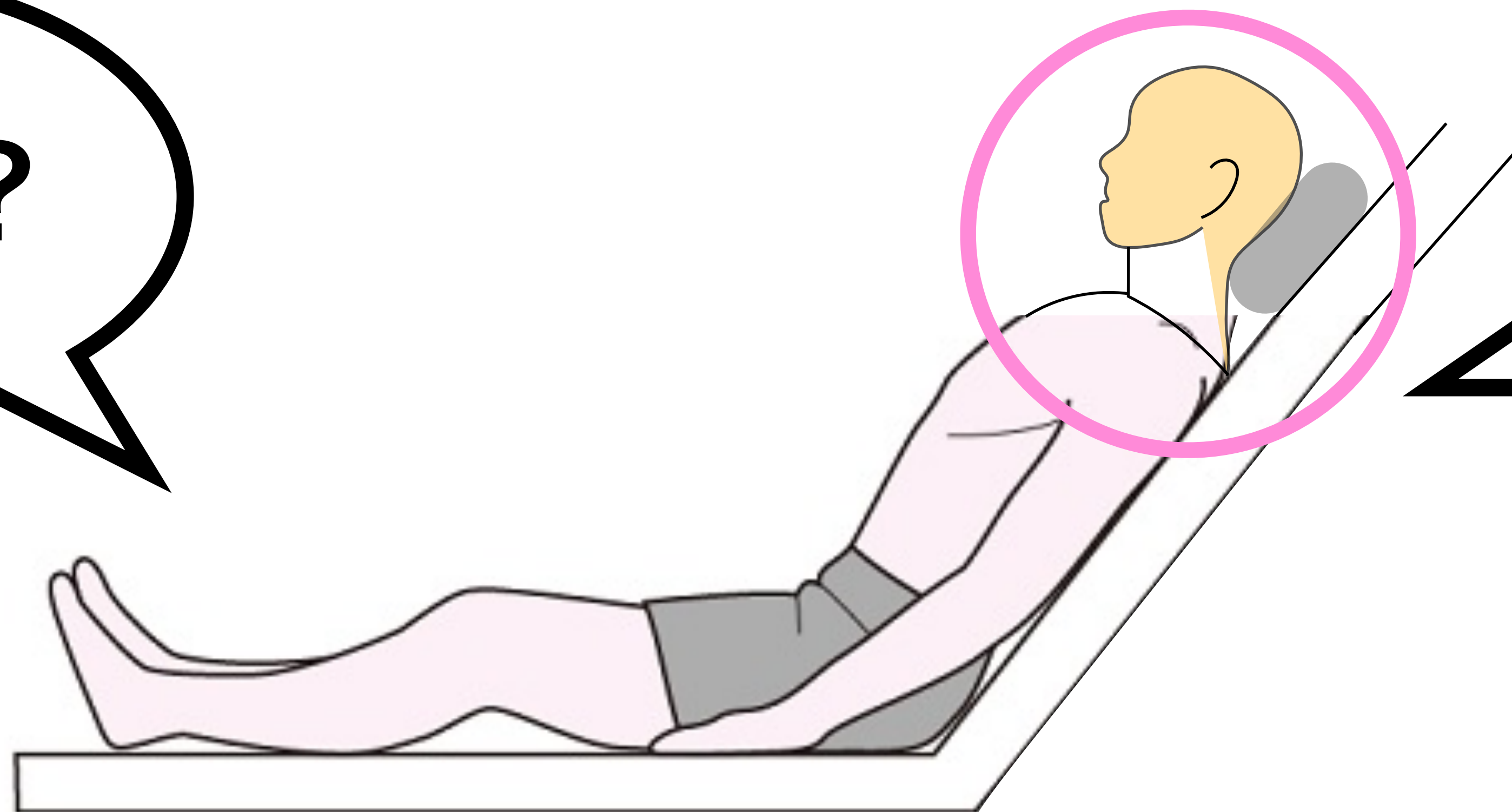




# こんな事に悩みませんか??

なぜ?

角度は?



どの位置?

頸部ポジショニング

ベストは?



# 今回伝えたい事

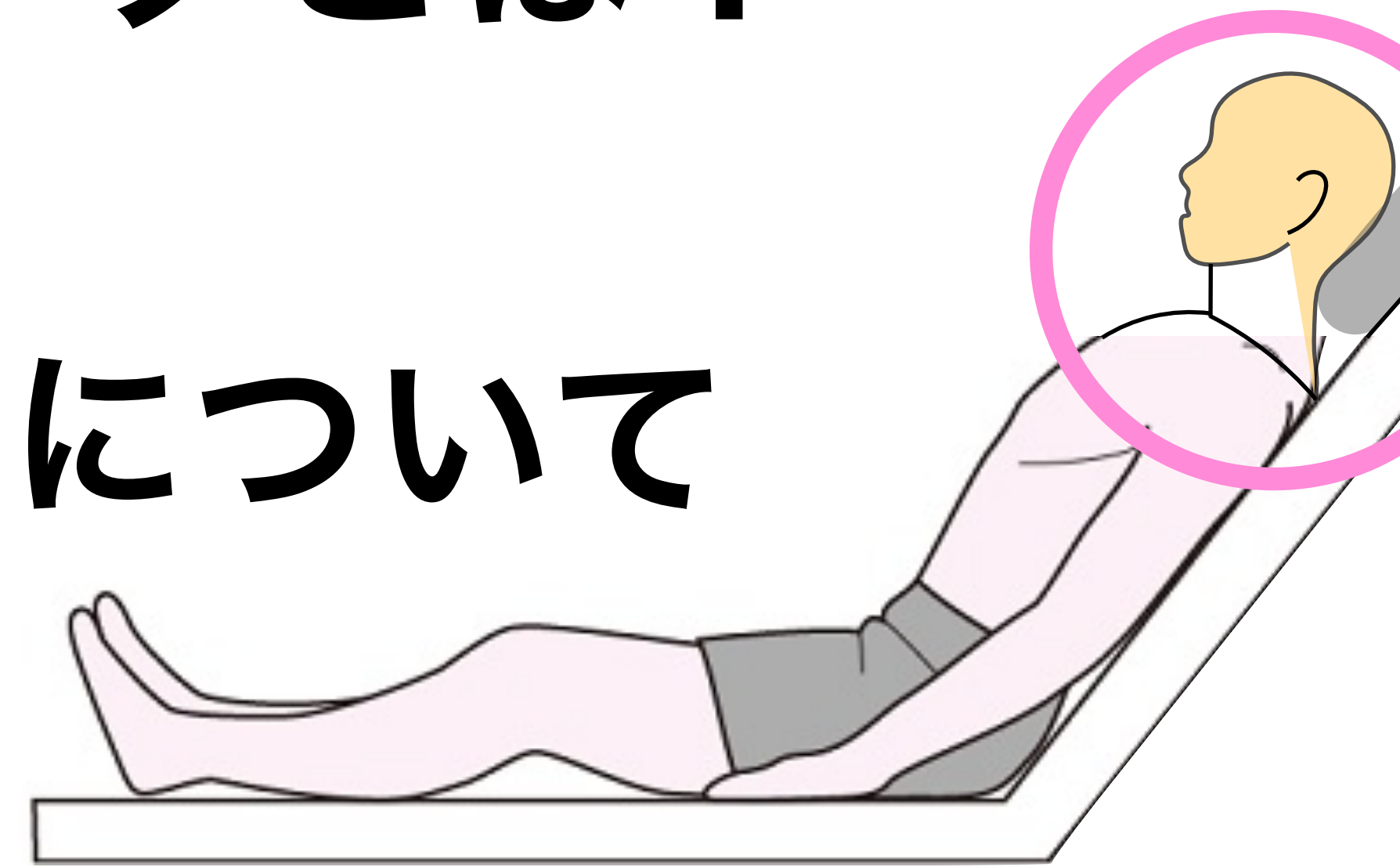
## ① 頸部ポジショニングとは？

臨床で考えるポジショニング・角度の役割について

## ② 嚥下機能の効率性を向上させる

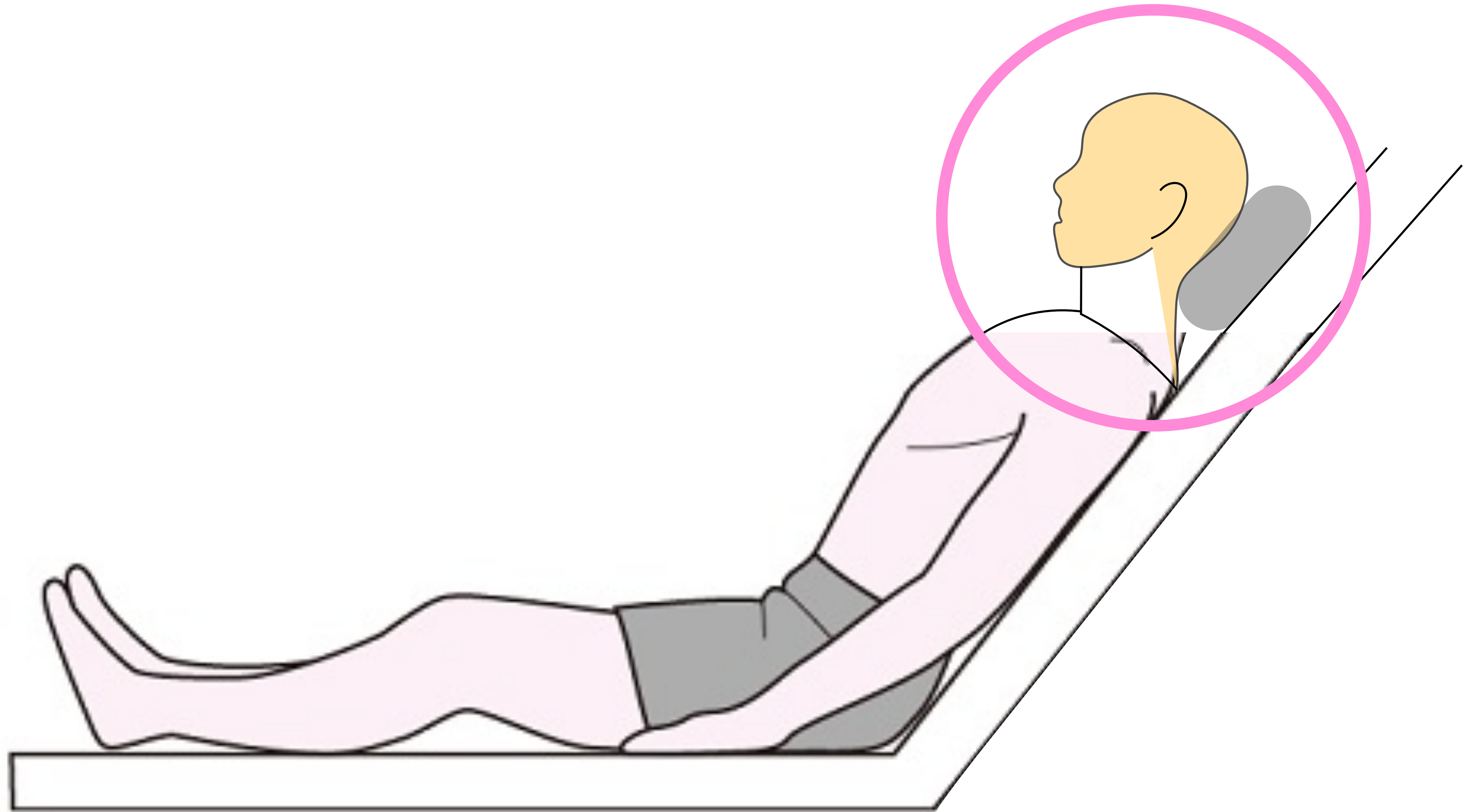
ポジショニングとは？

## ③ 頸部角度に応じた 食物の流れる場所・スピードについて





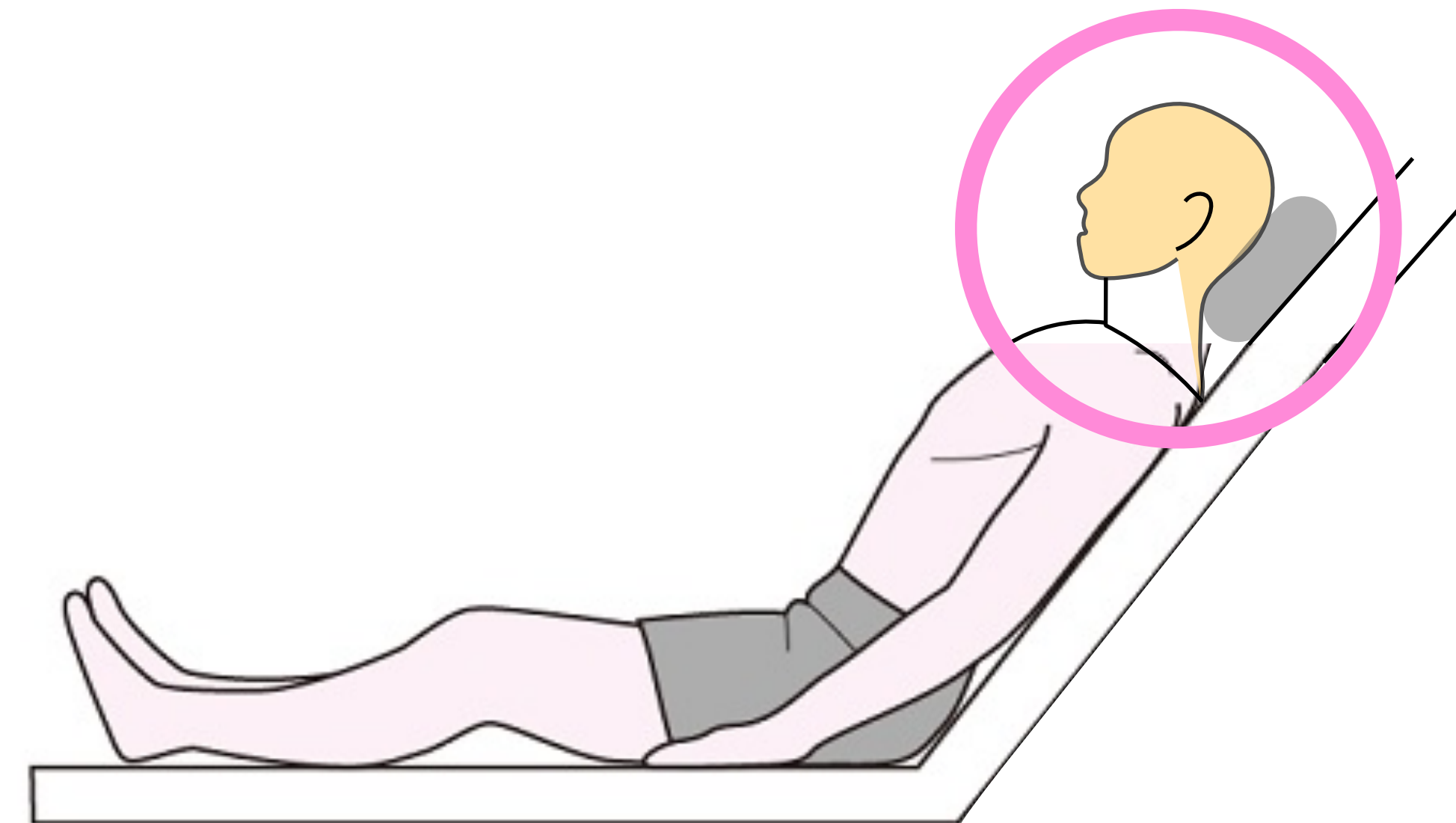
# ポジショニングのとは？





# ポジショニング (positioning) とは？

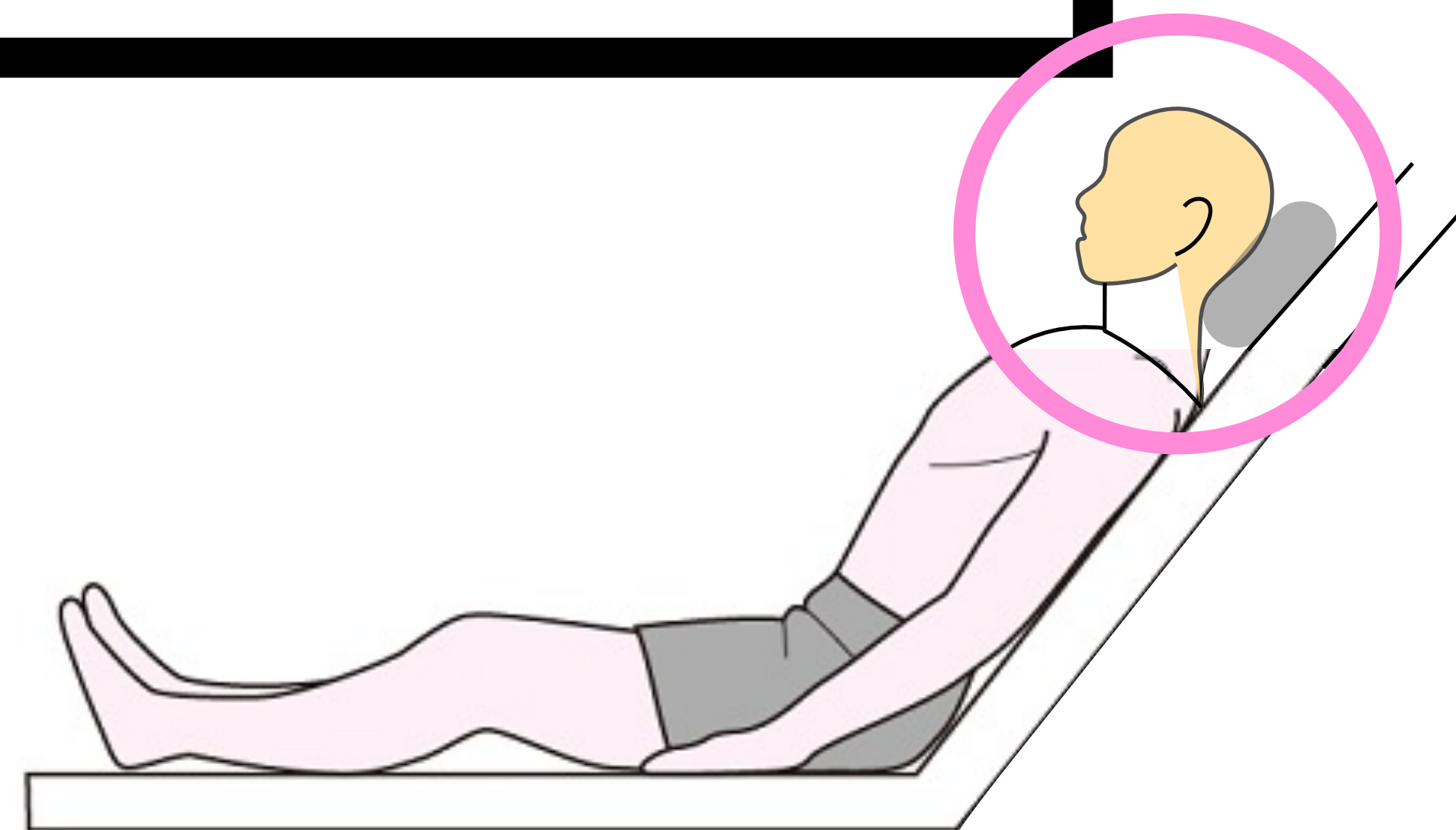
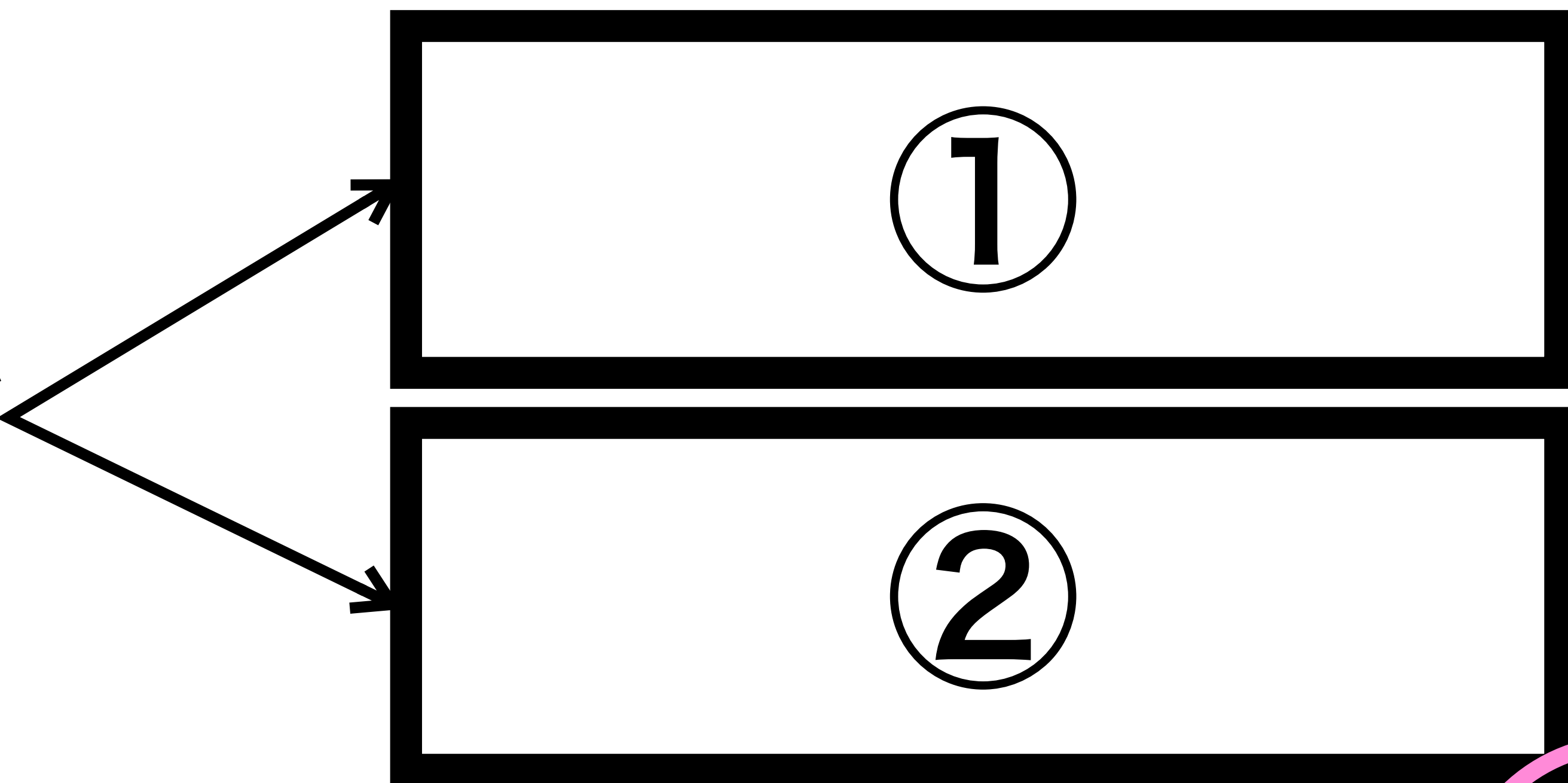
- **状況**に応じて、自分の**位置**を定めること
- **全体と他者との関係**で、**位置**を定めること
- クッションなどを活用して身体各部位の相対的な位置関係を設定し、**目的に適した姿勢 (体位)** を安全で快適に保持することをいう





# 『頸部』 ポジショニングの役割とは？

頸部ポジショニング

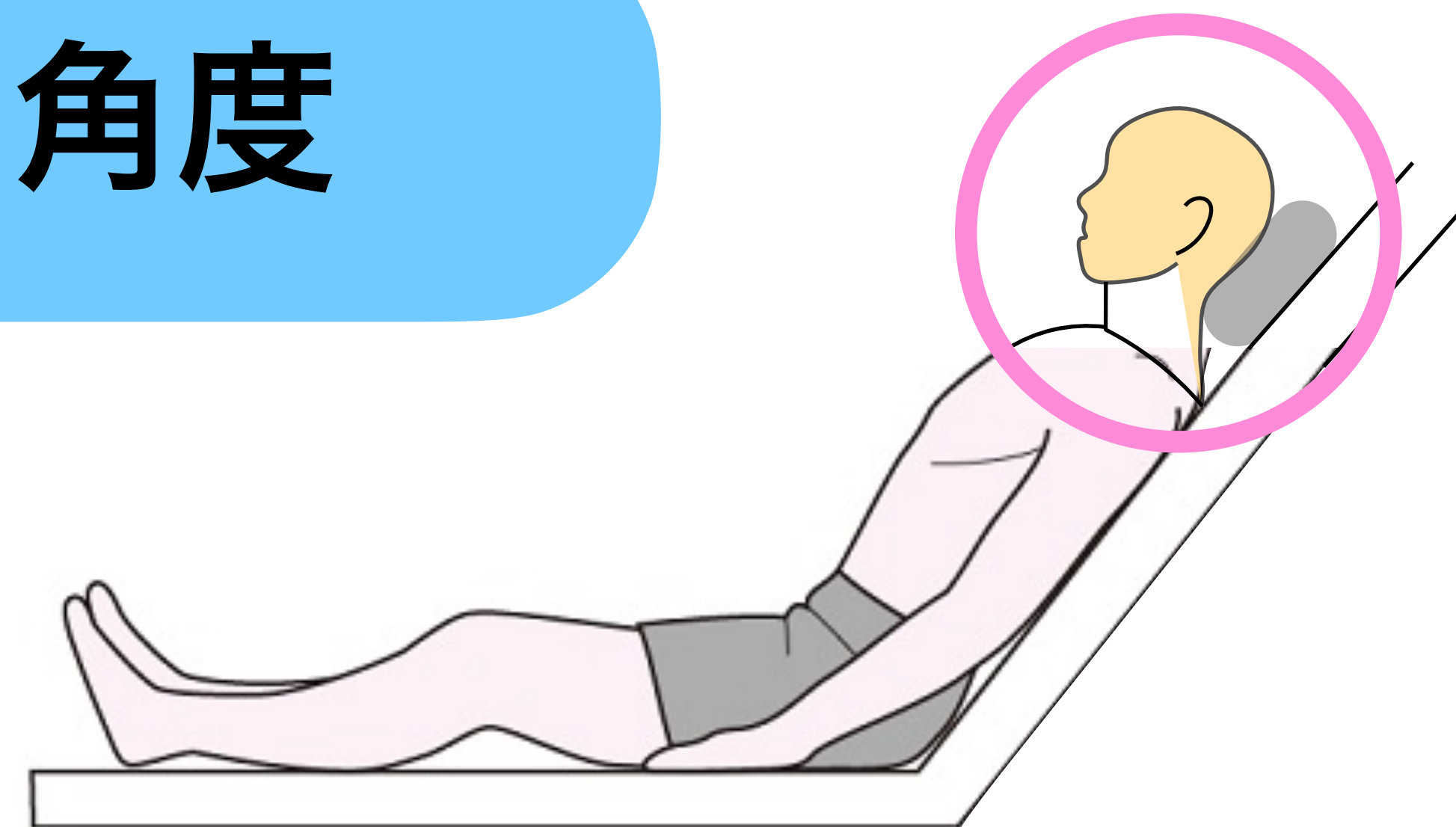




# 『頸部』 ポジショニングの役割とは？

ポジショニング

角度



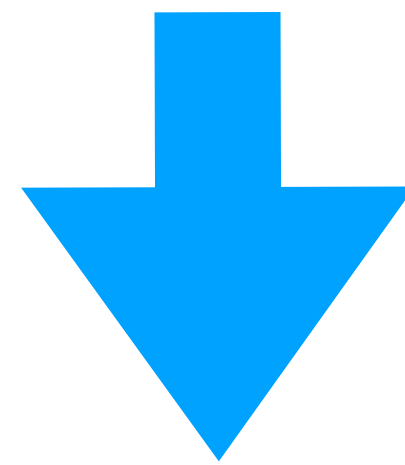
頸部ポジショニング





# ポジショニング (positioning) とは？

- ・ 状況に応じて、自分の位置を定めること
- ・ 全体と他者との関係で、位置を定めること
- ・ クッションなどを活用して身体各部位の相対的な位置関係を設定し、目的に適した姿勢（体位）を安全で快適に保持することをいう



嚥下機能の効率性を向上させる為に位置・姿勢を保持すること  
嚥下反射・嚥下圧（舌筋）

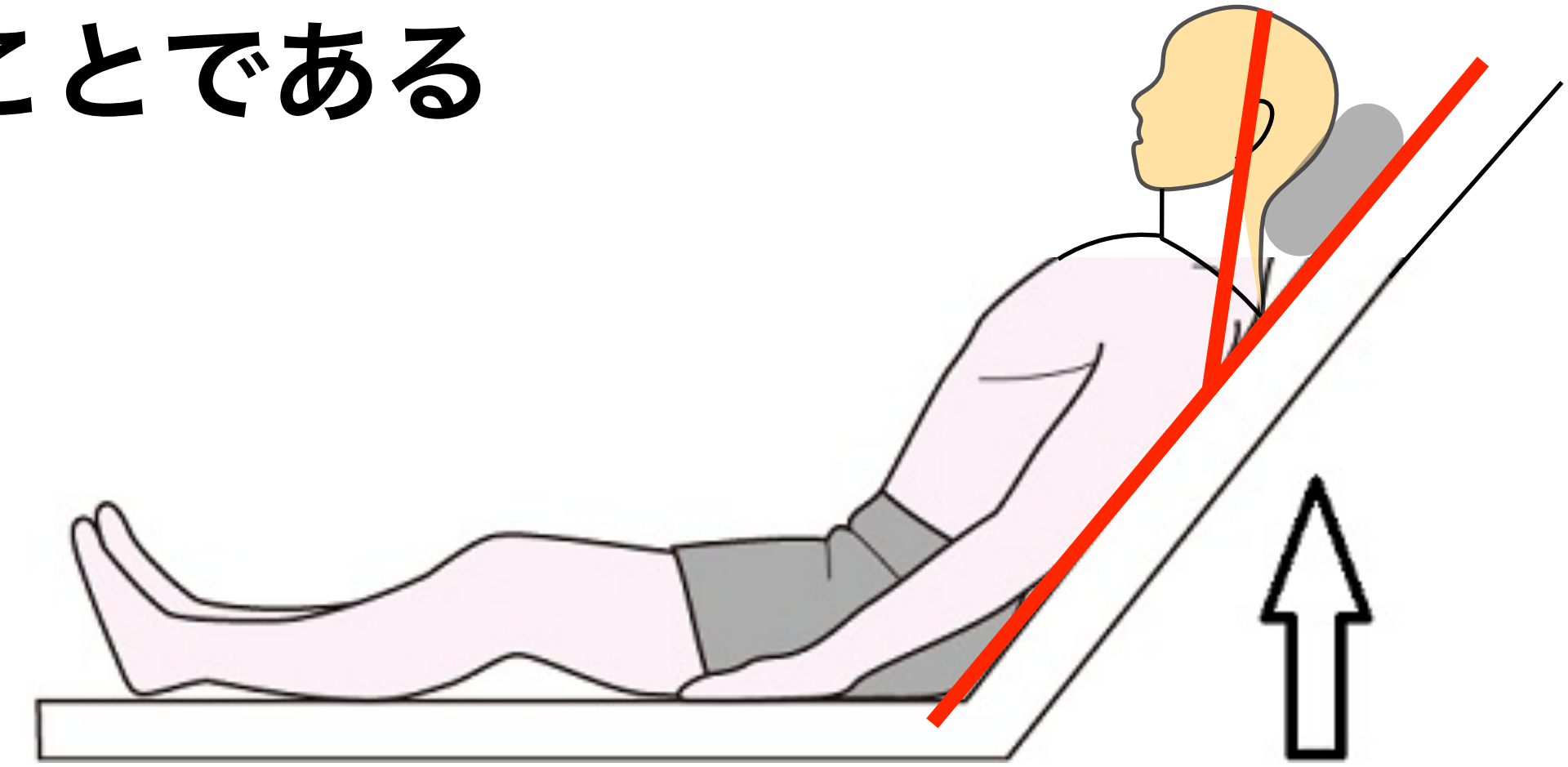


# 「角度」とは？

角の大きさを表す量・測定のことである

①流れる場所  
どこに食塊を流すのか？

②スピード  
食塊（ボラス）が流れるスピードが変わる



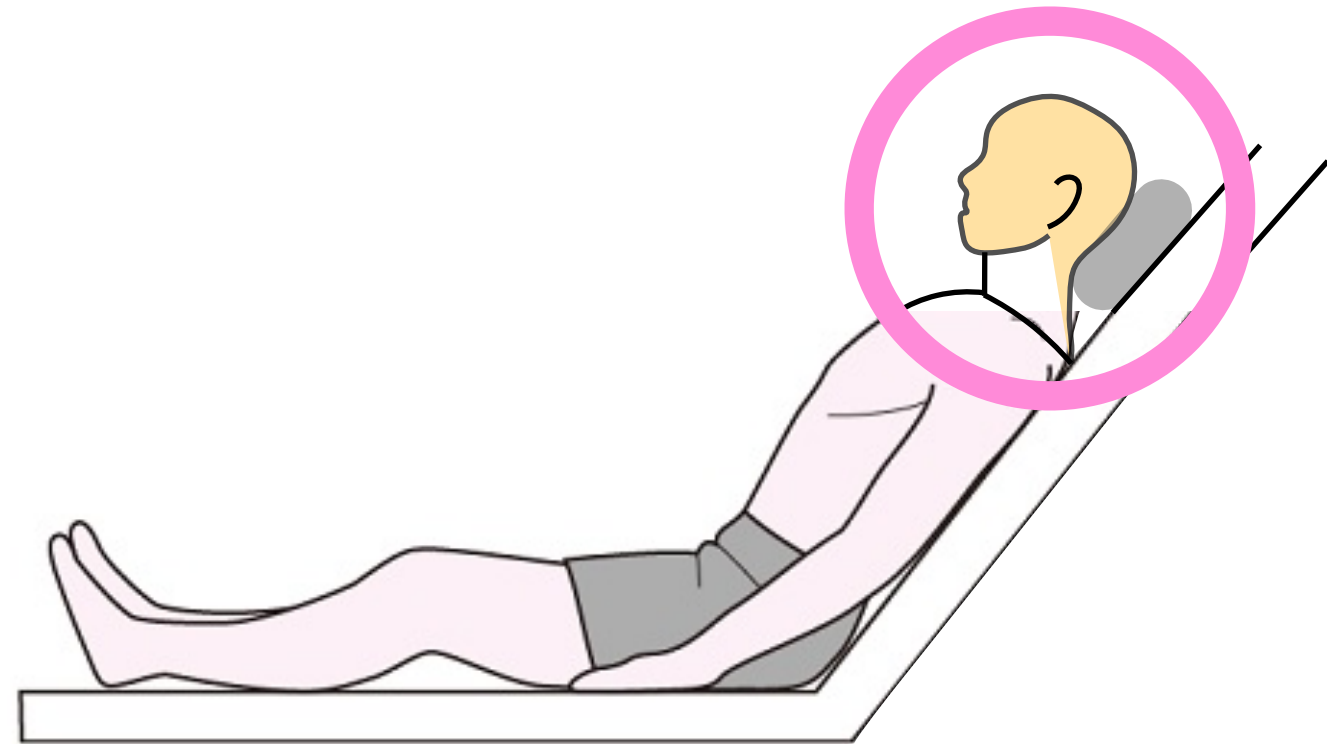
頸部角度を変えることで

嚥下機能に応じた食塊の流れる場所・スピードを調整すること



# 『頸部』ポジションの役割とは？

頸部  
ポジション



## ポジション

嚥下機能の効率性を向上させる為に  
位置・姿勢を保持すること  
→嚥下反射・嚥下圧（舌筋）

## 角度

頸部角度を変えることで嚥下機能に応じた  
食塊の流れる場所・スピードを調整すること

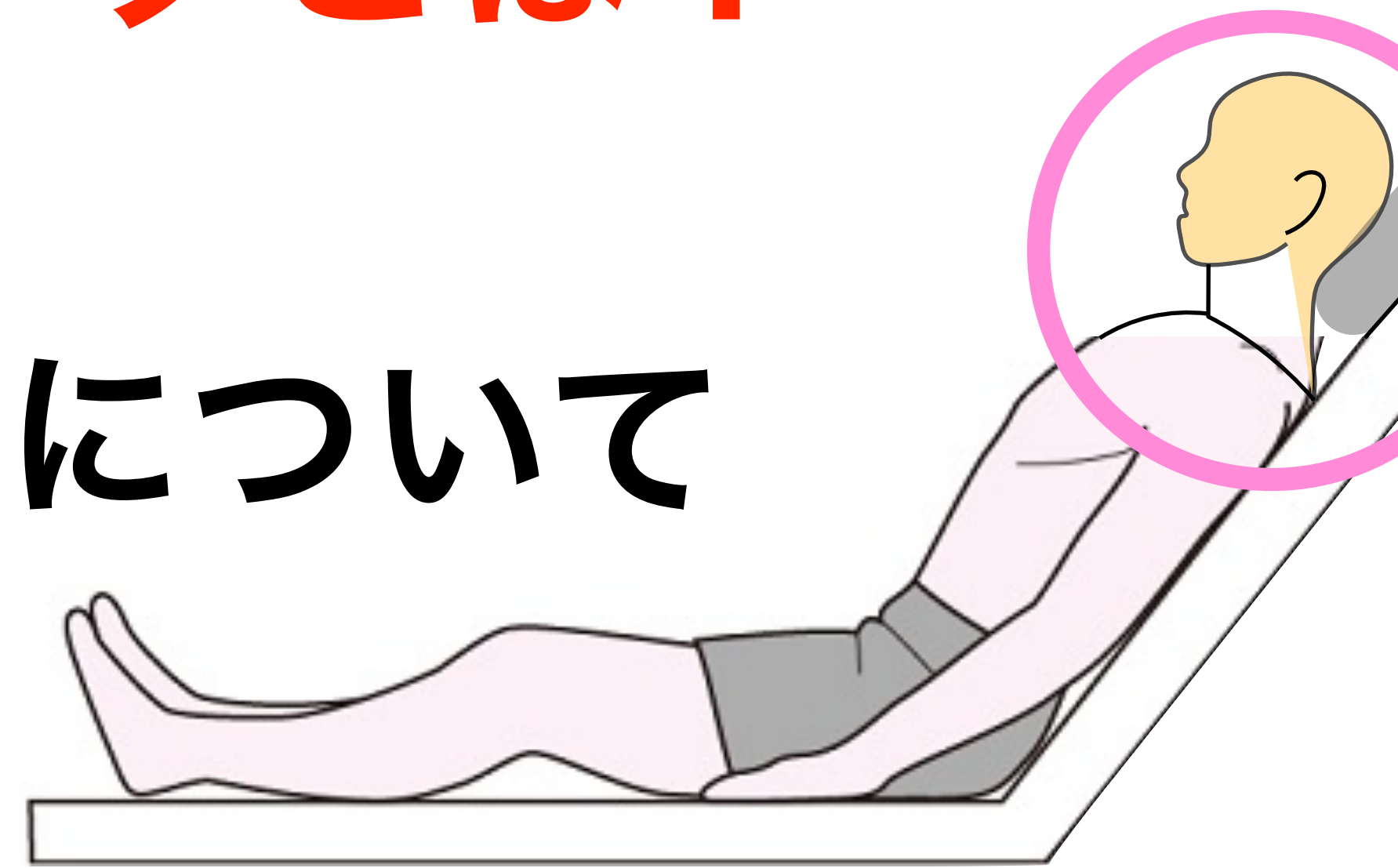


# 今回伝えたい事

① 頸部ポジショニングの役割とは？  
講師が考えるポジショニング・角度の解釈

② 嚥下機能の効率性を向上させる  
ポジショニングとは？

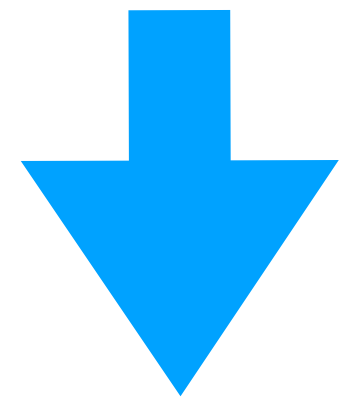
③ 頸部角度に応じた  
食物の流れる場所・スピードについて



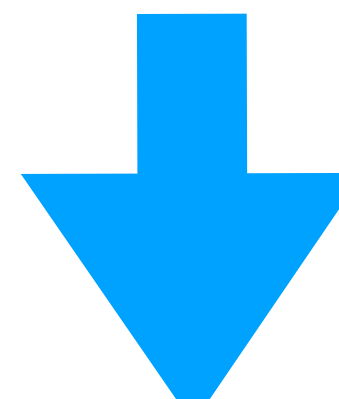


# ポジショニング (positioning) とは？

- ・ 状況に応じて、自分の位置を定めること
- ・ 全体と他者との関係で、位置を定めること
- ・ クッションなどを活用して身体各部位の相対的な位置関係を設定し、目的に適した姿勢（体位）を安全で快適に保持することをいう



嚥下機能の効率性を向上させる為に位置・姿勢を保持すること

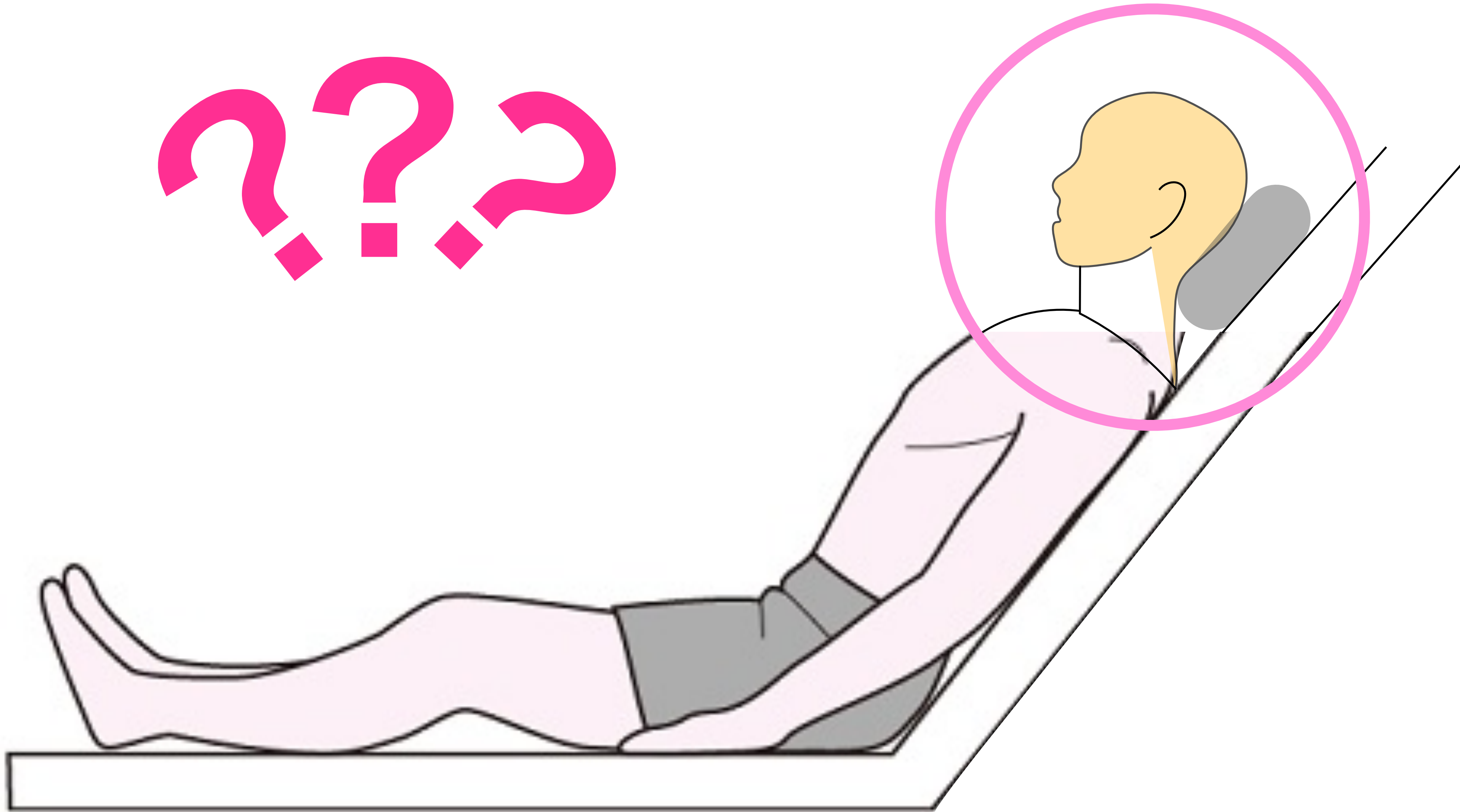


**嚥下** 機能を向上させる頸部の位置・姿勢とは？



# 嚥下機能を向上させる為の頸部の位置・姿勢とは？

???



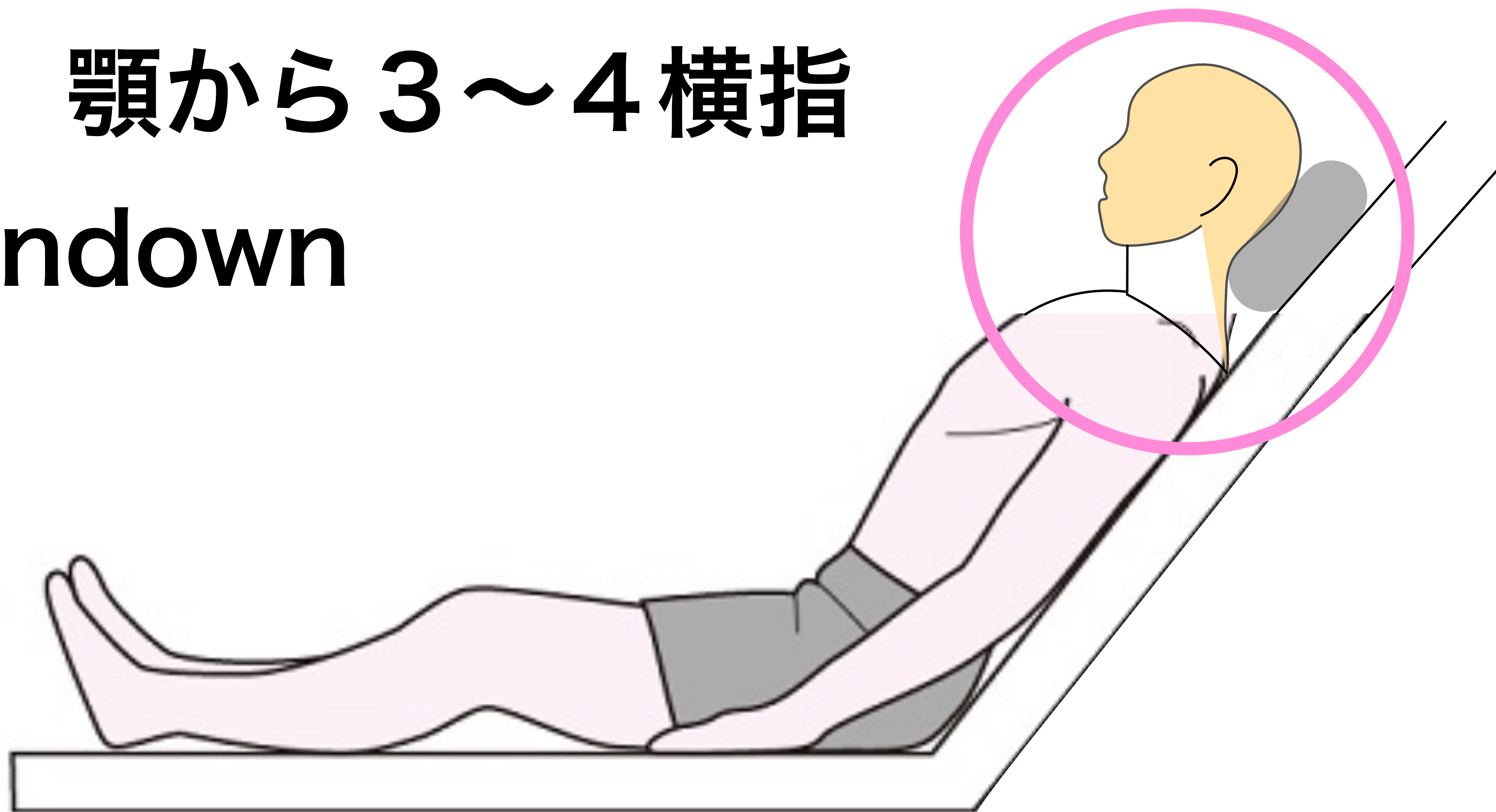
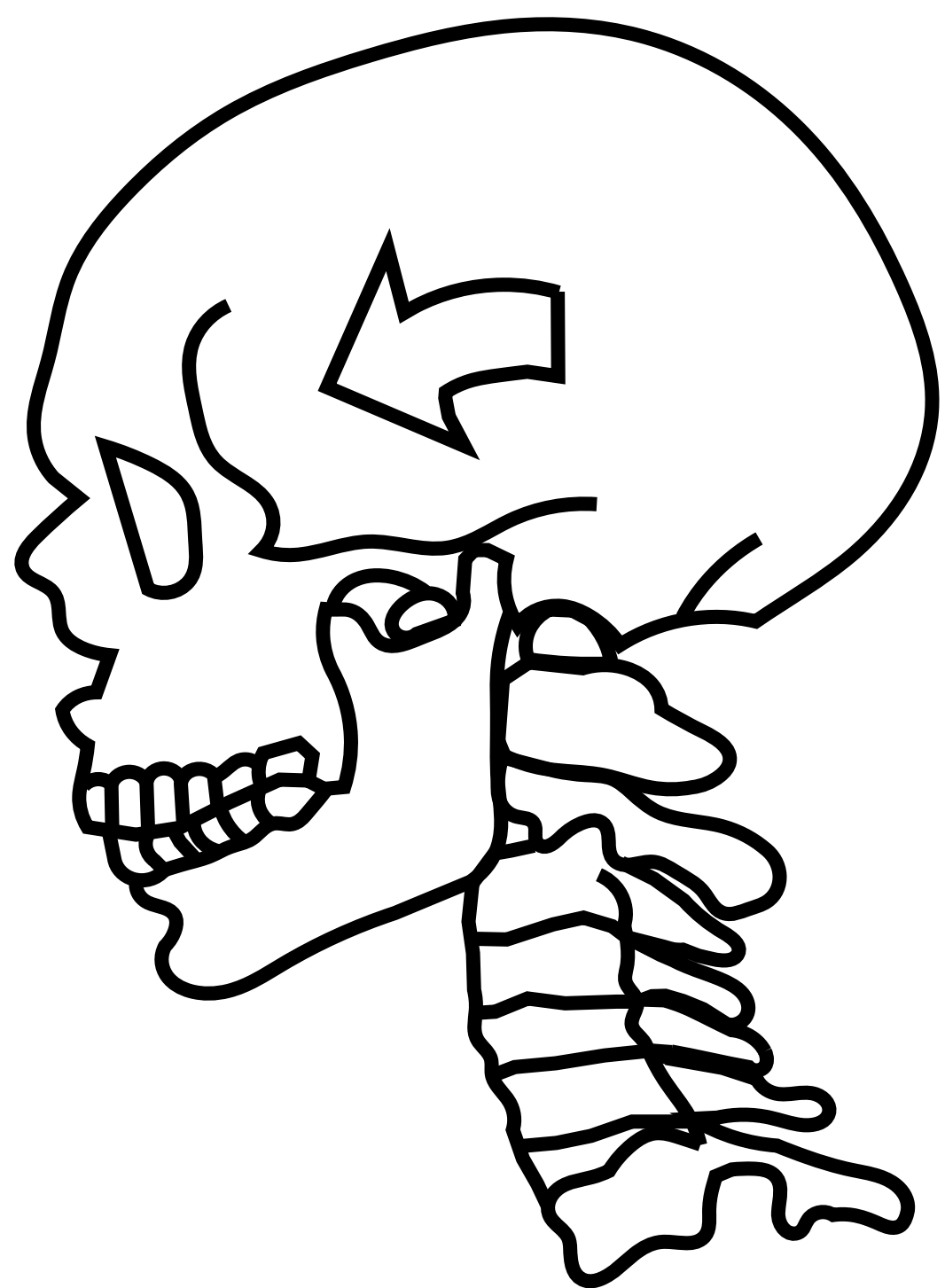


# 嚥下機能を向上させる為の頸部の位置・姿勢とは？

## 『軽度前屈（屈曲）位』

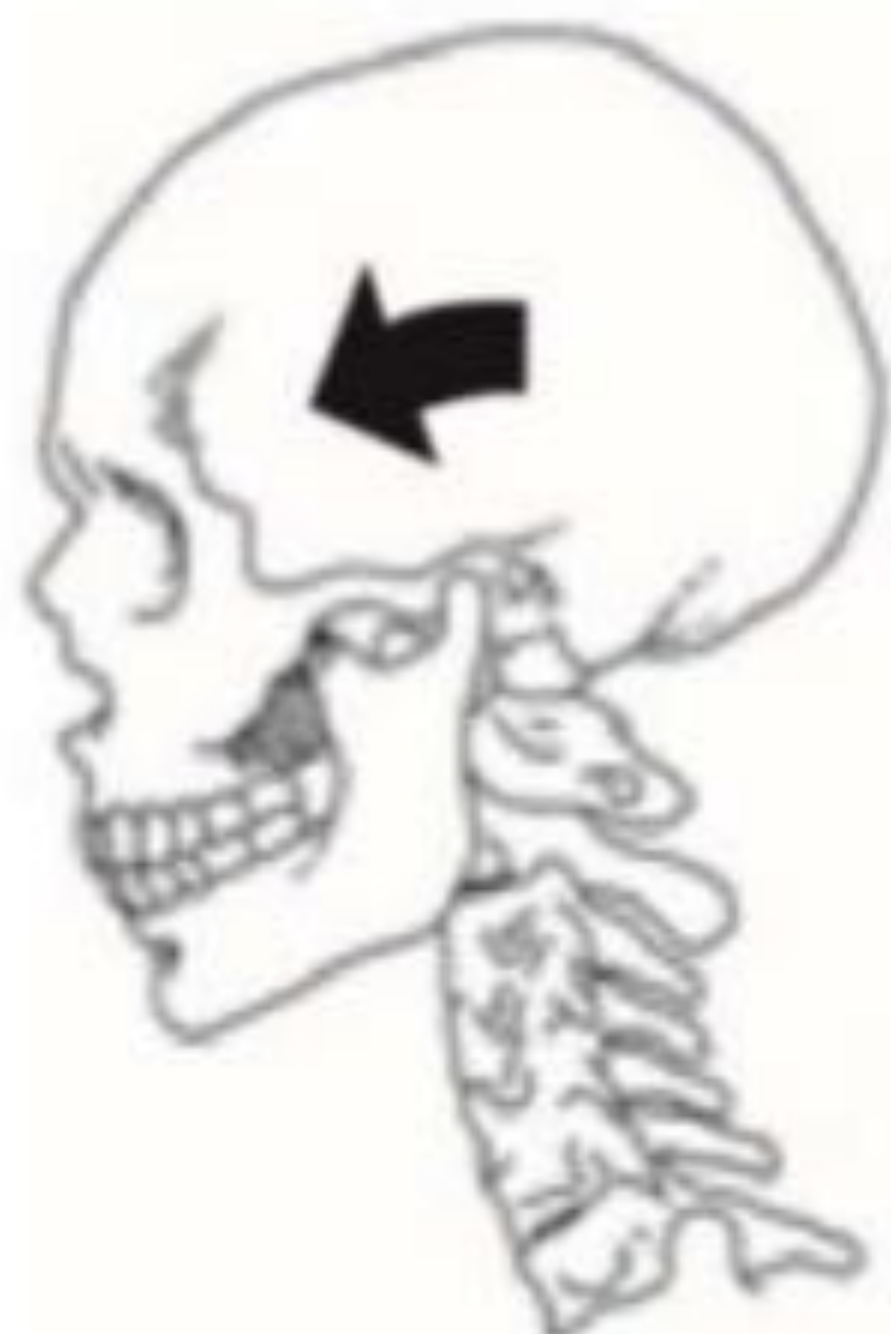
顎引き嚥下 顎から3～4横指

chindown





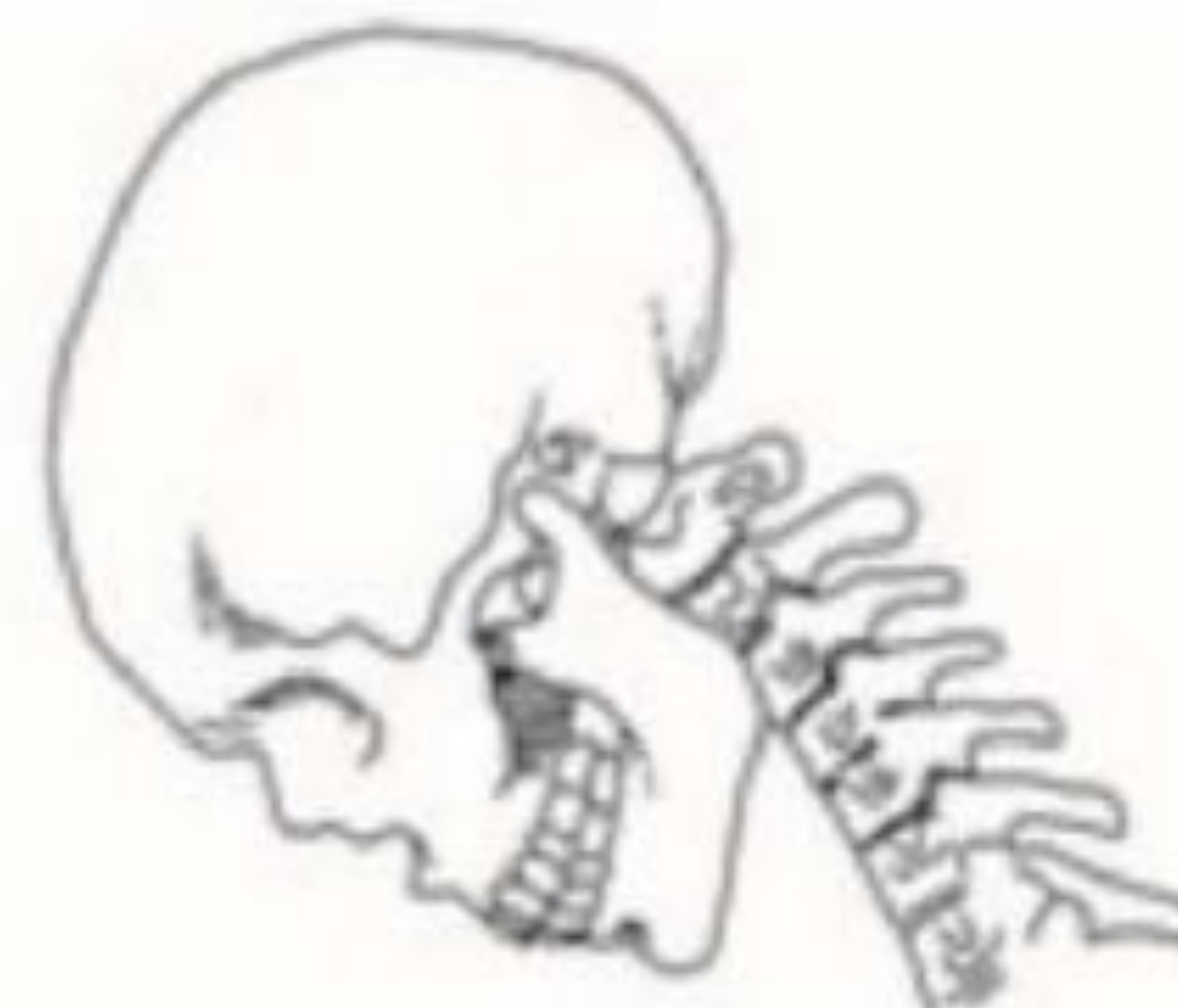
# 頭部・頸部の運動学と解剖学について



＜頭部屈曲＞



＜頸部屈曲＞



＜複合屈曲＞

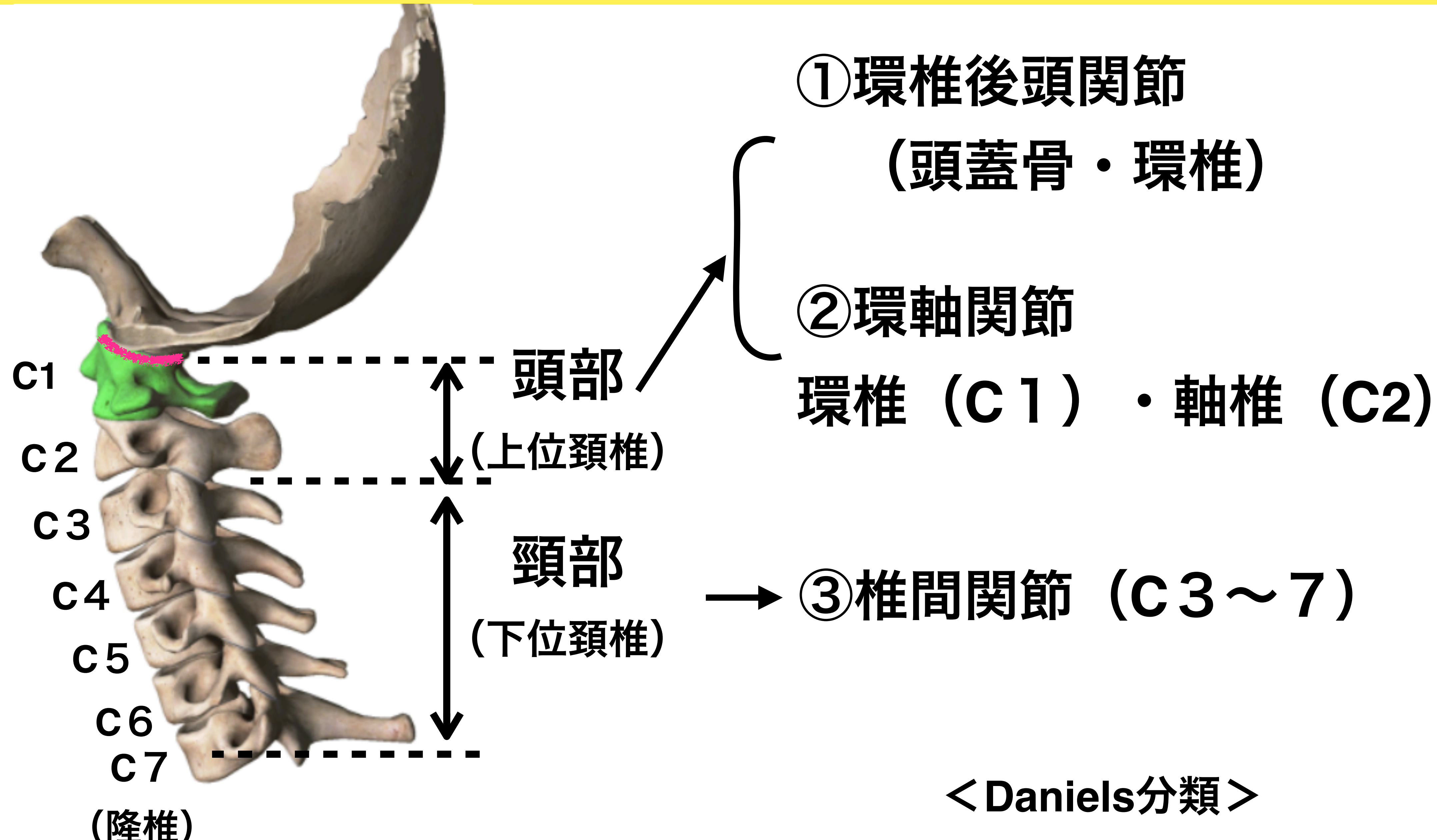
図8 頭部屈曲・頸部屈曲・複合屈曲

(Hislop HJ, Montgomery J : Daniels and Worthingham's Muscle Testing, 8th Ed, Saunders, 2007 から引用)





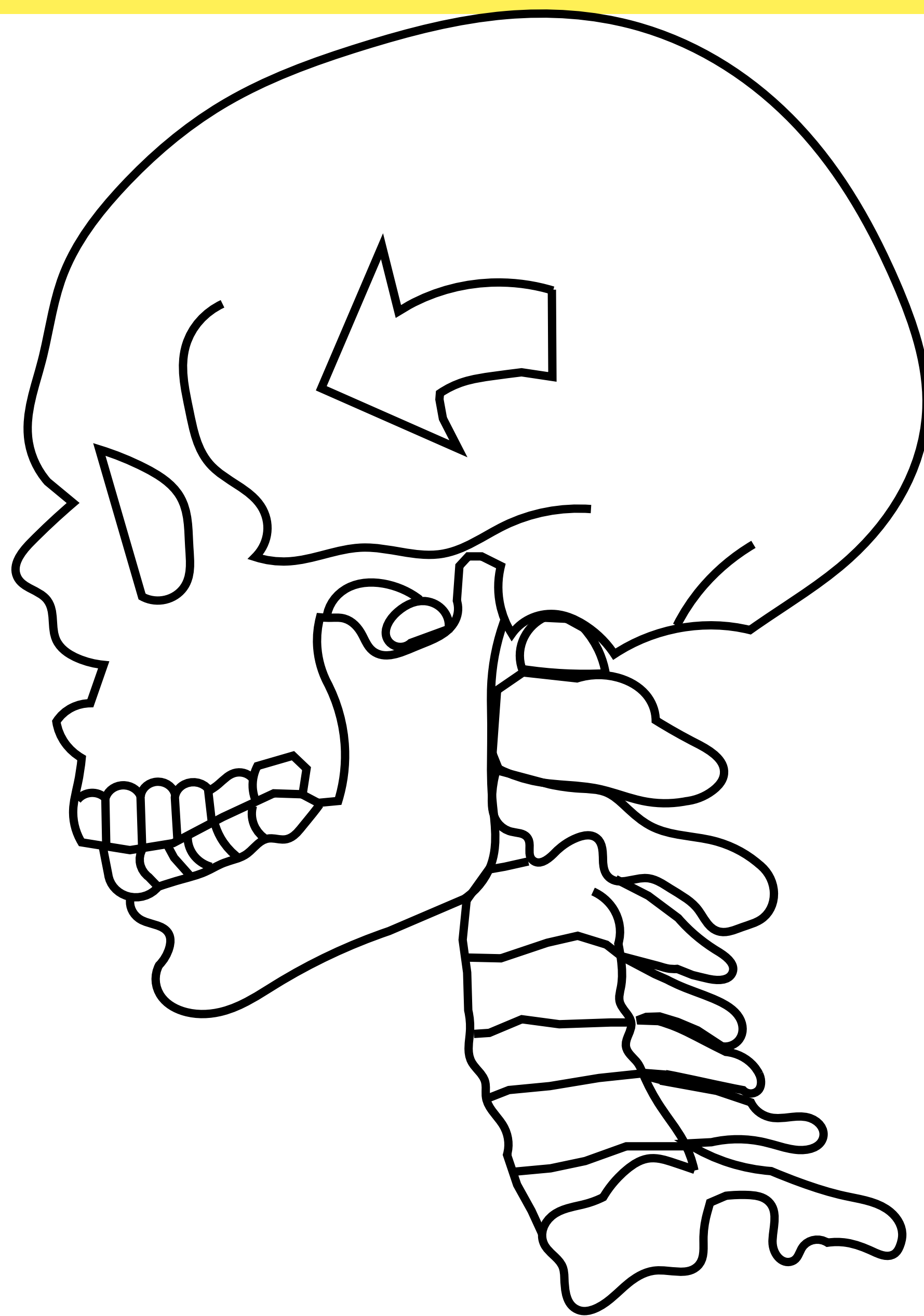
# 頭部・頸部の運動学と解剖学について





# なぜ『軽度屈曲位』が嚥下機能にいいのか？

???





# なぜ『軽度屈曲位』が嚥下機能にいいのか？

重力

後頭下筋群の活動 ↓

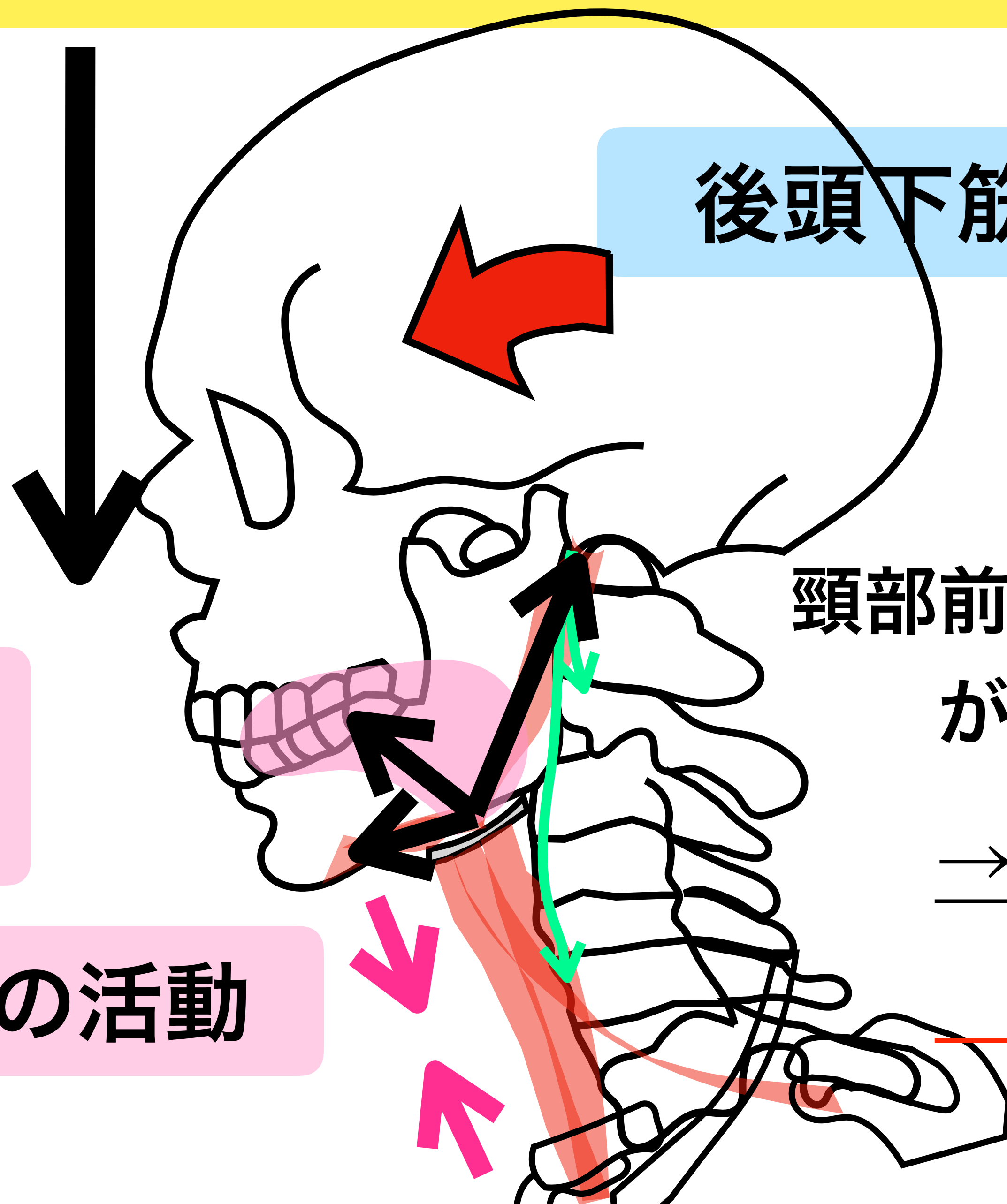
頭長筋  
頸長筋  
の活動

舌骨上下筋群の活動

頸部前面筋（嚥下関連筋群）  
が効率よく働く筋の張力

→ 嚥下反射での

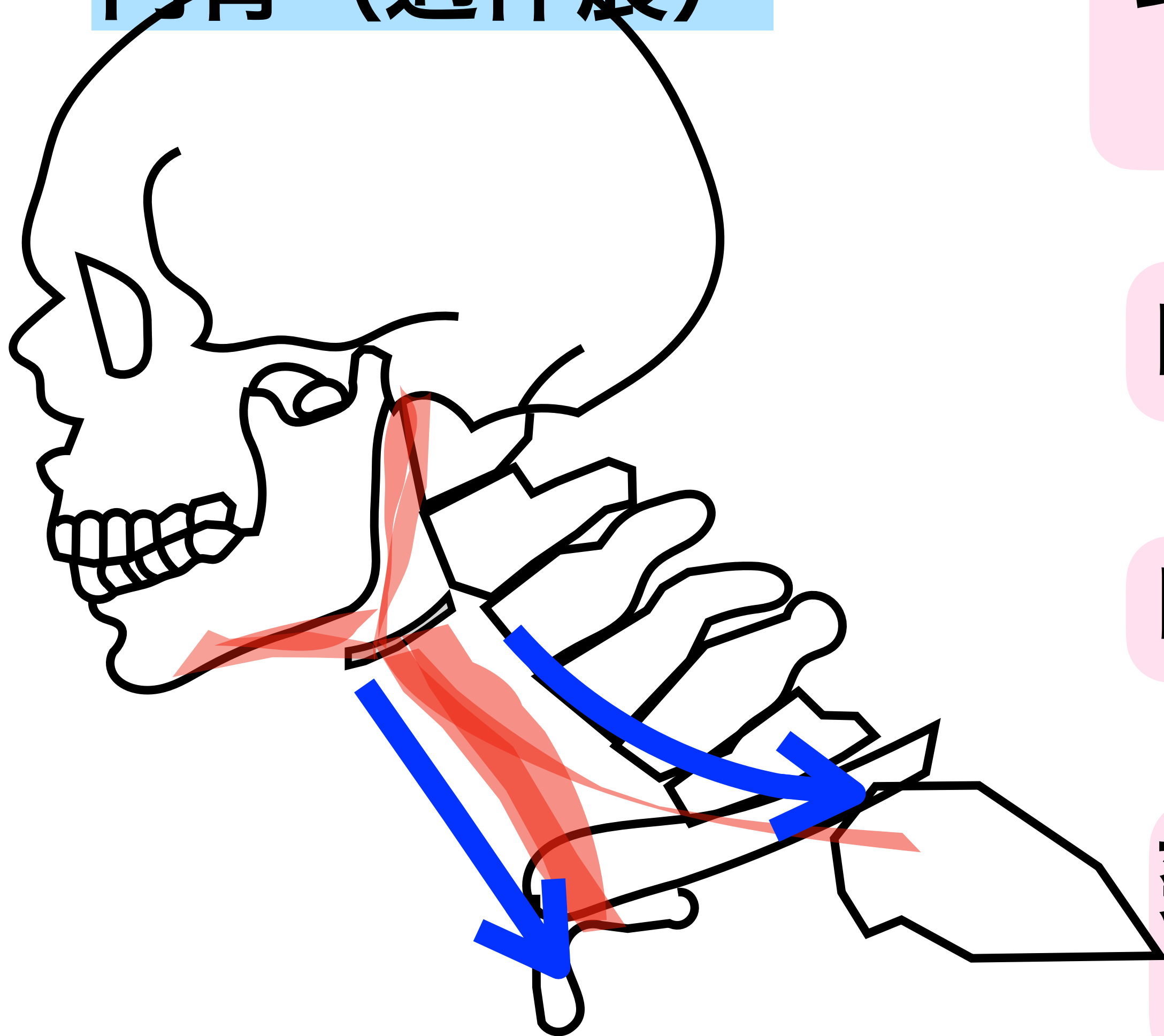
筋活動の効率性 ↑





# 頸部姿勢による嚥下筋群の張力変化

円背（過伸展）



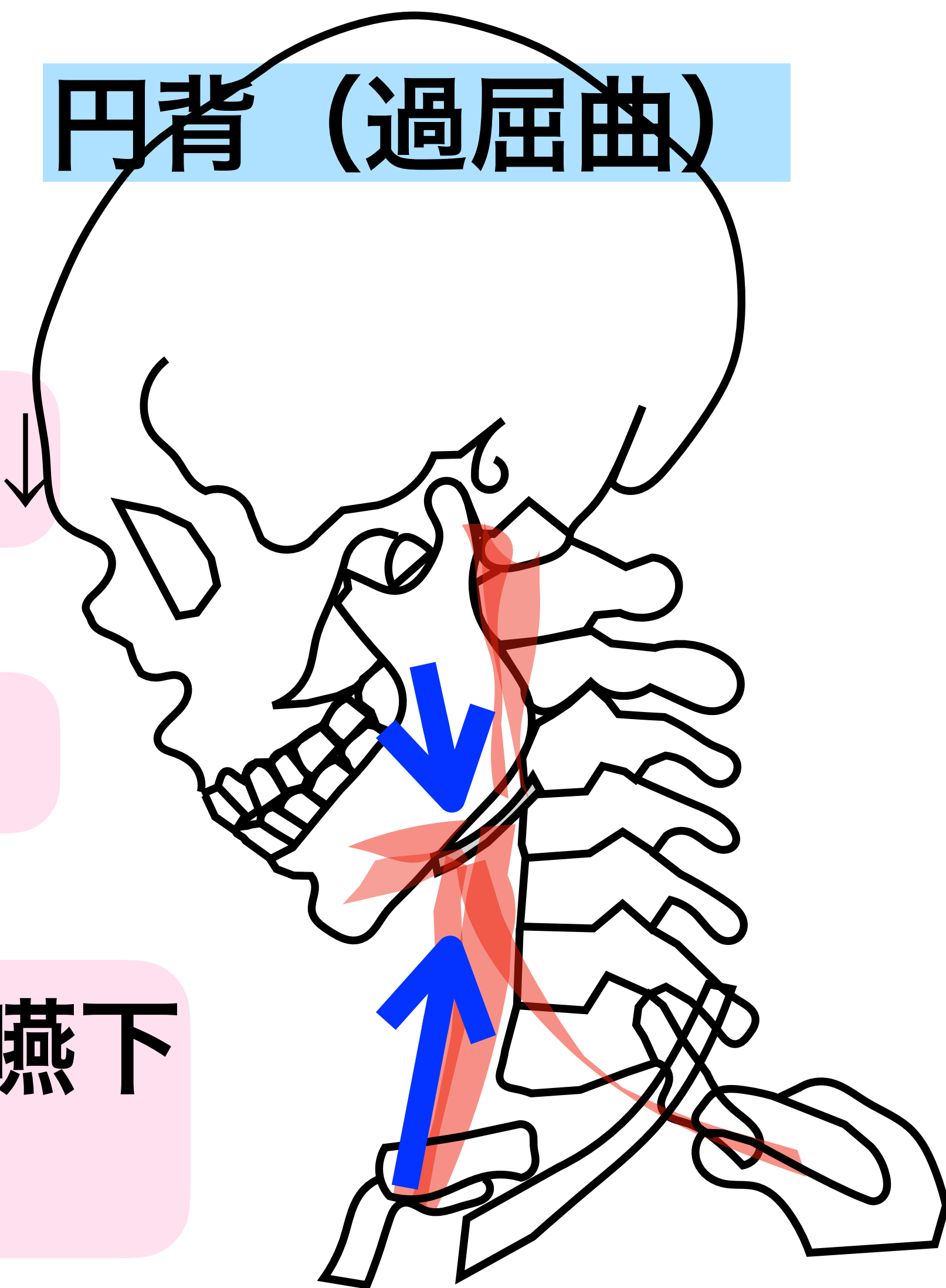
頸部の位置変化  
（筋張力↓）

嚥下筋群の出力↓

嚥下圧・反射↓

努力性・複数回嚥下  
口腔内残渣

円背（過屈曲）

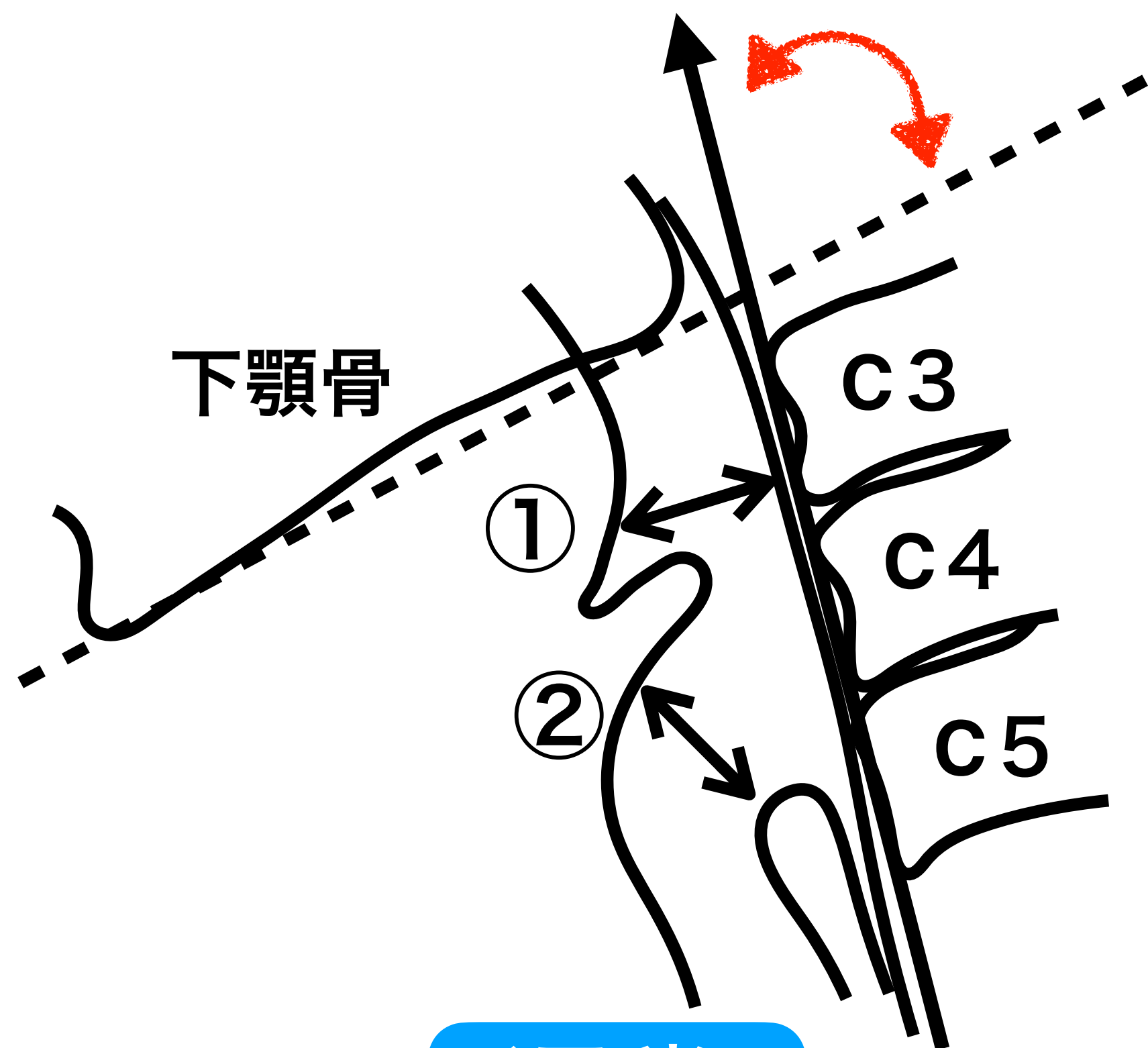


体験

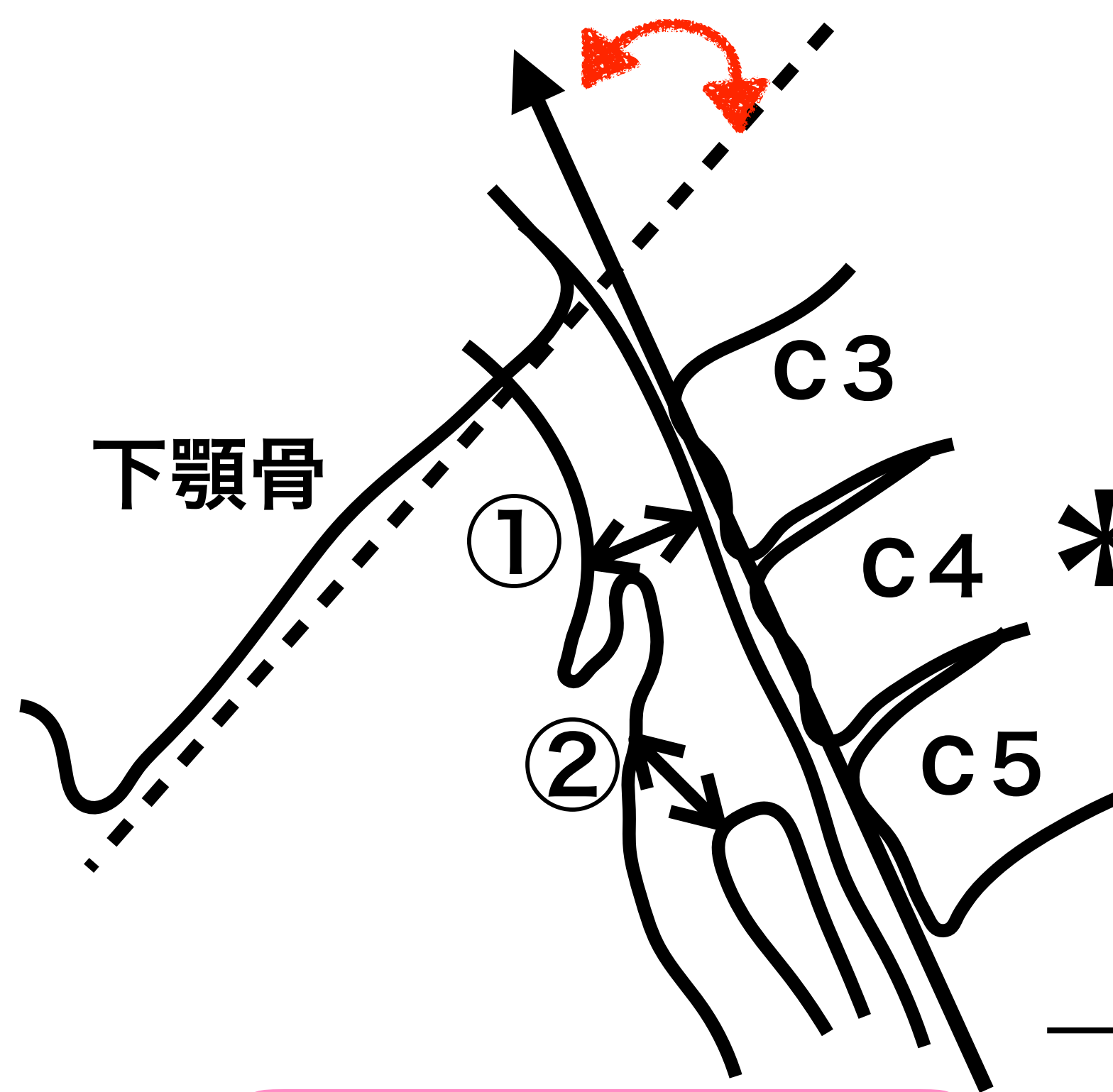
頸部姿勢による嚥下反射の変化を感じてみよう！



# なぜ『軽度屈曲位』が嚥下機能にいいのか？



通常



頭部屈曲位

\* 咽頭喉頭内腔の距離を狭くする

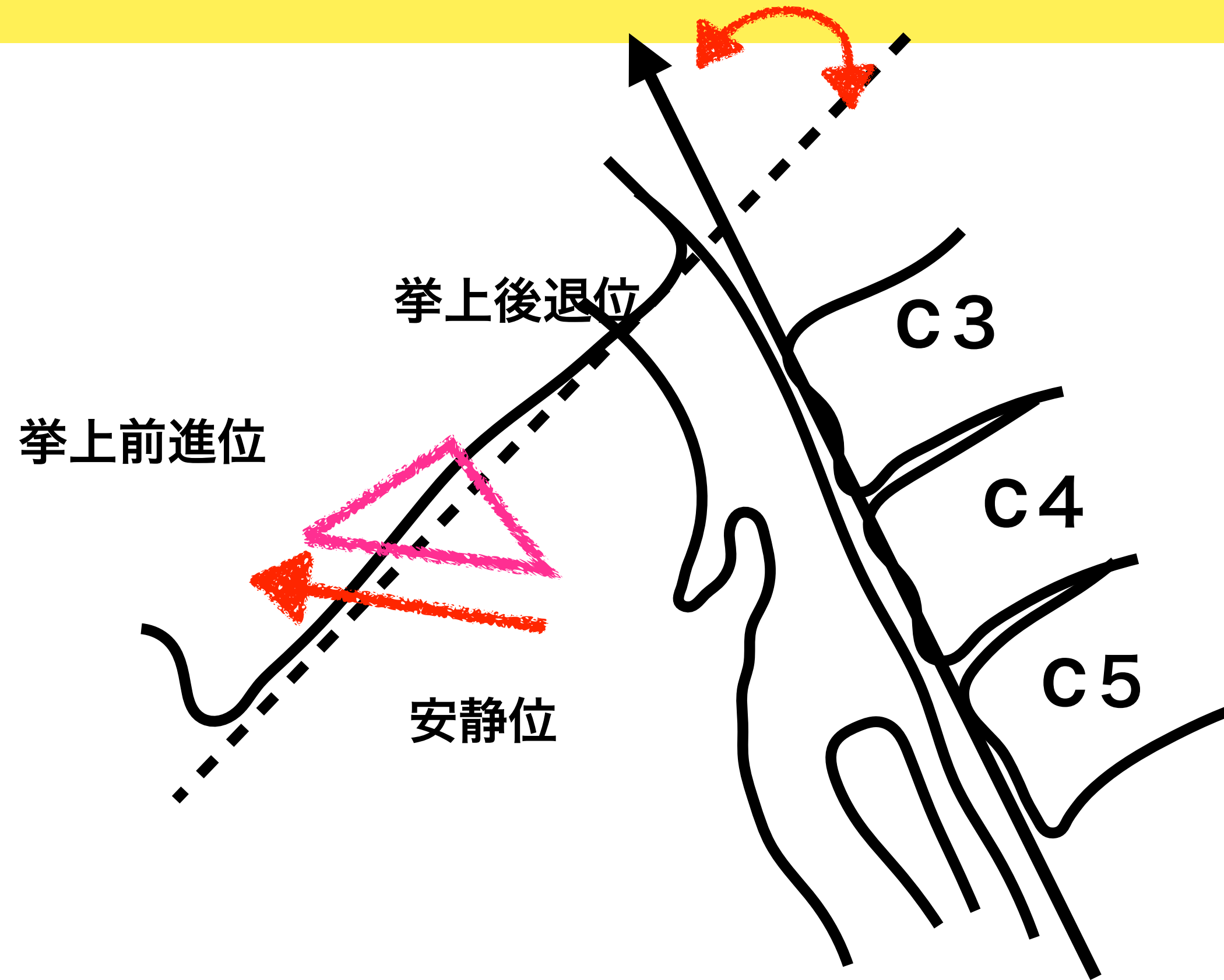
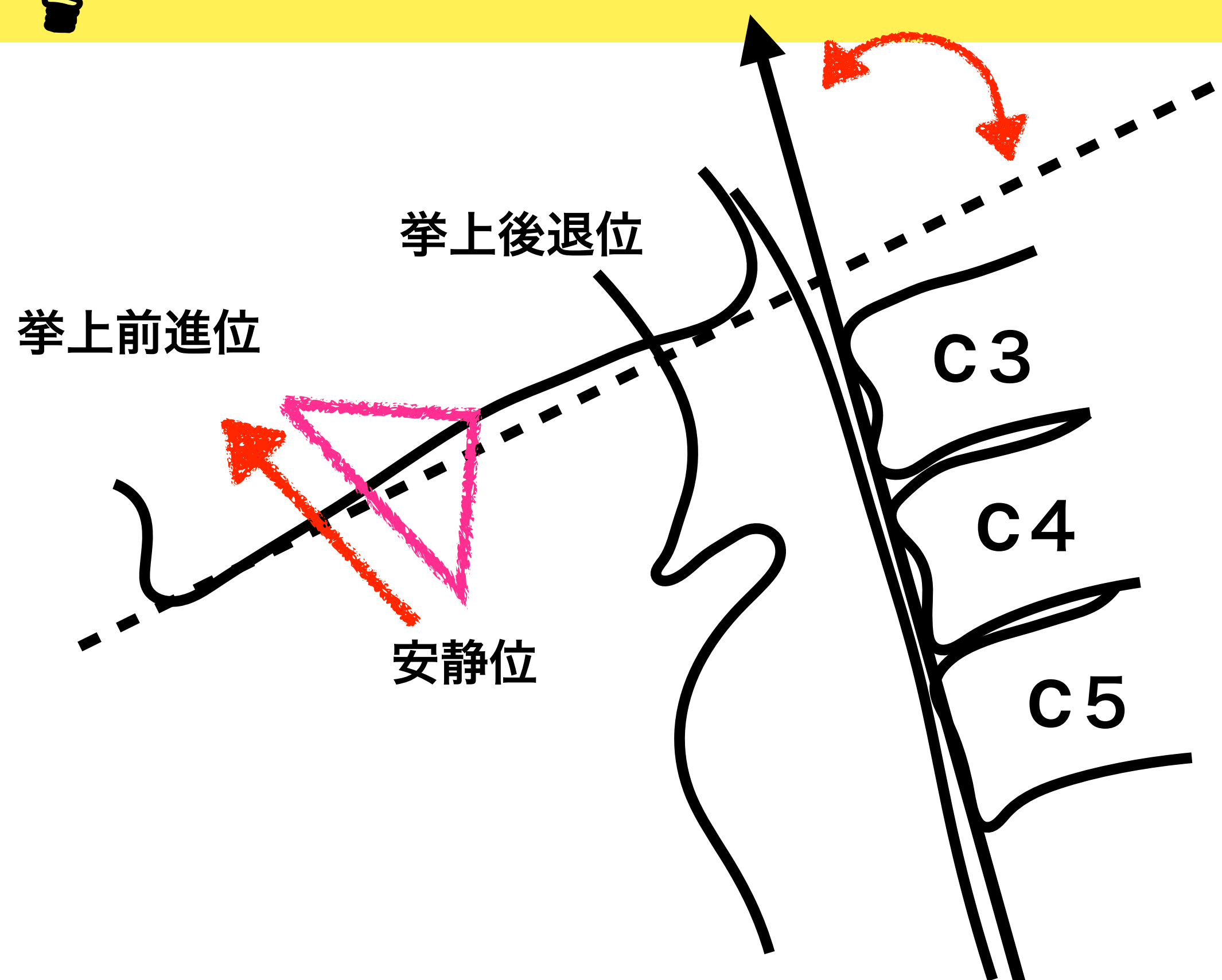
→ 嚥下圧を高める

① 舌根・咽頭後壁間距離

② 喉頭蓋喉頭面中間点・披裂部間距離



# なぜ『軽度屈曲位』が嚥下機能にいいのか？



## < 頭部・頸部屈曲位 >

**頭部・頸部屈曲位**では、舌骨が重力に抗して  
 挙上前進方向に移動しなくても反射が起きている。  
 →少ない筋活動での嚥下が可能になる！



# なぜ『軽度屈曲位』が嚥下機能にいいのか？

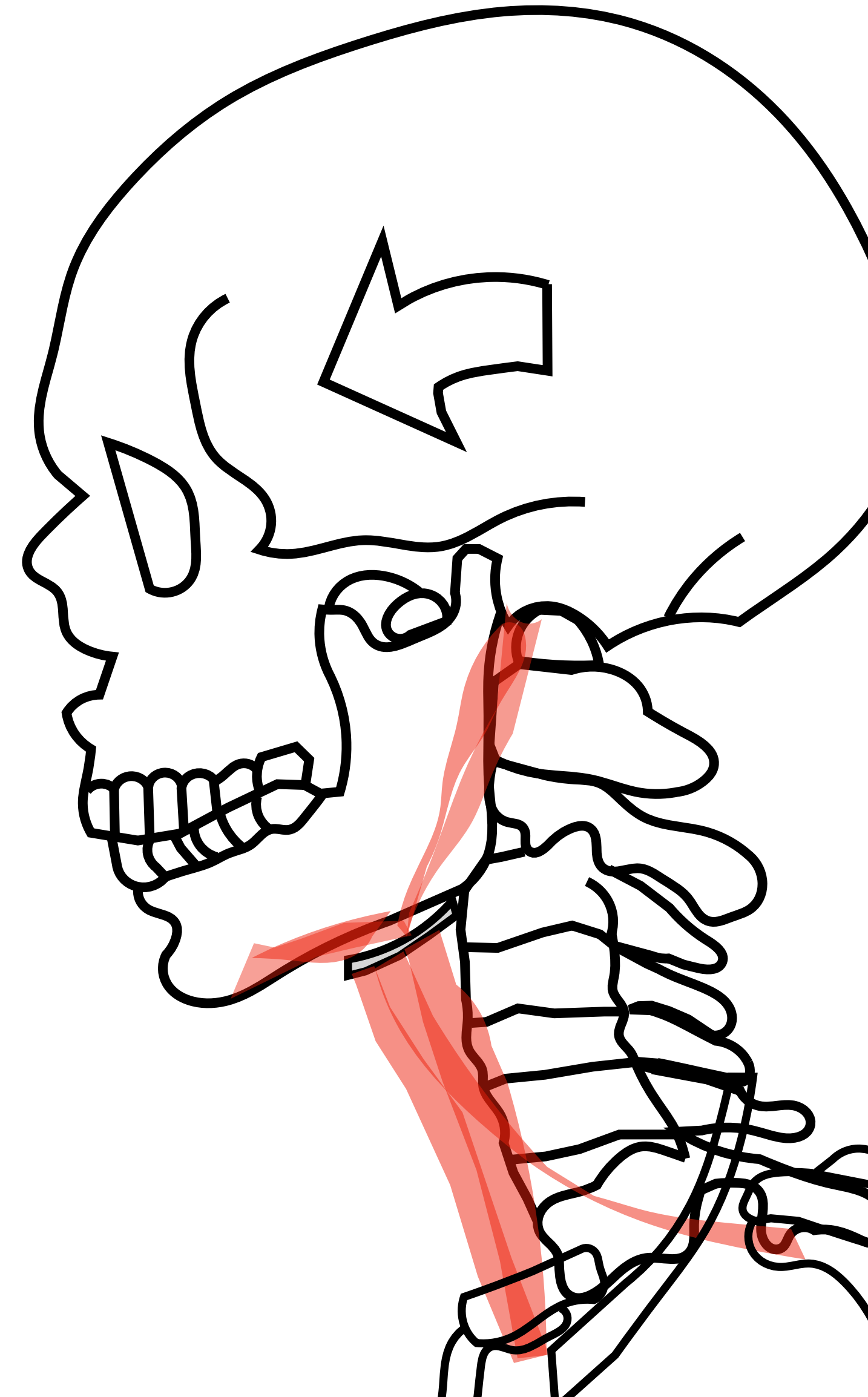
## ①頸部前面筋（嚥下関連筋群）

が効率よく働く筋の張力

→ 嚥下反射での筋活動の効率性 ↑

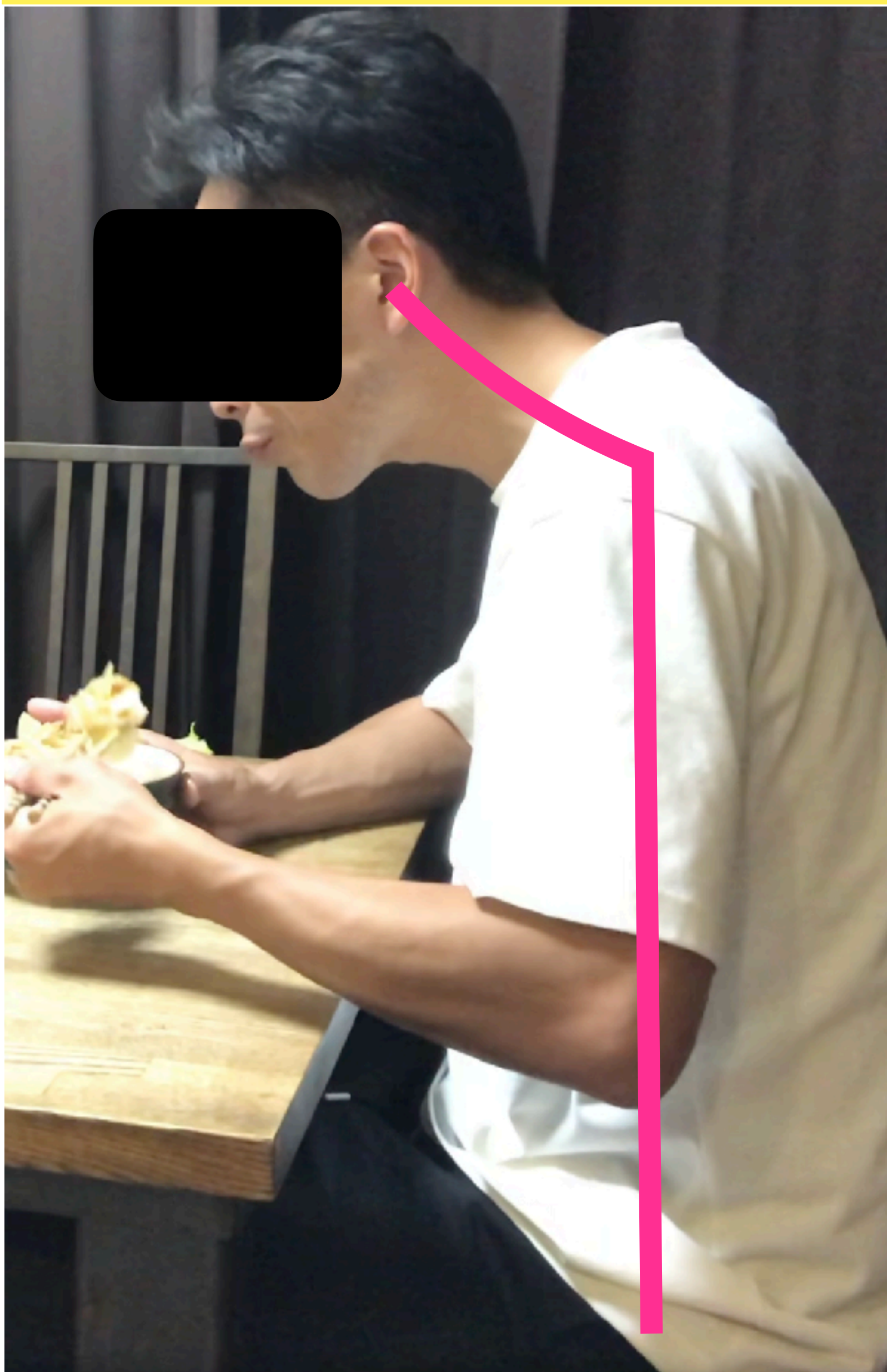
## ②咽頭喉頭内腔の距離を狭くする

→ 嚥下圧の生成 ↑





# 嚥下に必要な頸部の位置・姿勢の構成要素



①頸部が保持できるのか？

\*頸部伸筋群

\*姿勢（胸椎、骨盤・股関節、足部等）

②頸部を保ったまま動かせるのか？

\*頭頸部の可動域→軽度屈曲

\*嚥下反射評価→舌骨・甲状軟骨

③食物に対して頸部を合わせるのか？

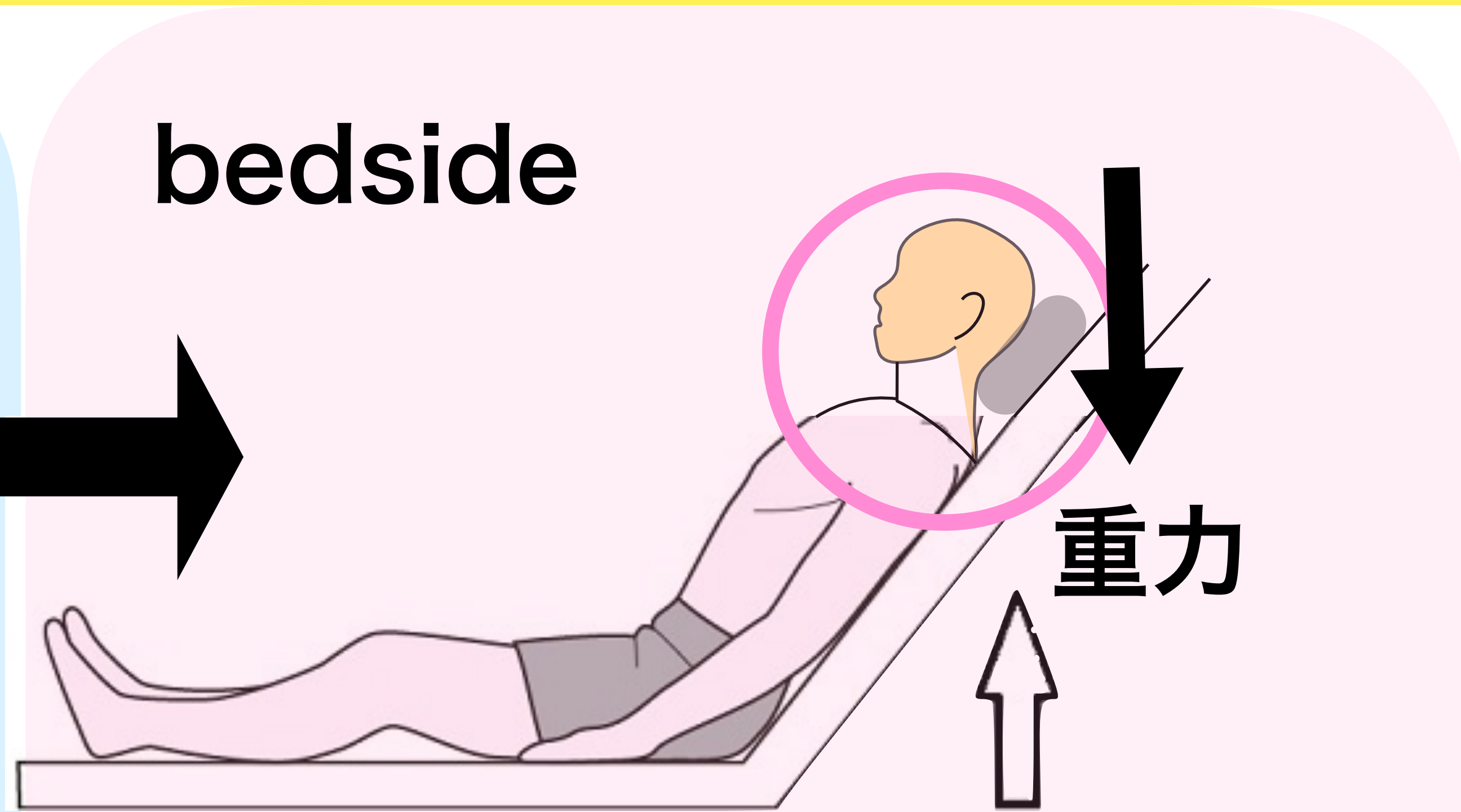




# 食物に対して頸部を合わせるのか？



\*食物に対して、頸部の位置・姿勢を変えて口に取り込む！

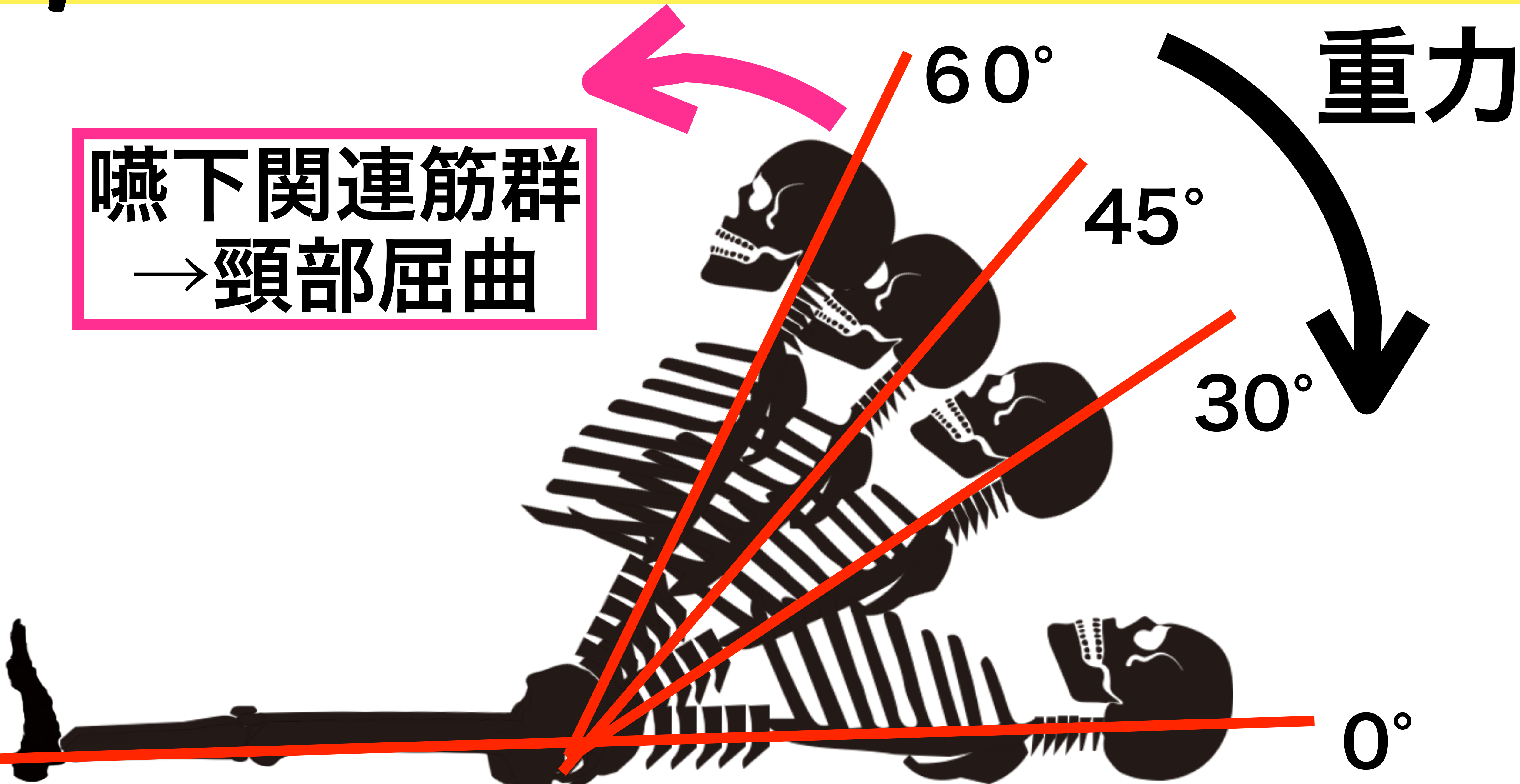


\*口に食物を合わせる！  
→スプーン介助時



# Bedsideでは重力の影響を大きく受ける

嚥下関連筋群  
→ 頸部屈曲



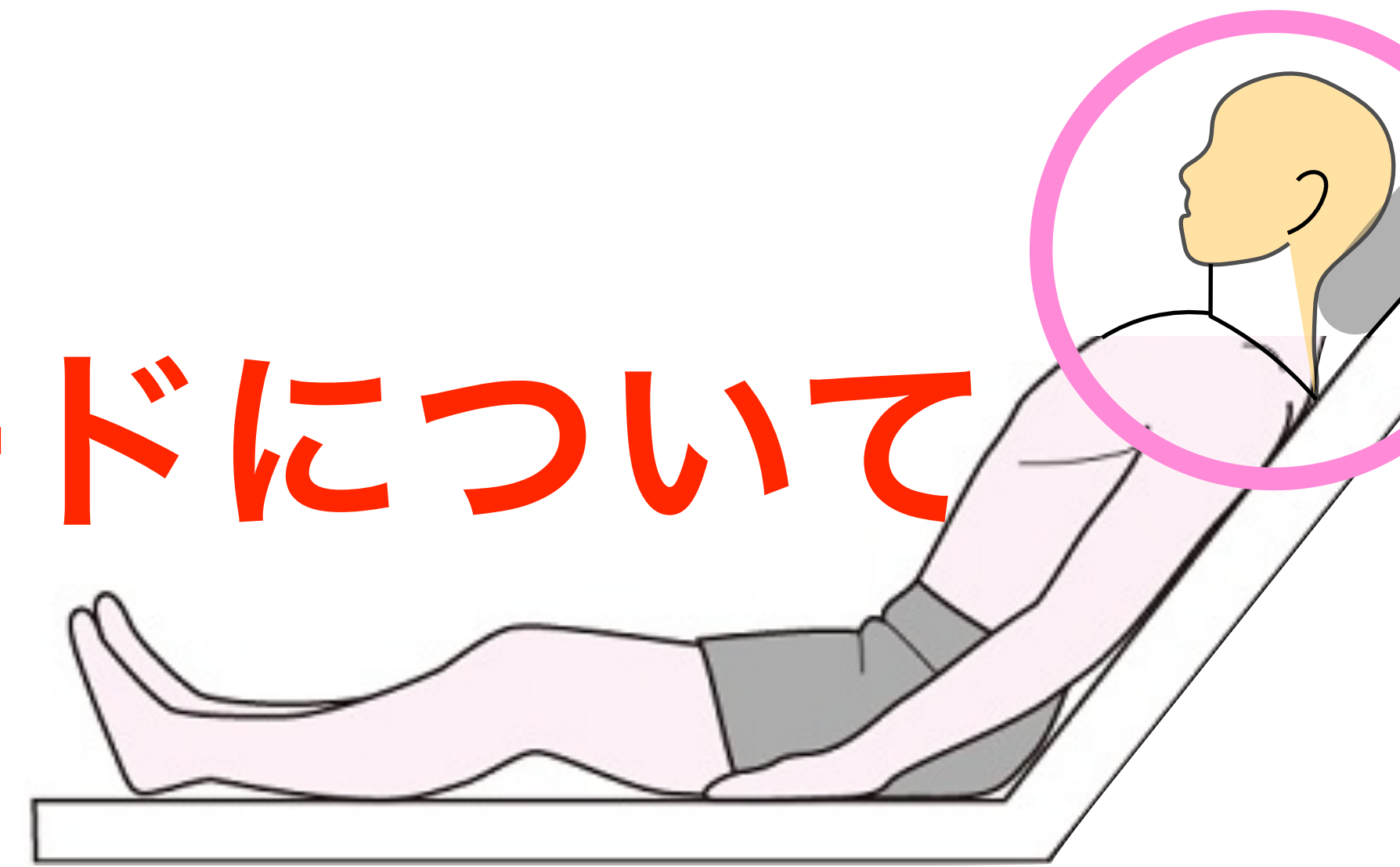


# 今回伝えたい事

① 頸部ポジショニングの役割とは？  
講師が考えるポジショニング・角度の解釈

② 嚥下機能を向上させるポジショニングとは？

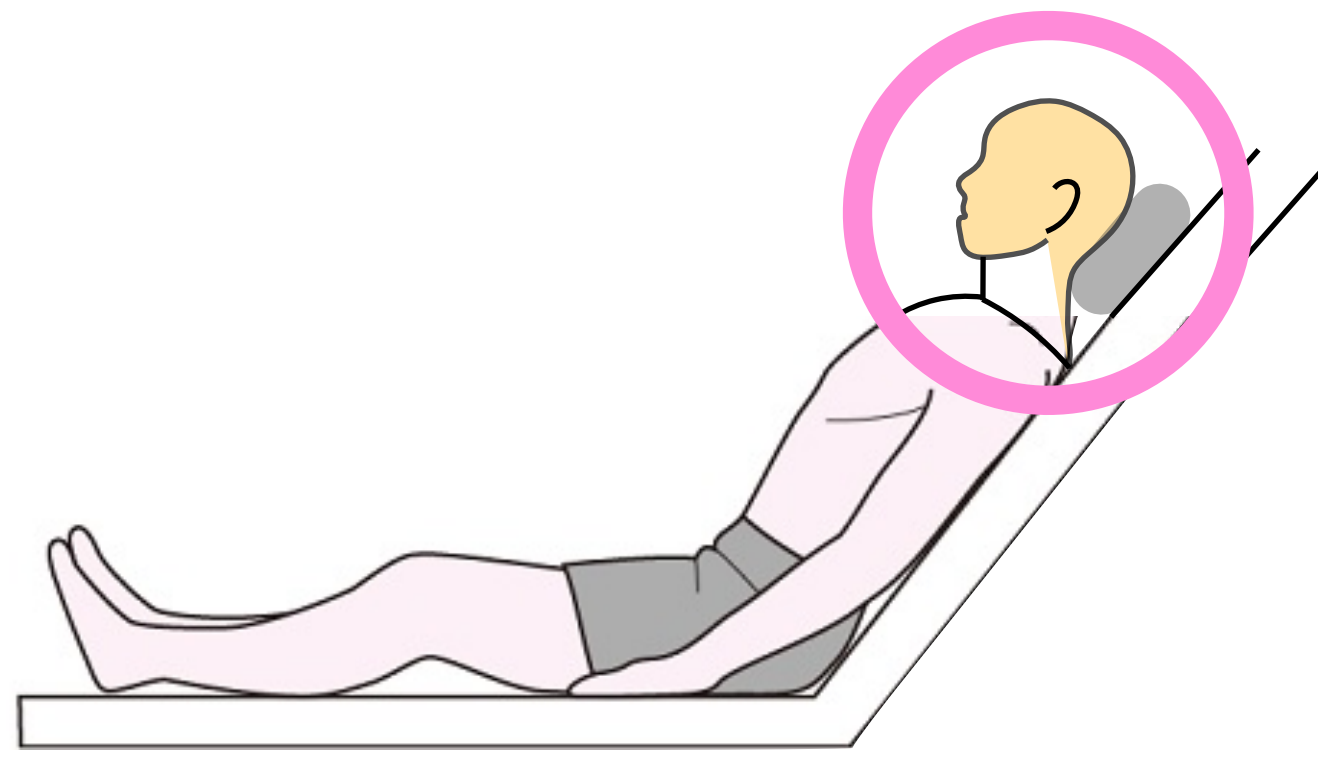
③ 頸部角度に応じた  
食物の流れる場所・スピードについて





# 『頸部』ポジショニングの役割とは？

頸部  
ポジショニング



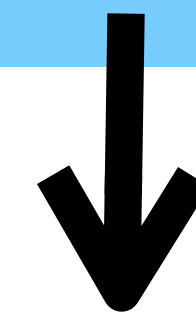
## ポジショニング

嚥下機能の効率性を向上させる為に

位置・姿勢を保持すること → 嚥下反射・嚥下圧（舌筋）

## 角度

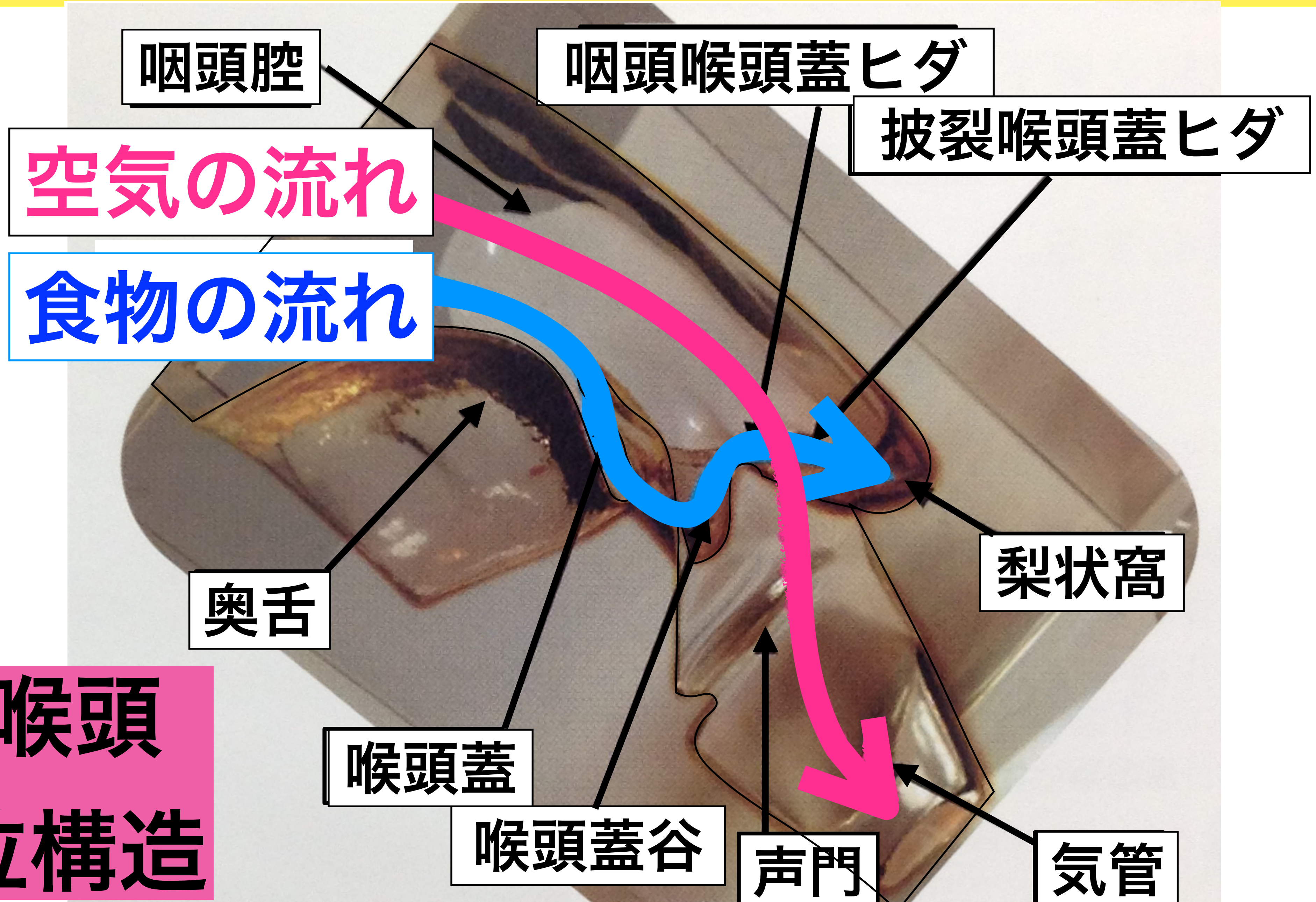
頸部角度を変えることで嚥下機能に応じた  
食塊の流れる場所・スピードを調整すること



食塊が咽頭喉頭をどのように流れるのかをイメージする



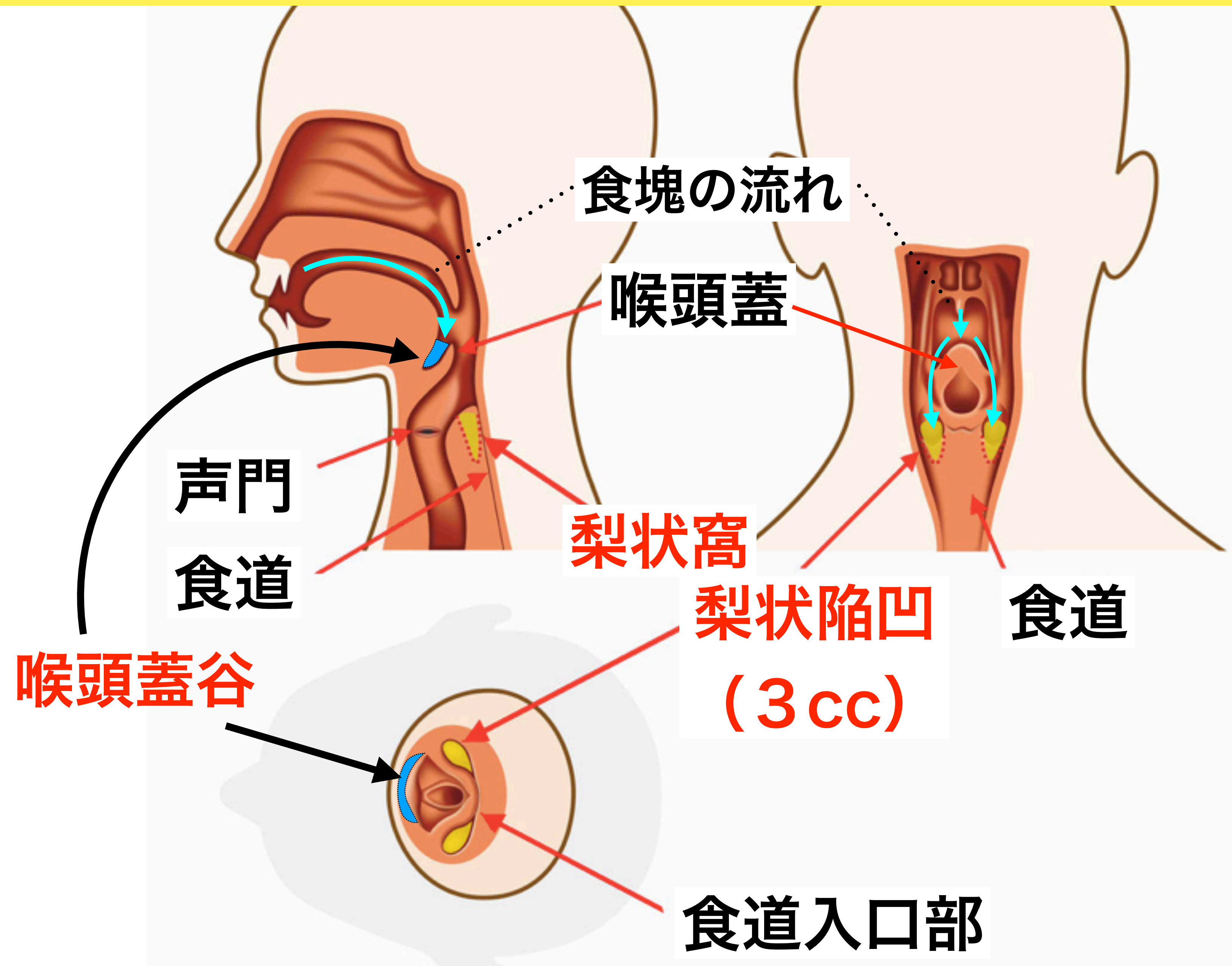
# 食塊はどのように咽頭喉頭を流れていくのか？



## 咽頭喉頭 腹臥位構造



# 食塊が溜まる場所について



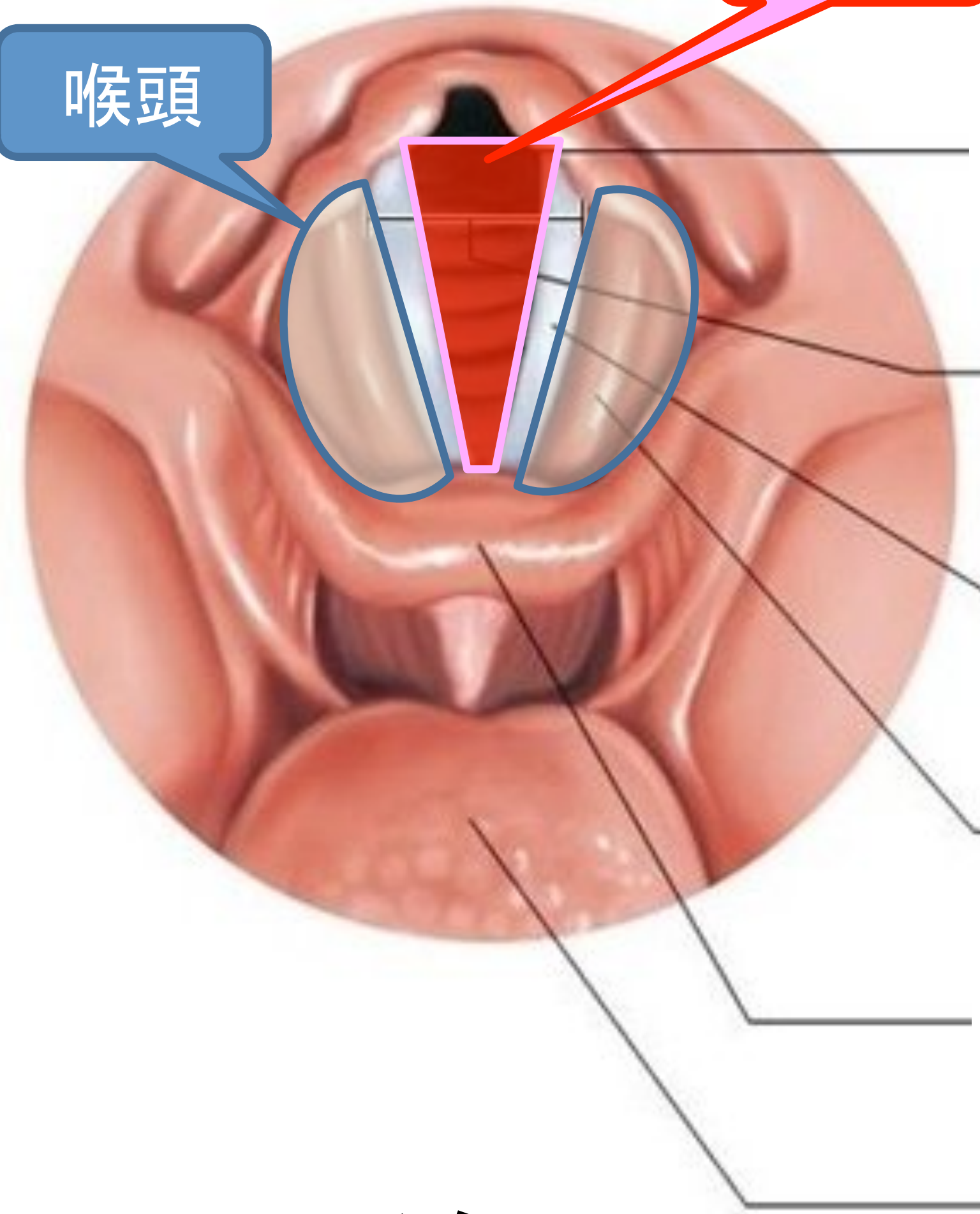


# 咽頭・喉頭の解剖学

呼吸時

気管

喉頭



前

気管

声門

声帯

仮声帯

喉頭蓋

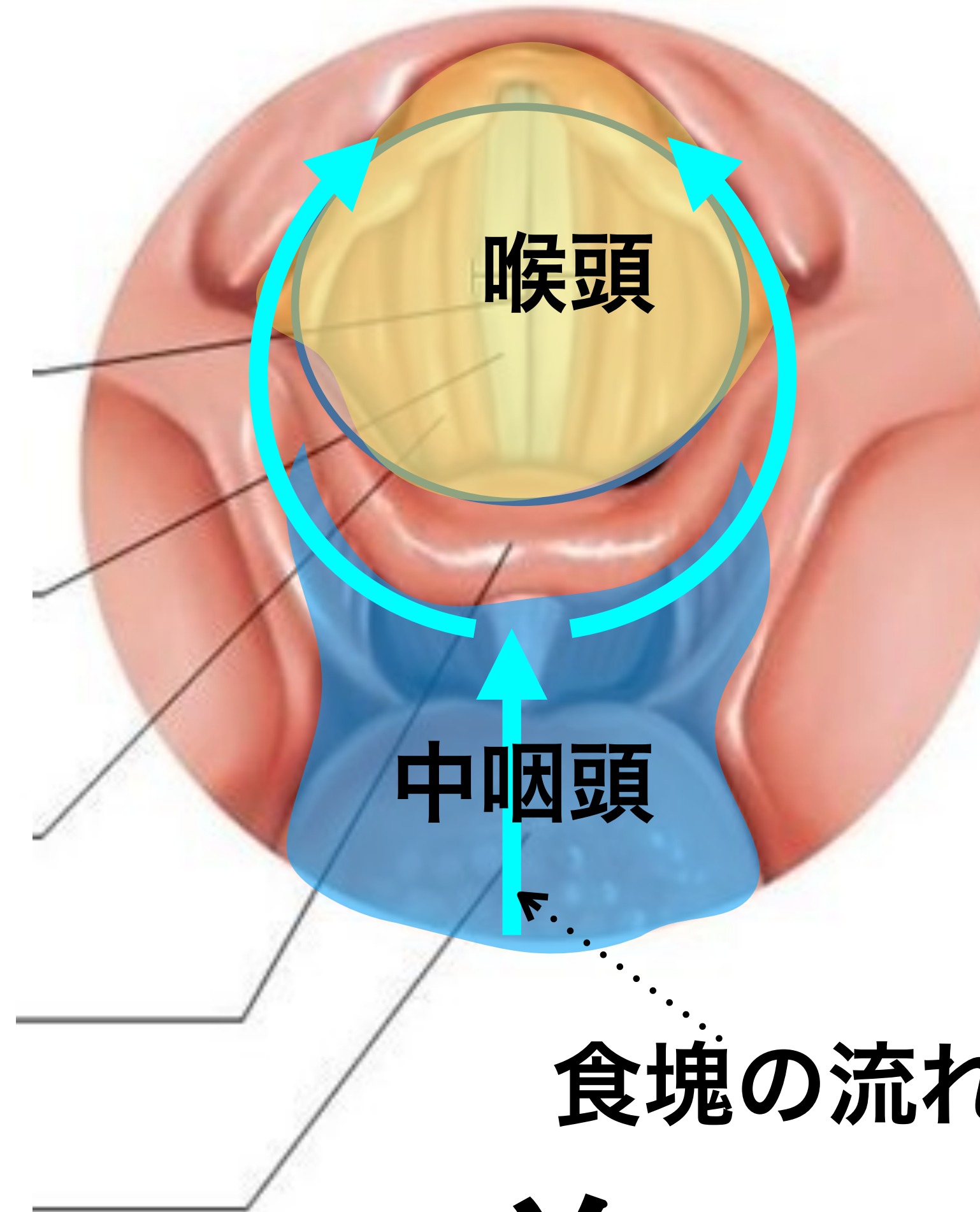
舌根

発声・嚥下時

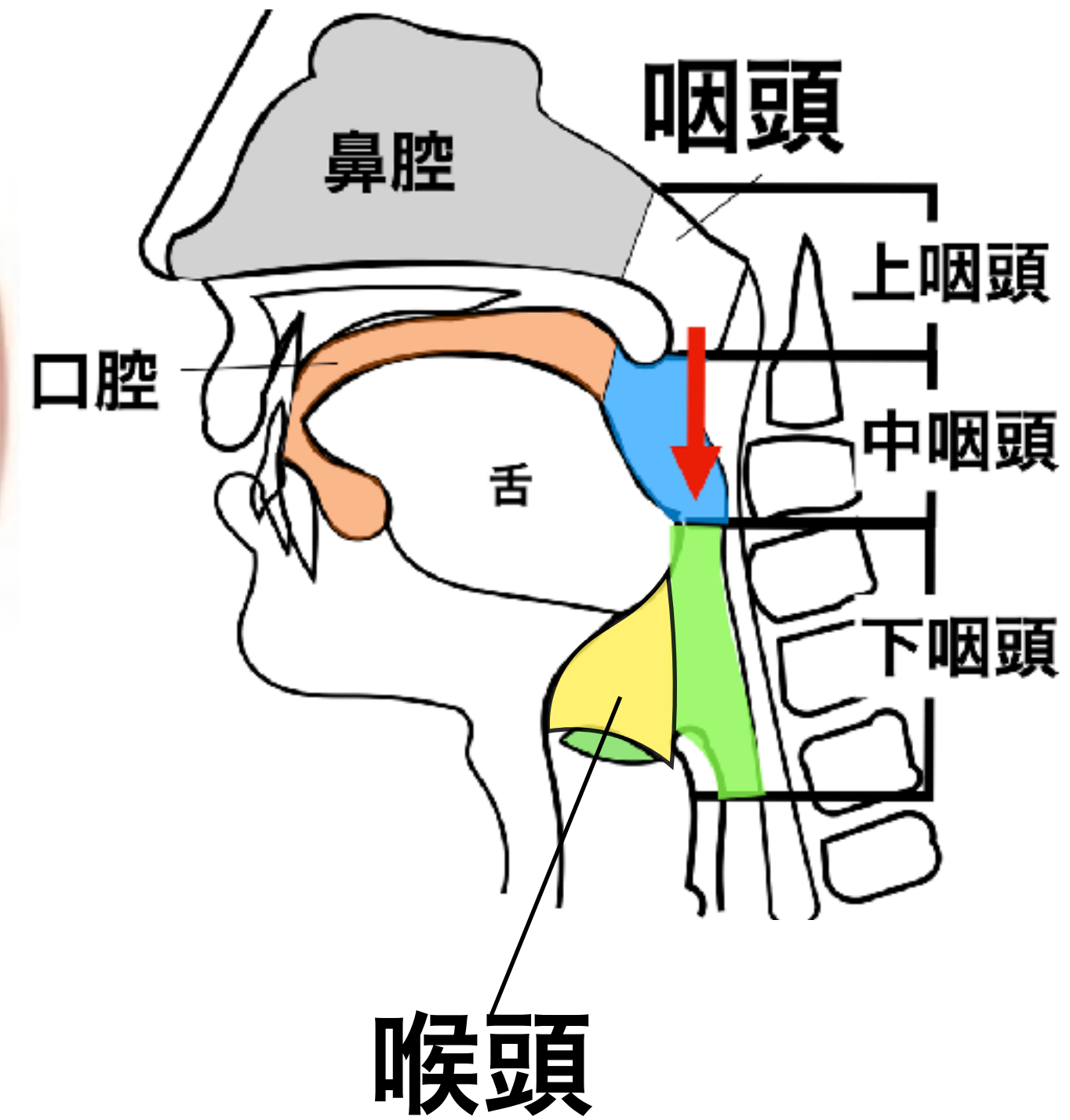
喉頭

中咽頭

食塊の流れ



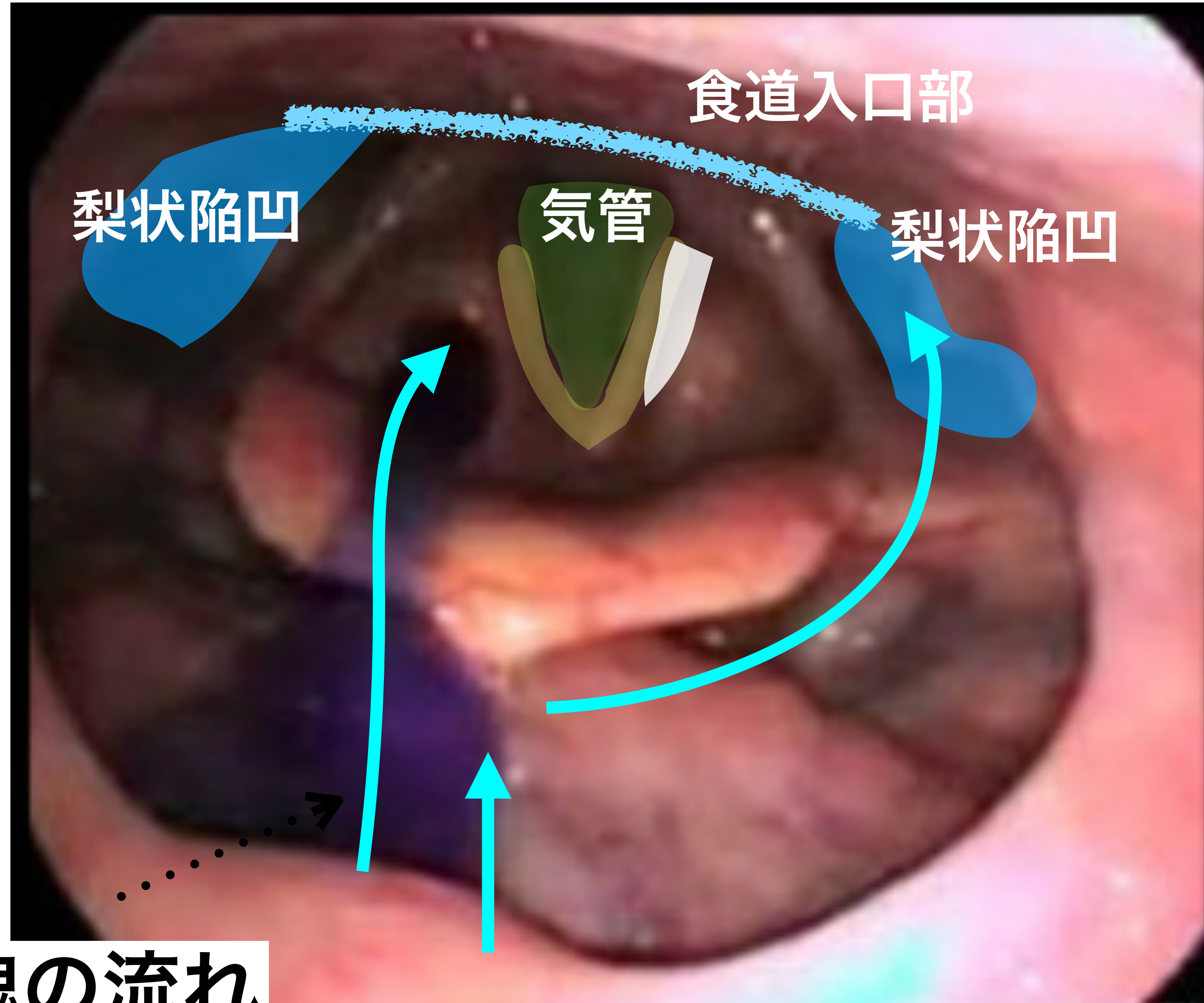
前



喉頭



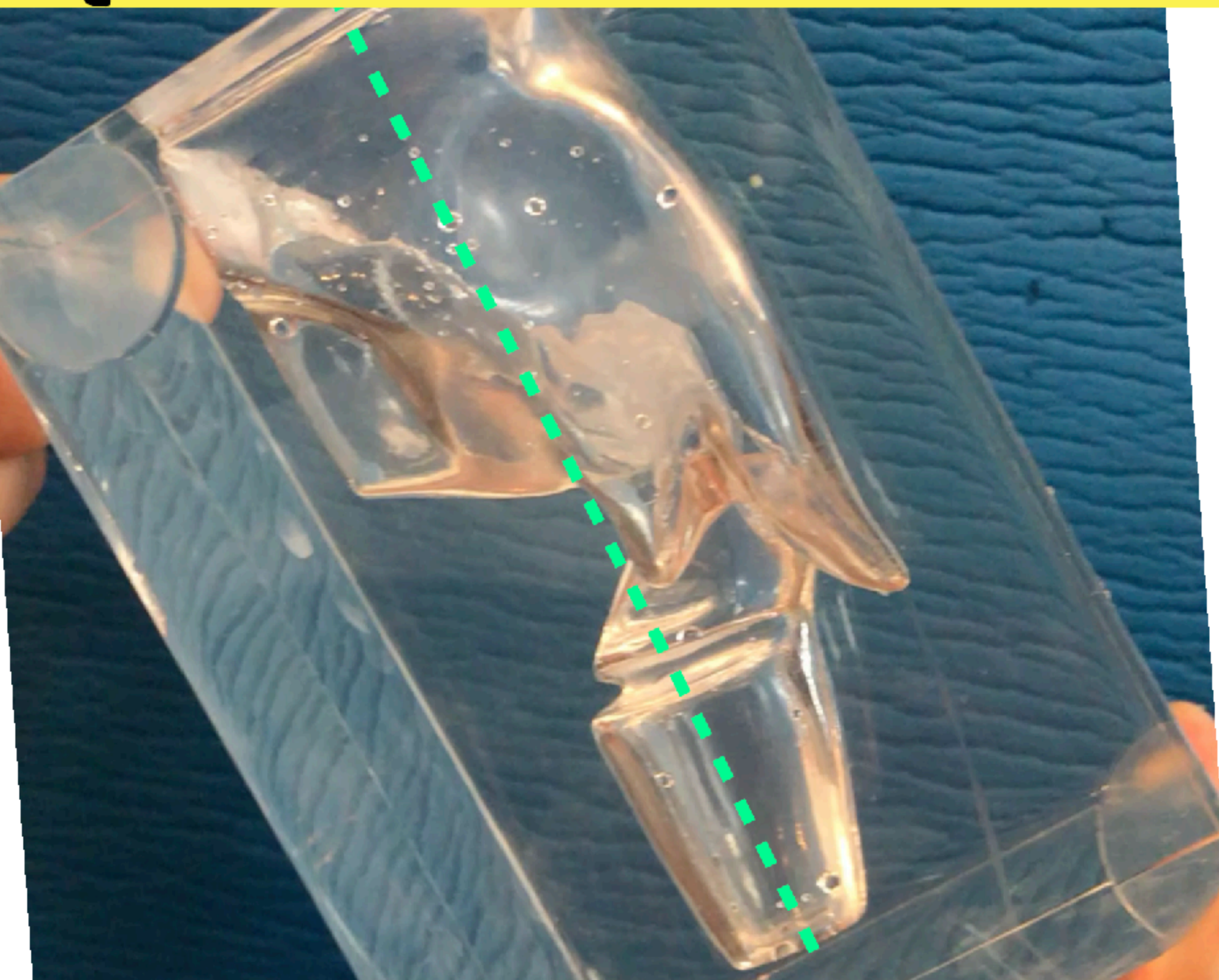
# 誤嚥と喉頭侵入について





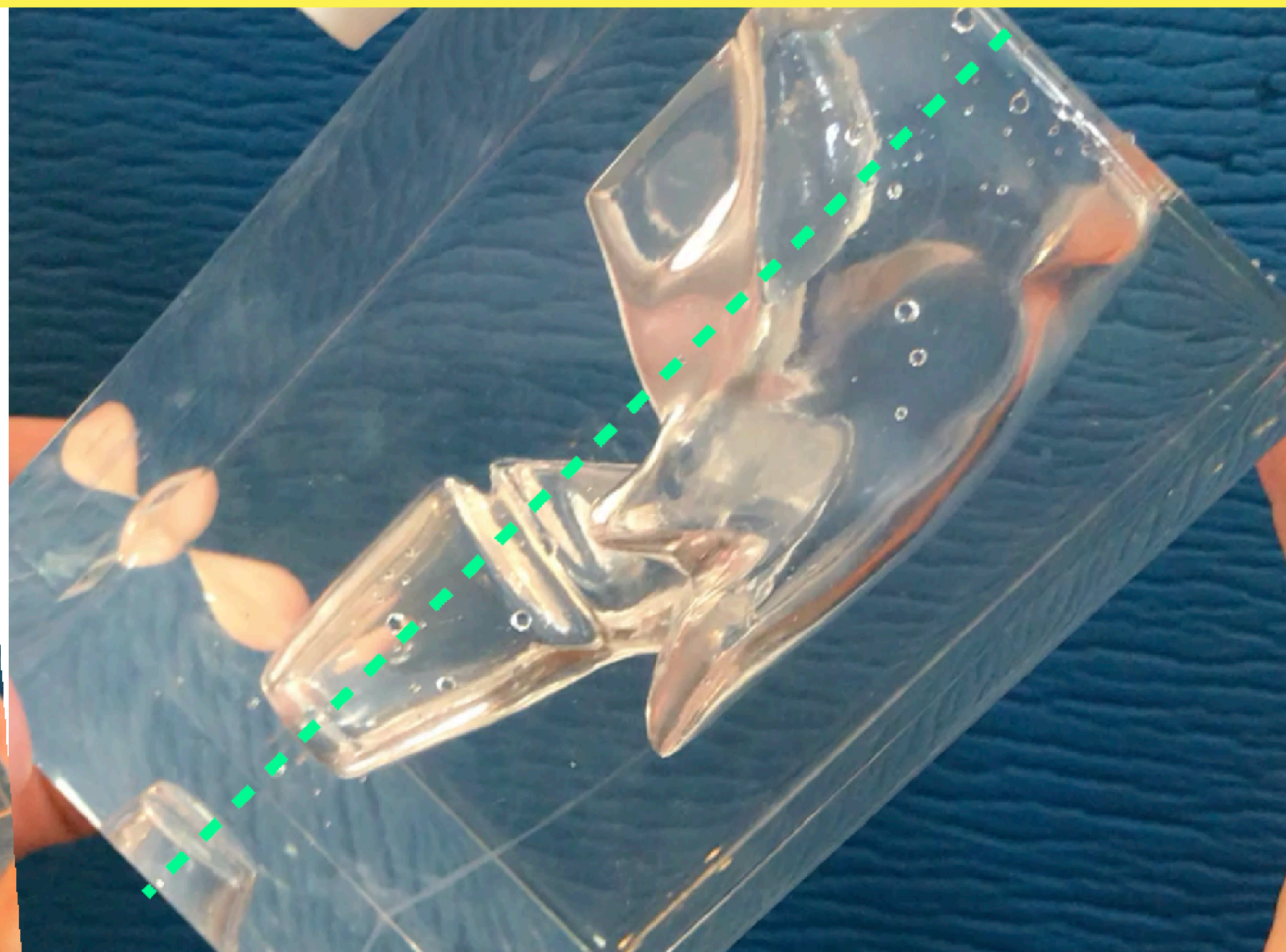


# 角度変化による流れる場所に違い



60°以上

→咽頭**前壁**を流れる  
**喉頭蓋谷**に食塊が貯留



0°~60°

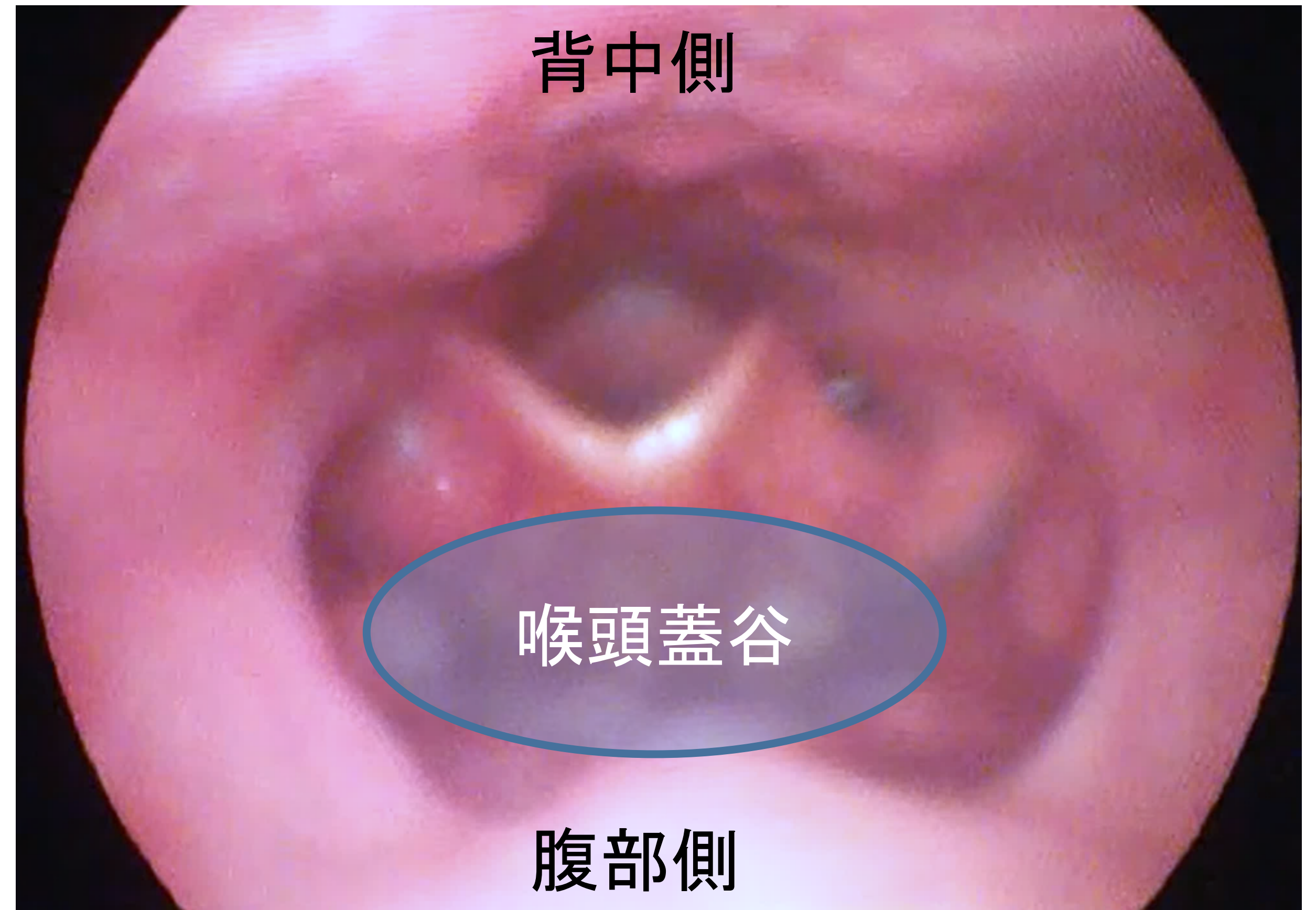
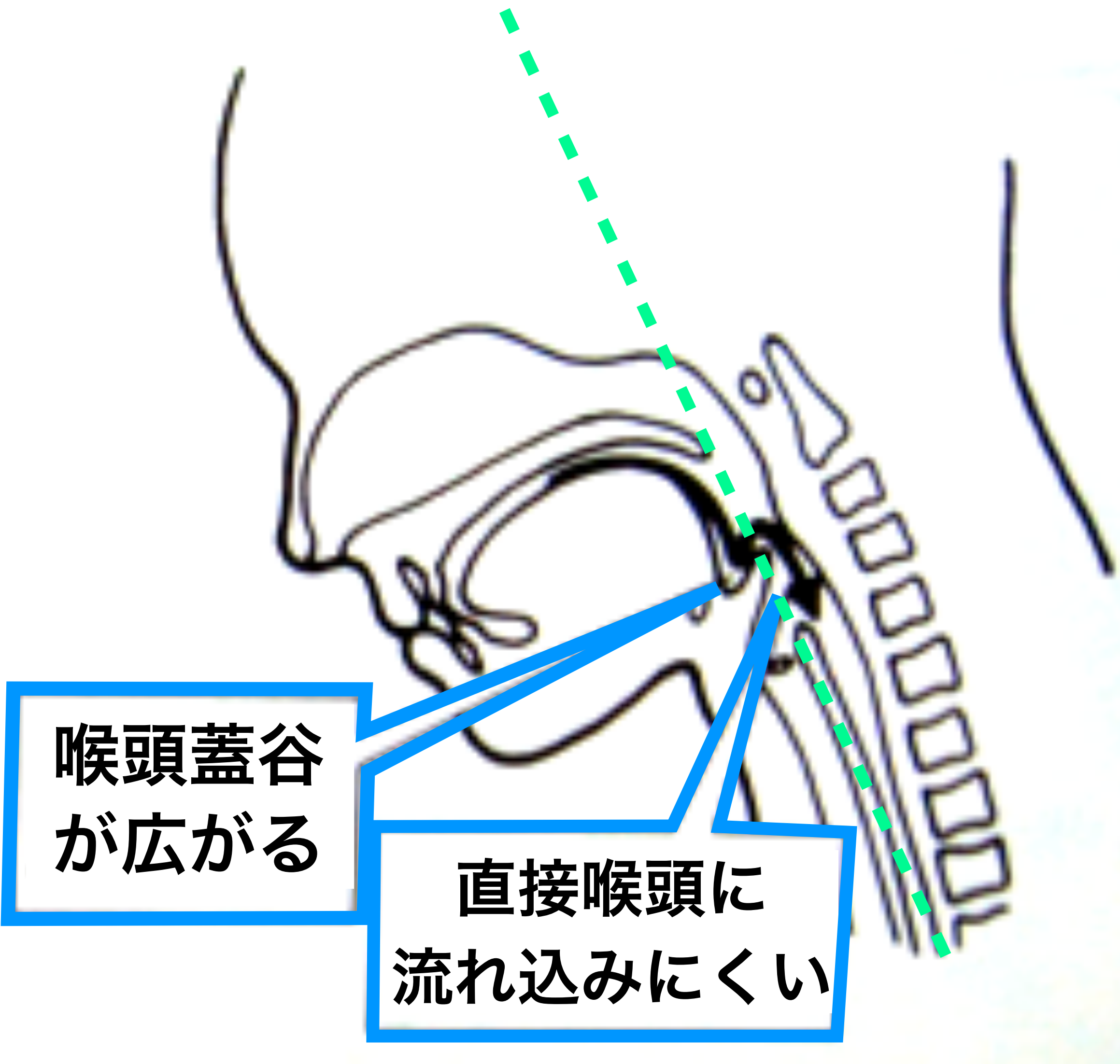
→咽頭**後壁**を流れる  
**梨状窩**に食塊が貯留



# 頸部屈曲位での食塊の流れる位置について

喉頭蓋と舌が離れて、食材を安全な場所（喉頭蓋谷）に溜められる

## 頭部・頸部屈曲

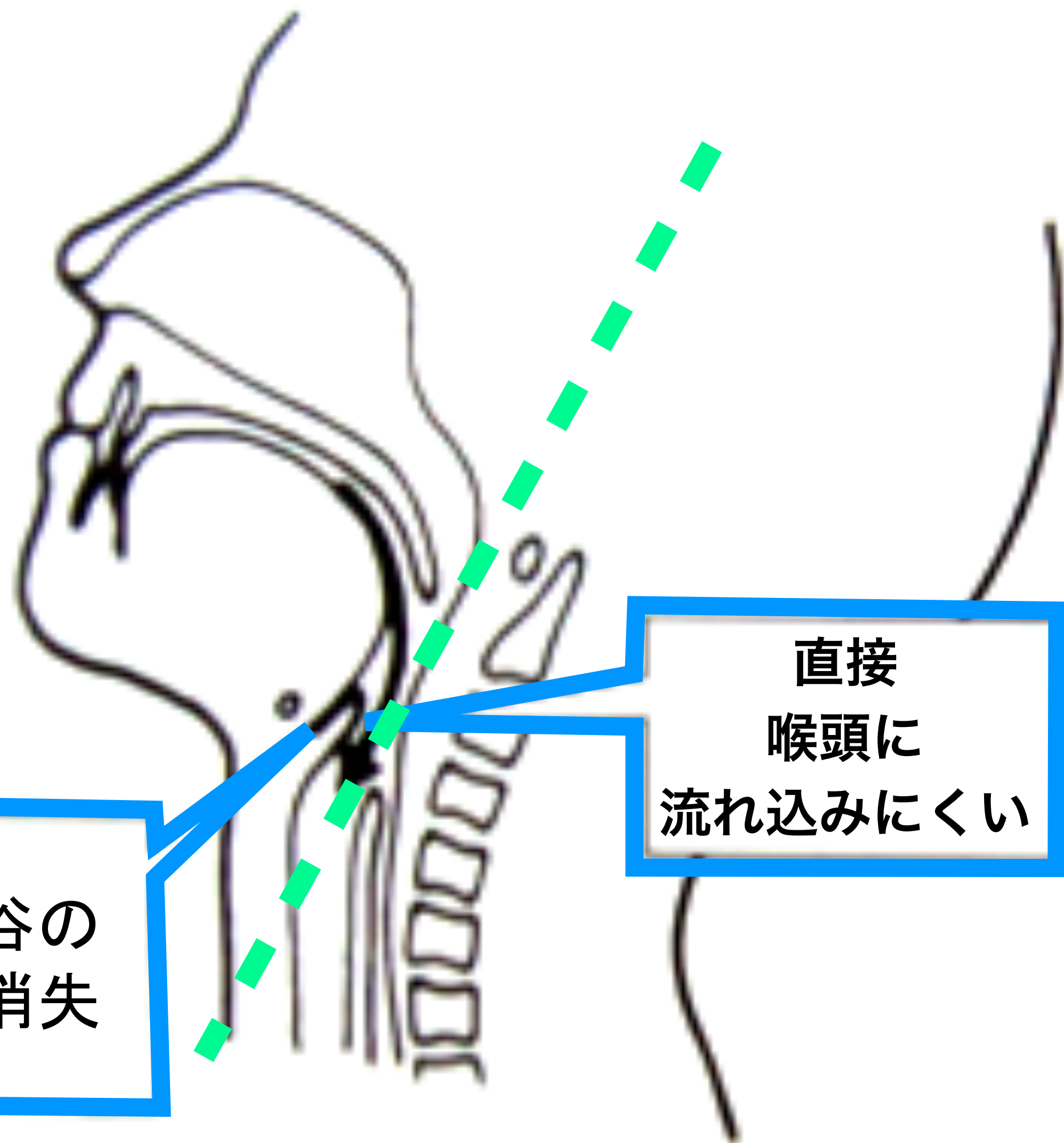




# 頸部伸展位での食塊の流れる位置について

喉頭蓋と舌が接触し滑り台の様になり、食塊が喉頭に流れ込みやすい

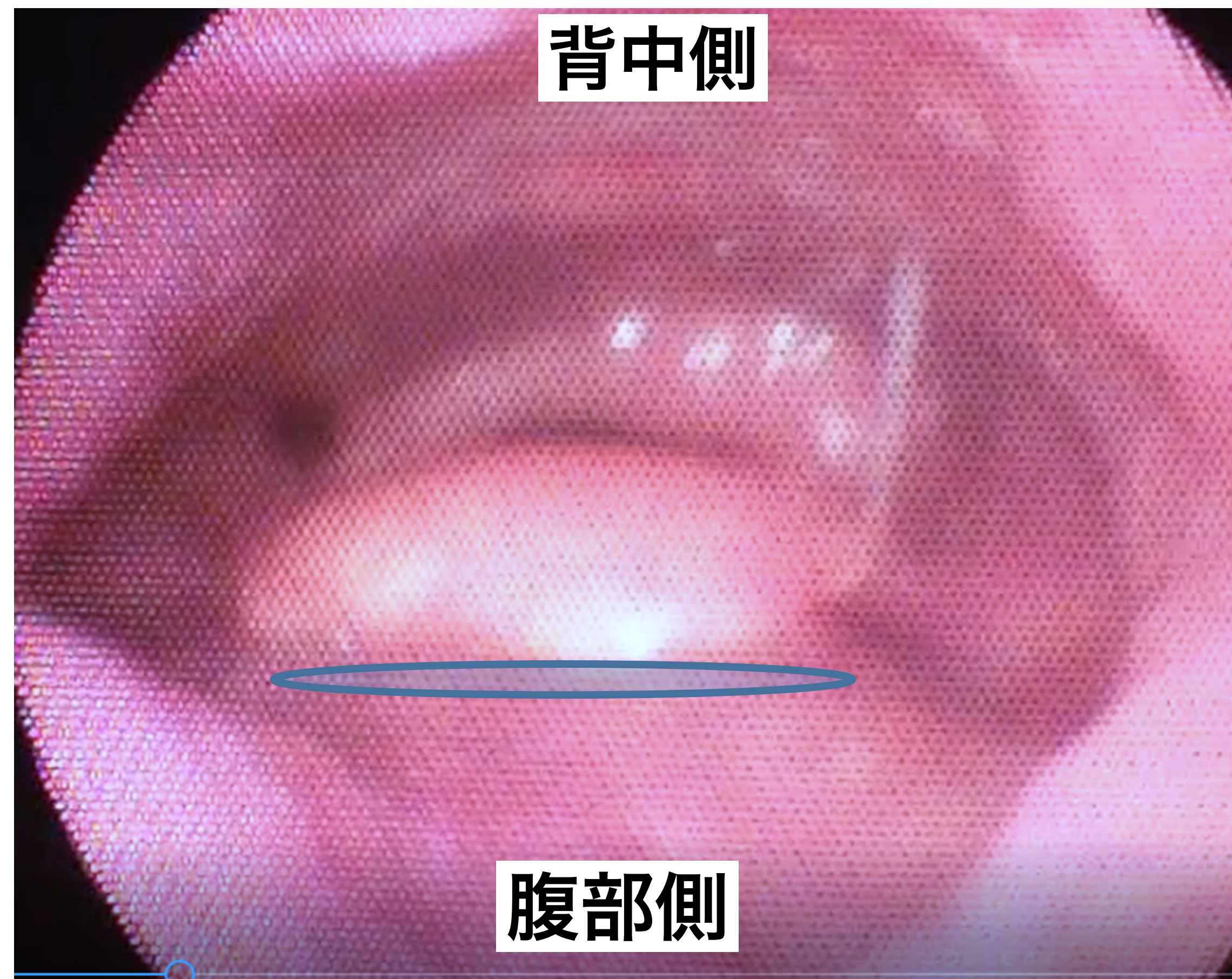
## 頭頸部伸展位



喉頭蓋谷の隙間が消失

直接喉頭に流れ込みにくい

背中側



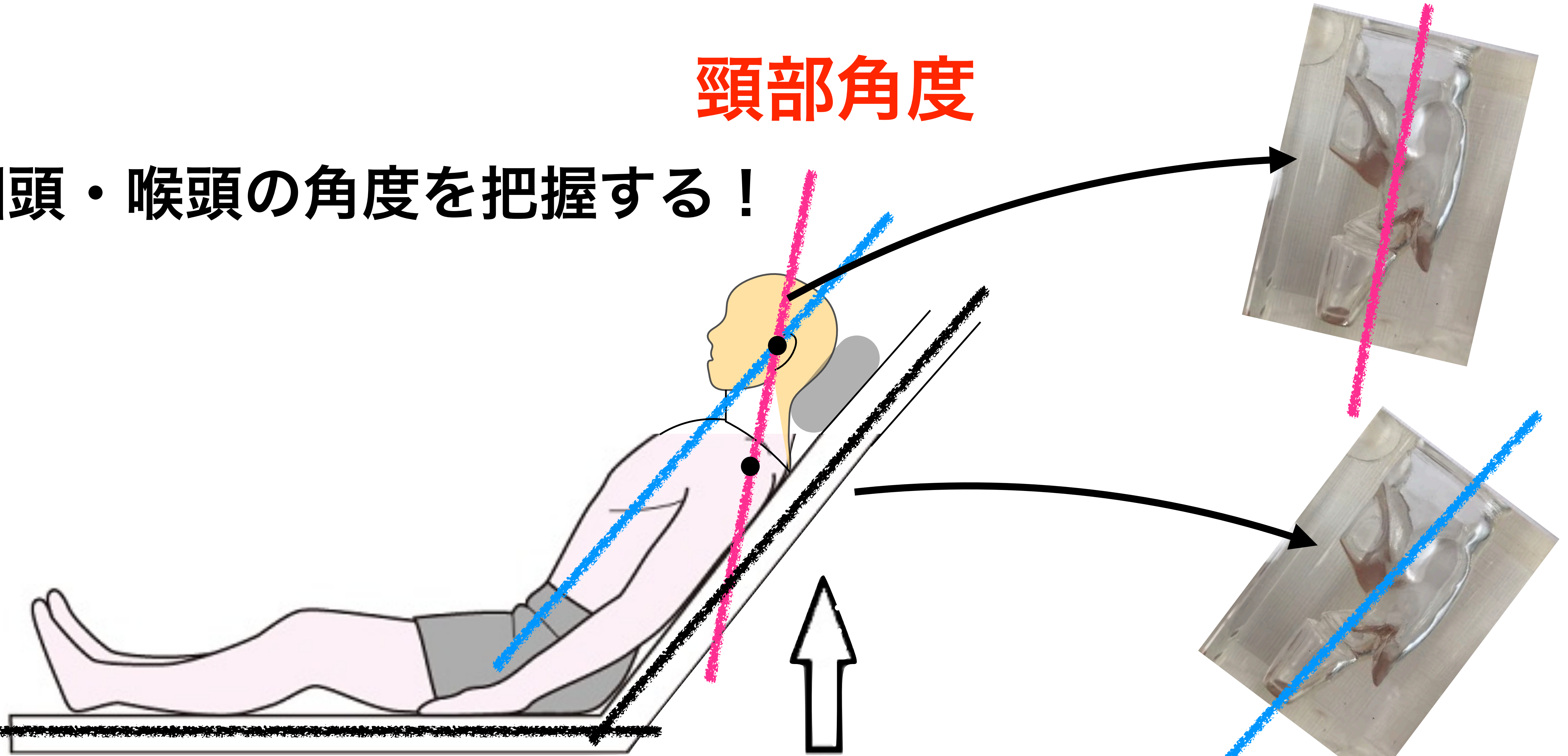
腹部側



# 臨床でみるべき頸部角度について

## 頸部角度

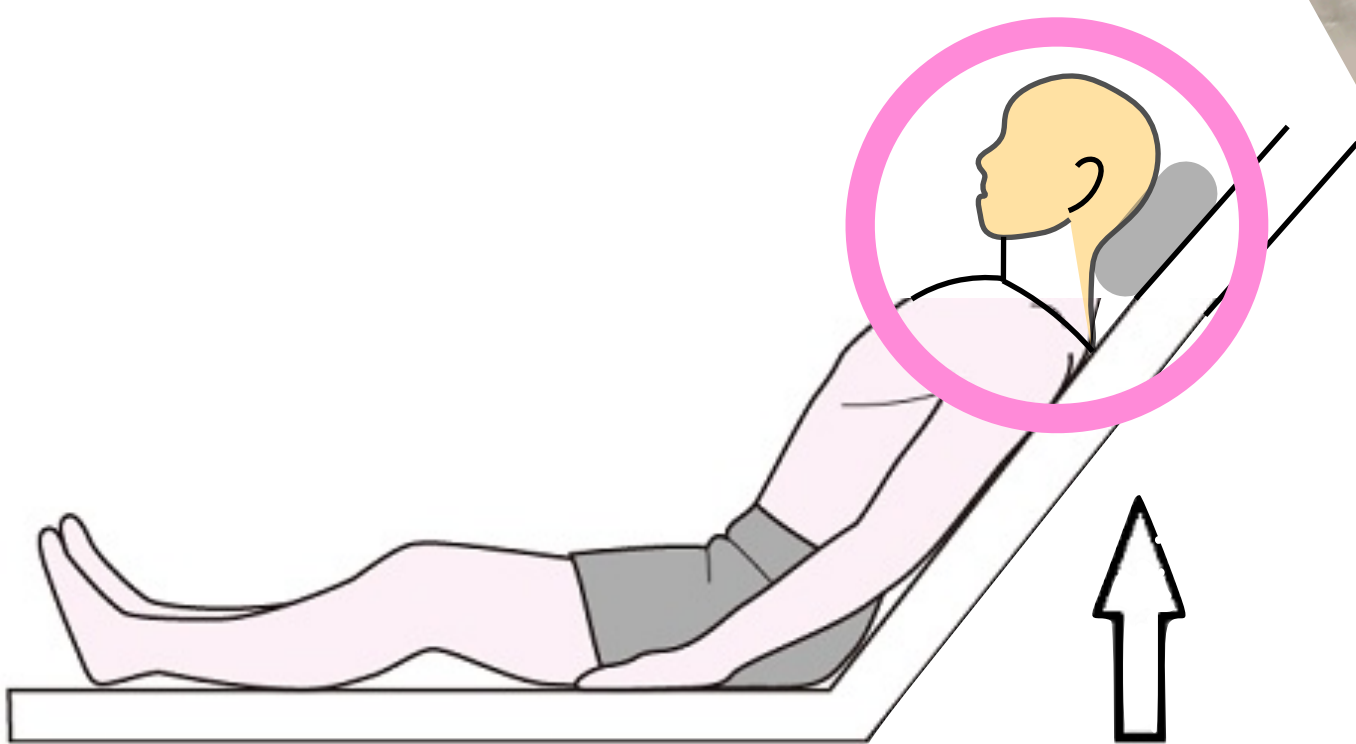
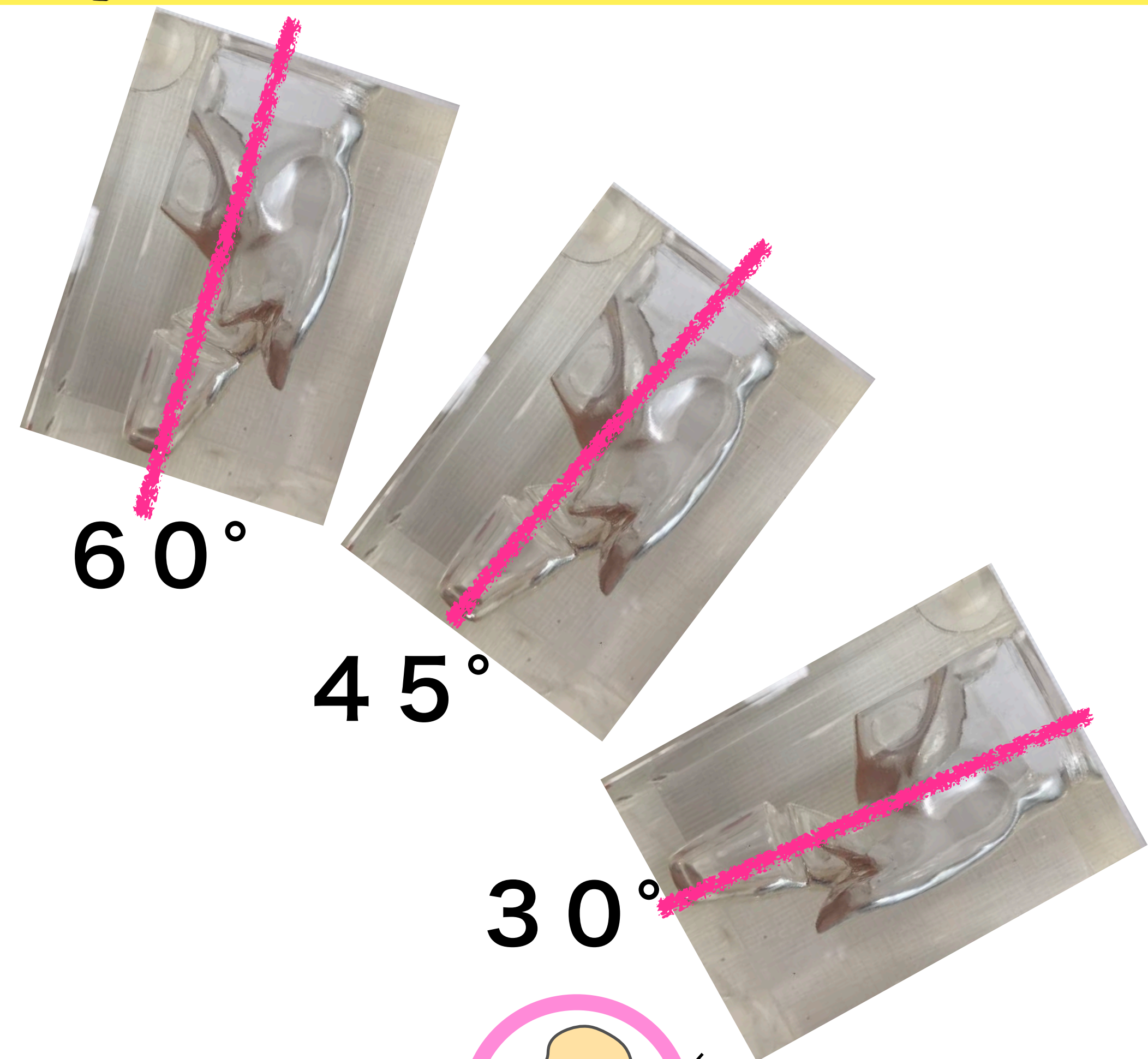
咽頭・喉頭の角度を把握する！



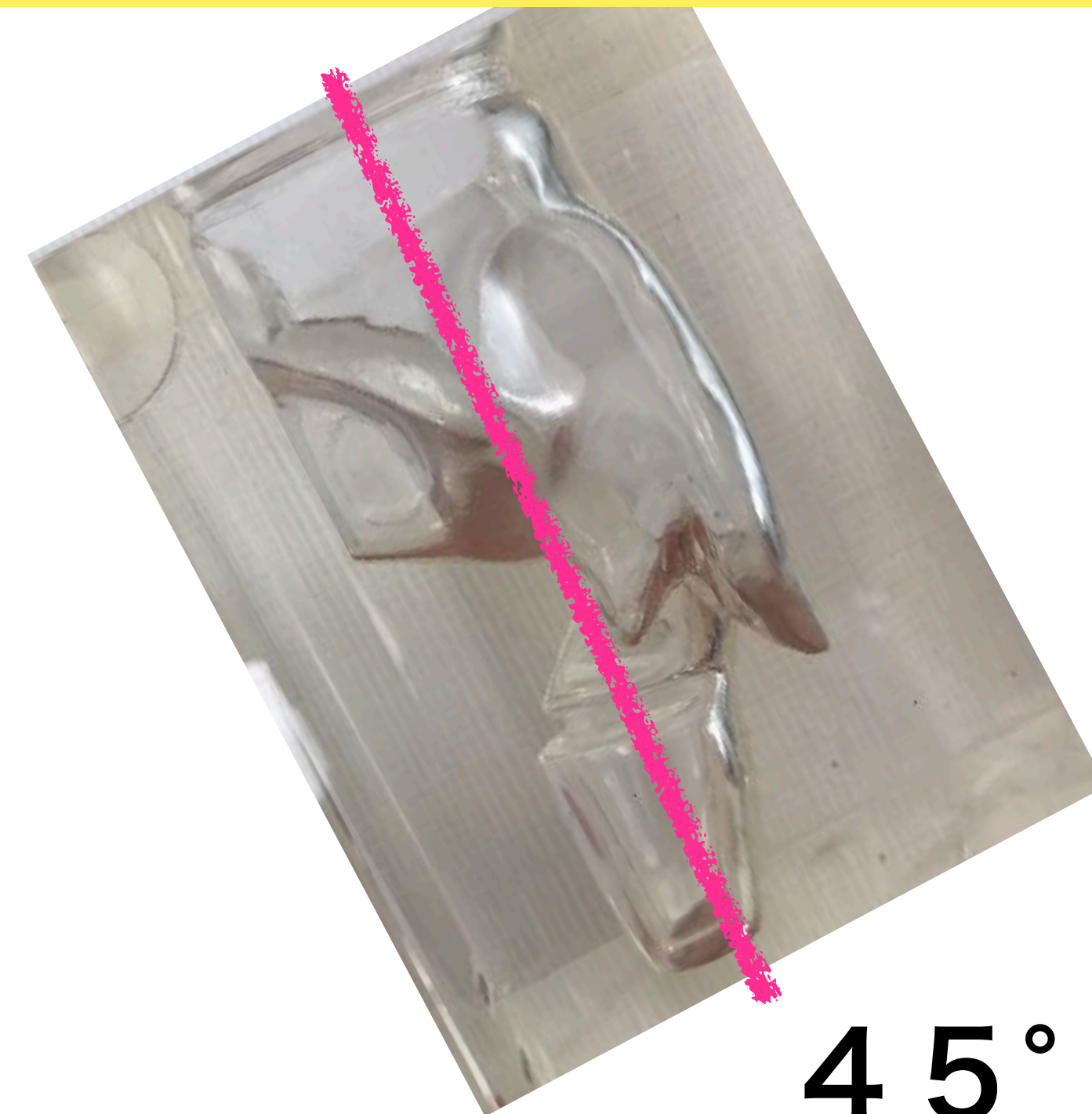
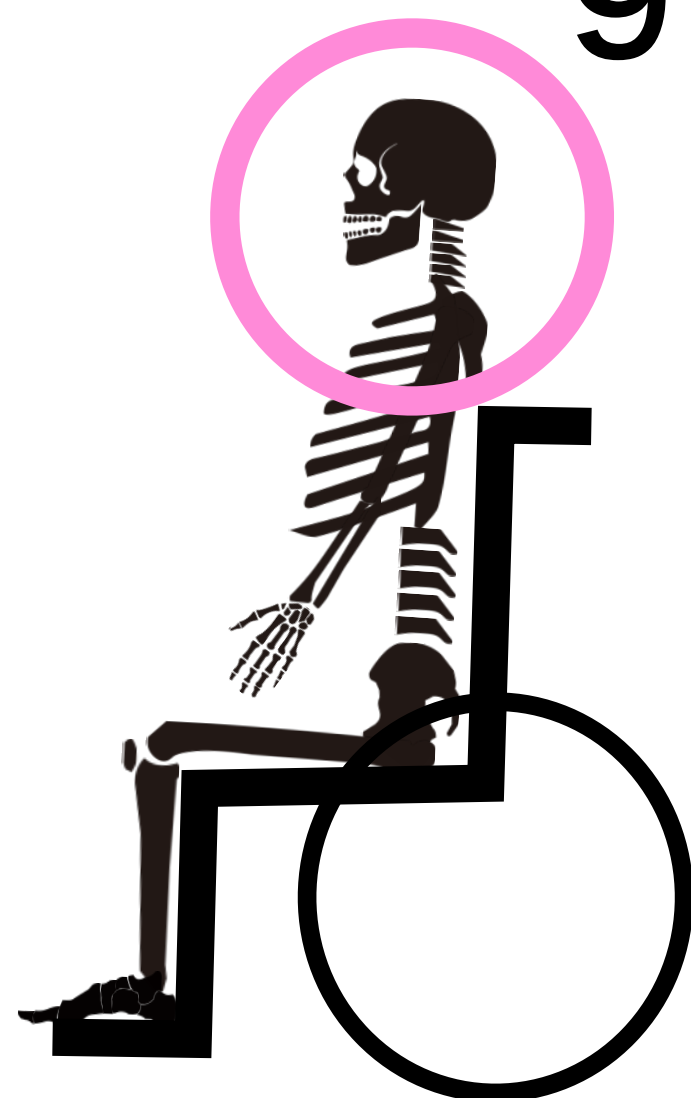
ギヤッジアップ 角度



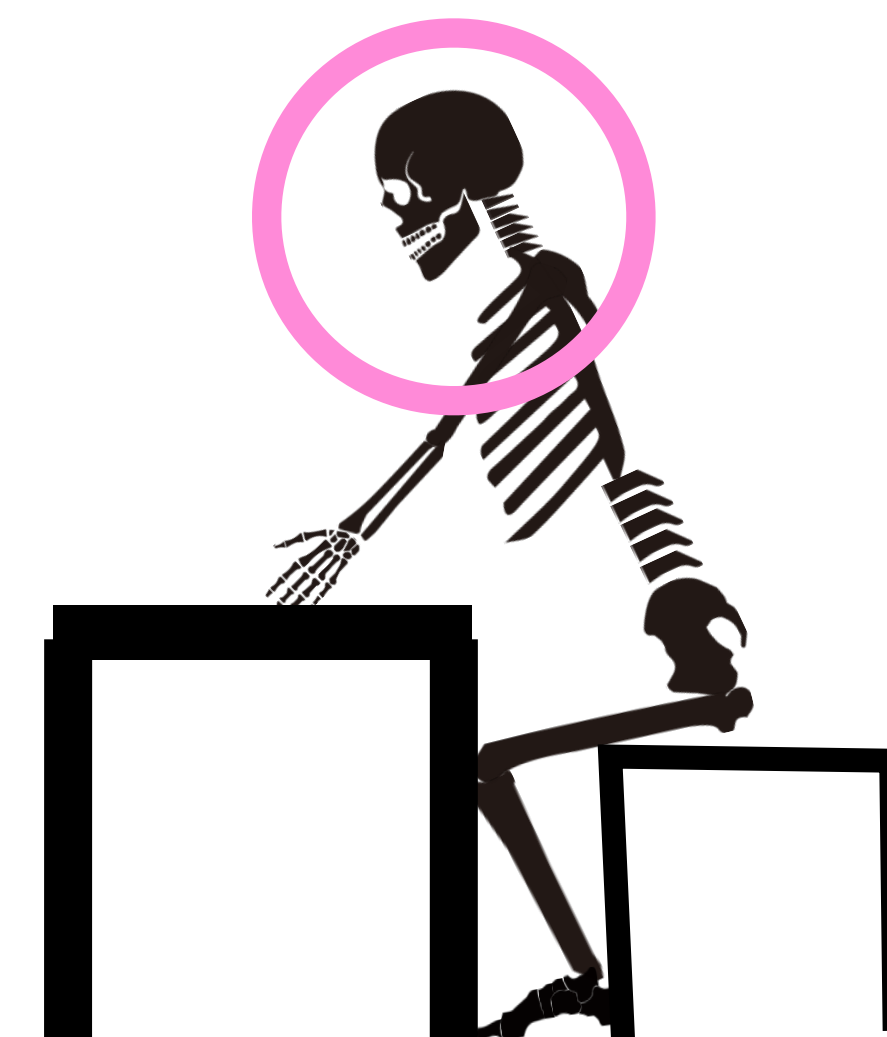
# 臨床でみるべき頸部角度について



90°

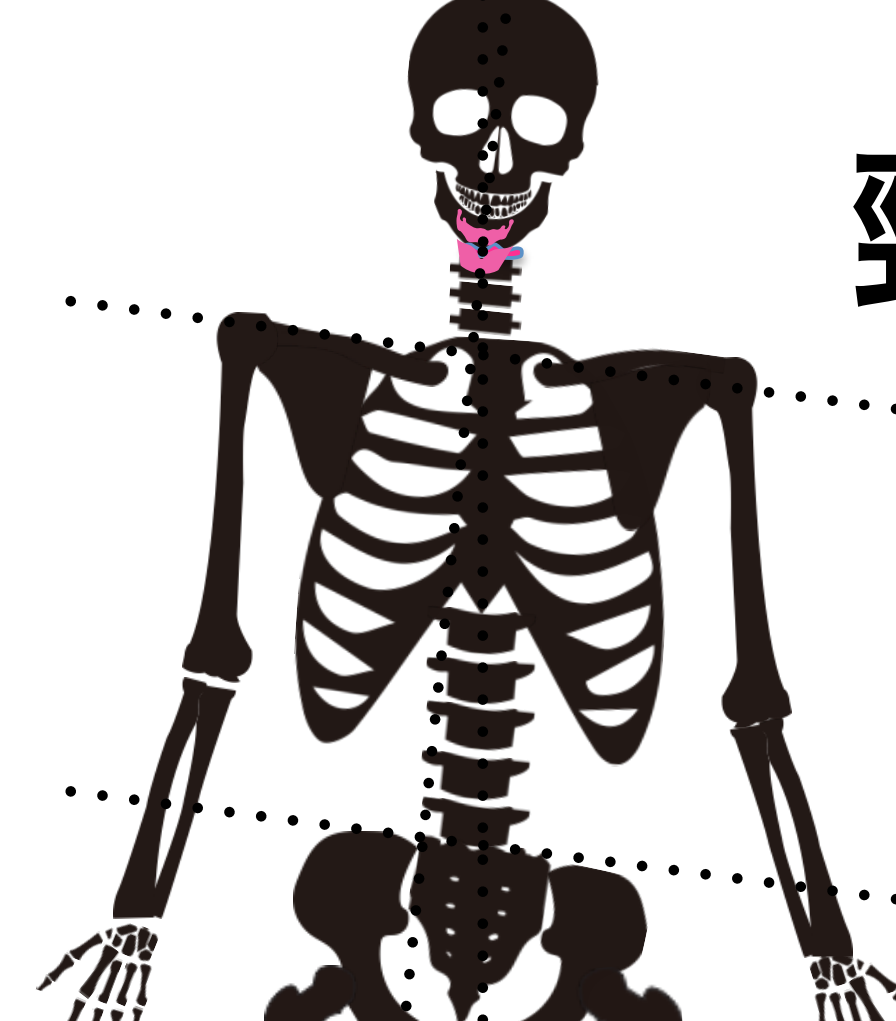
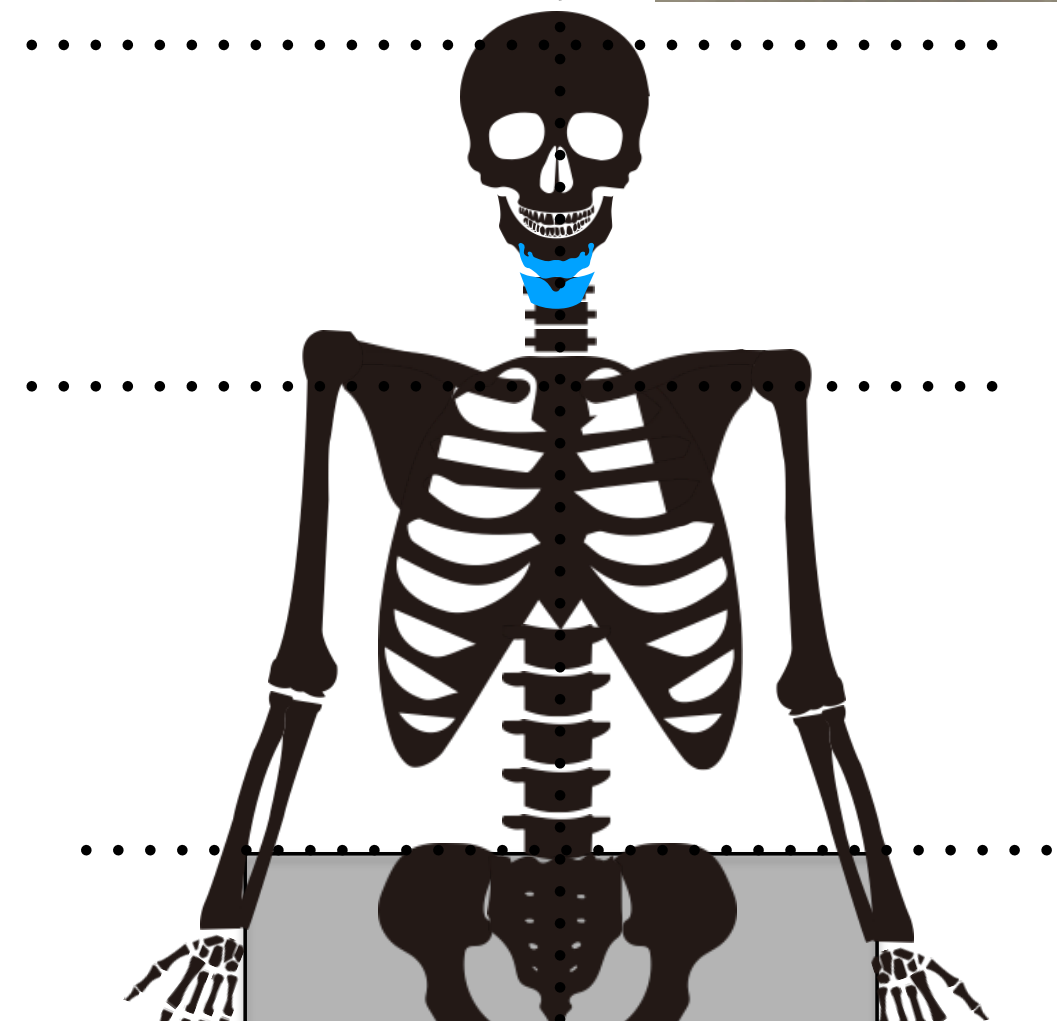
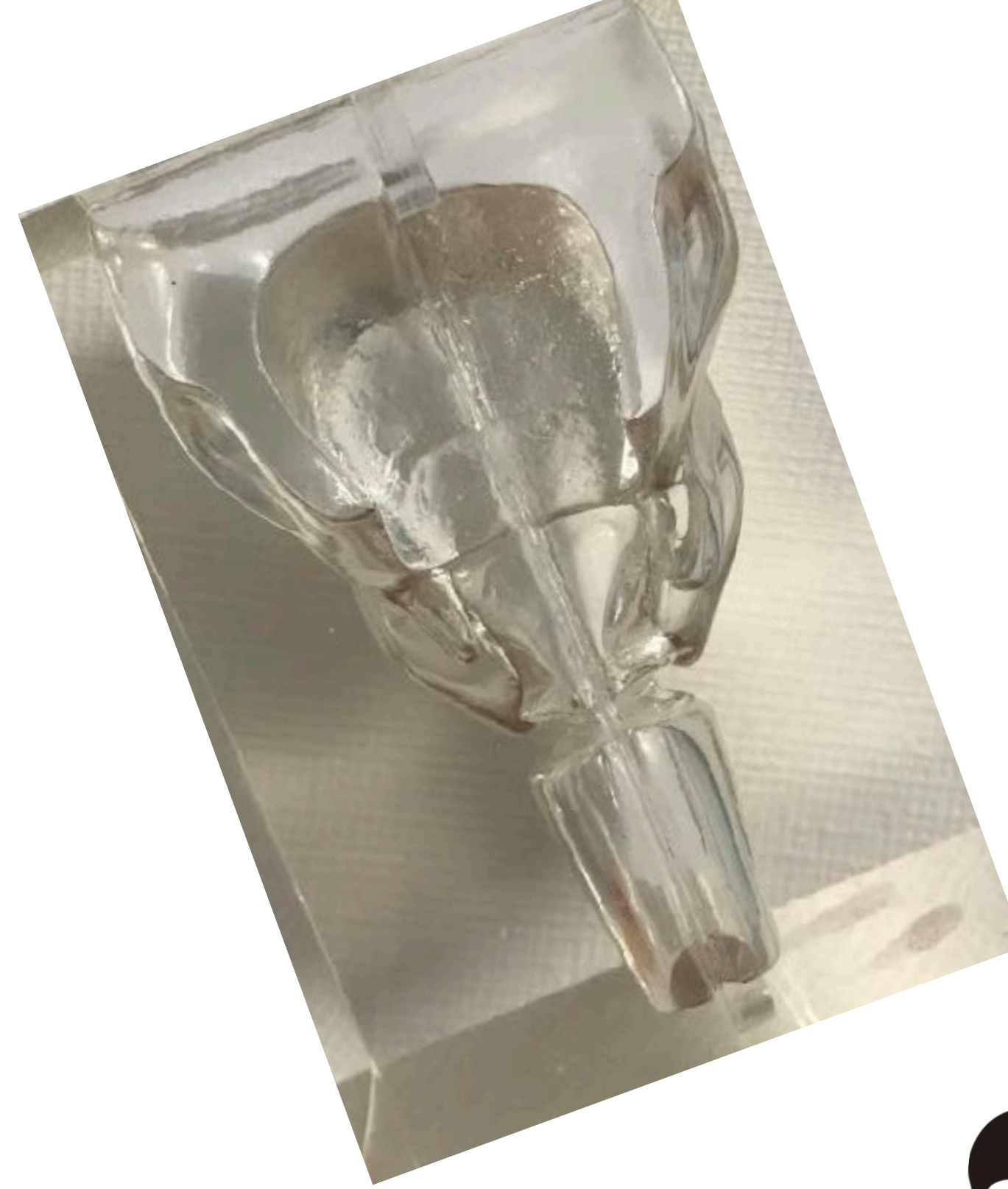


45°





# 回旋・側屈での食塊の流れについて

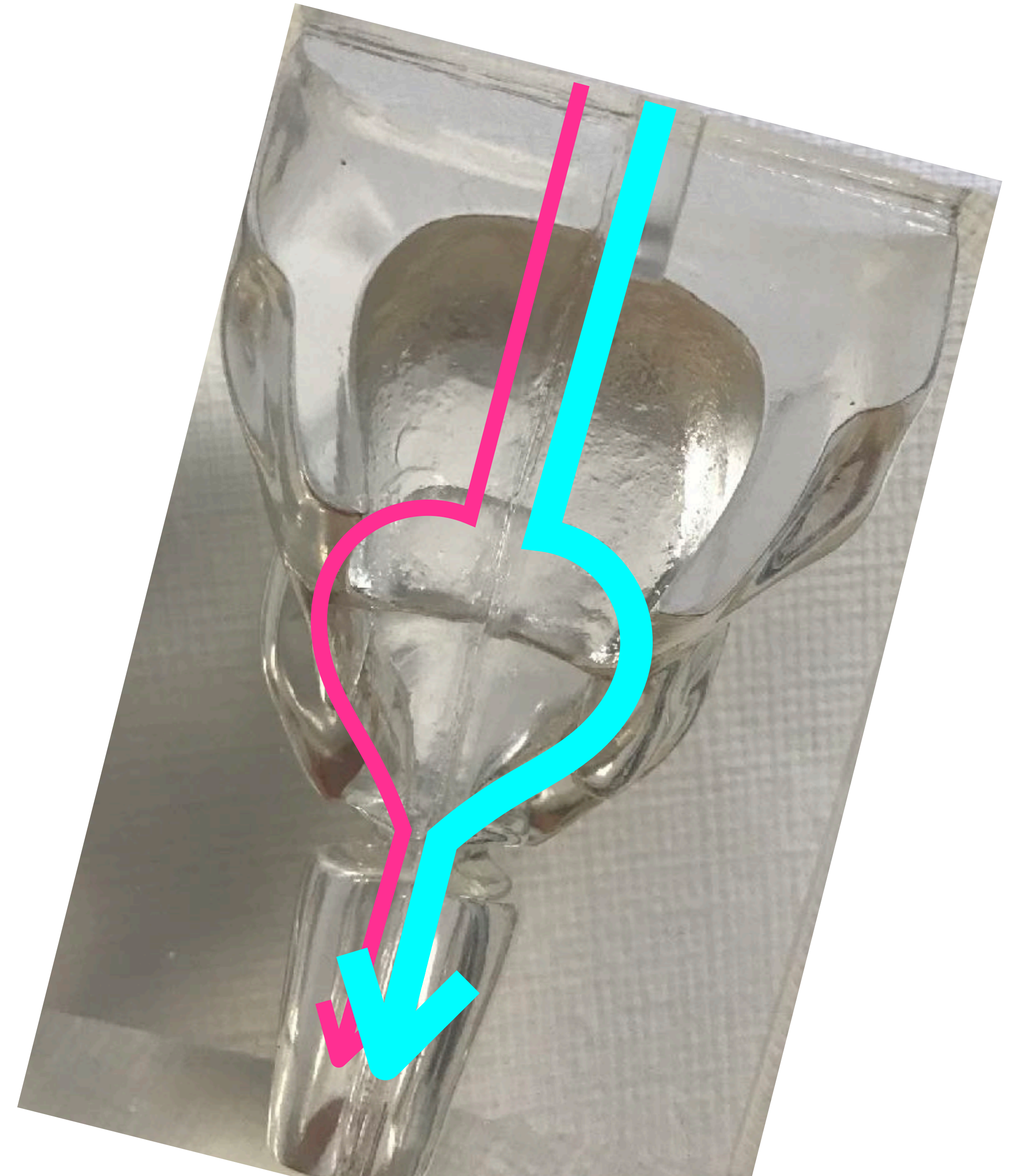
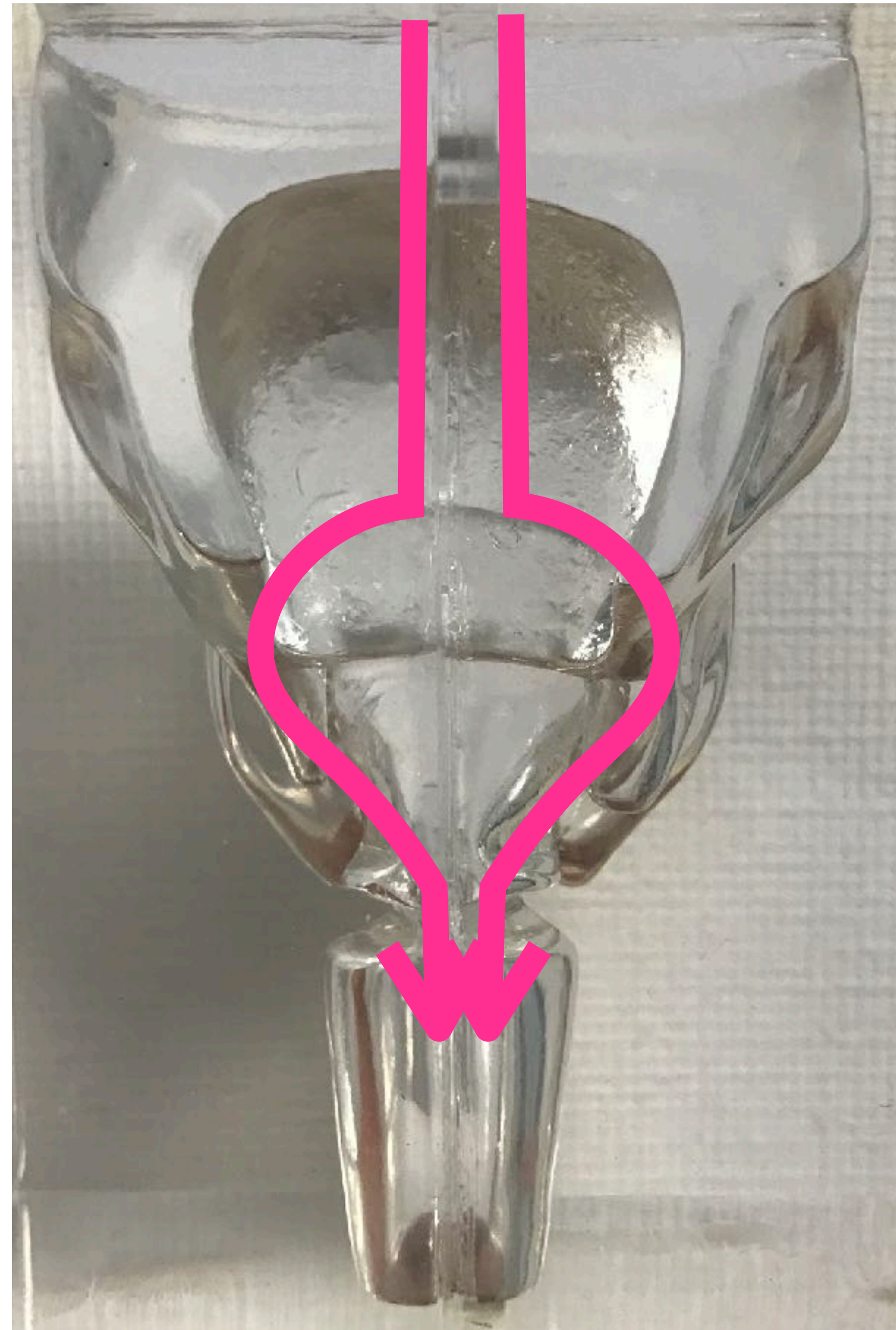


頸部左側屈

左麻痺

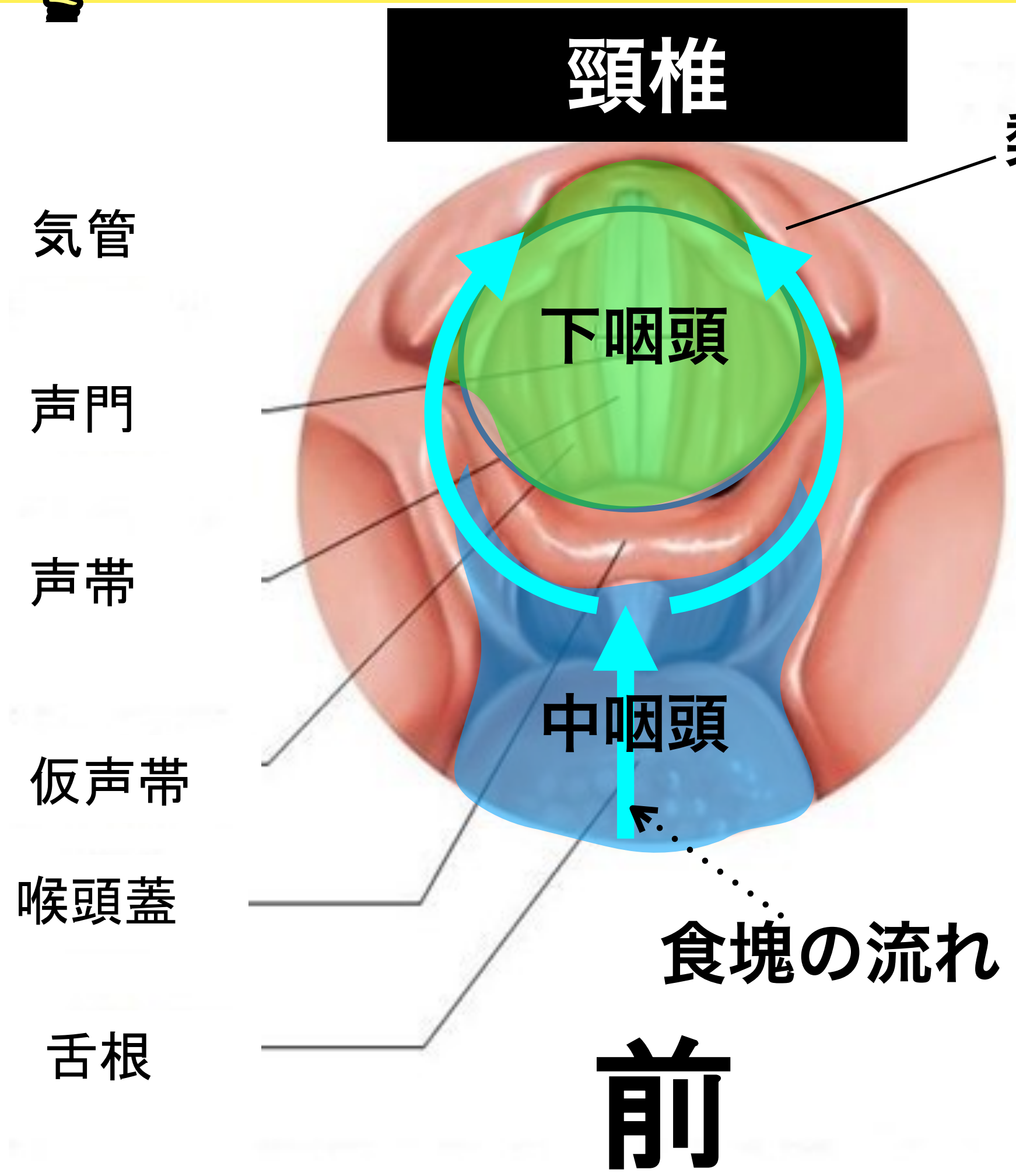


# 回旋・側屈での食塊の流れについて

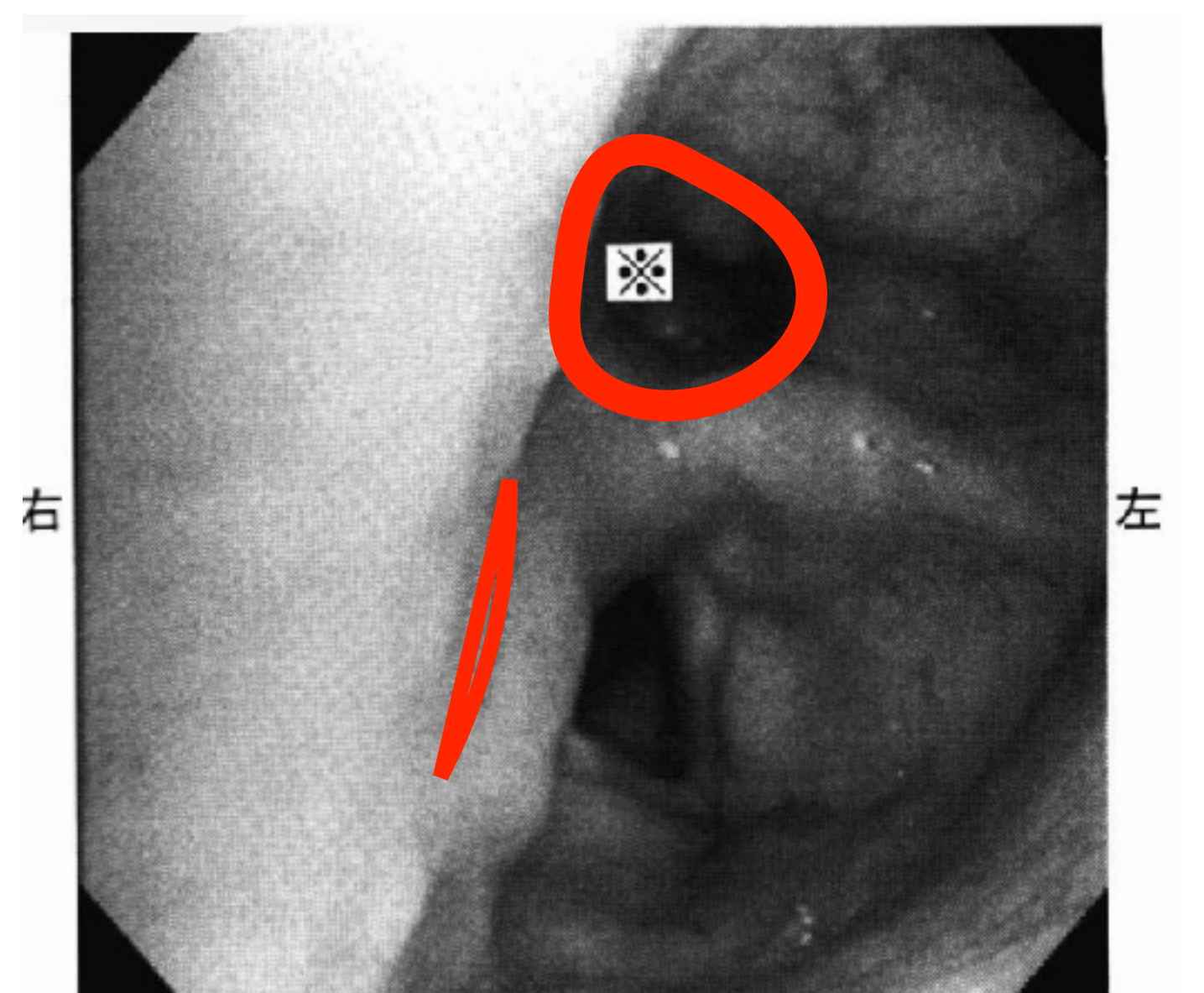
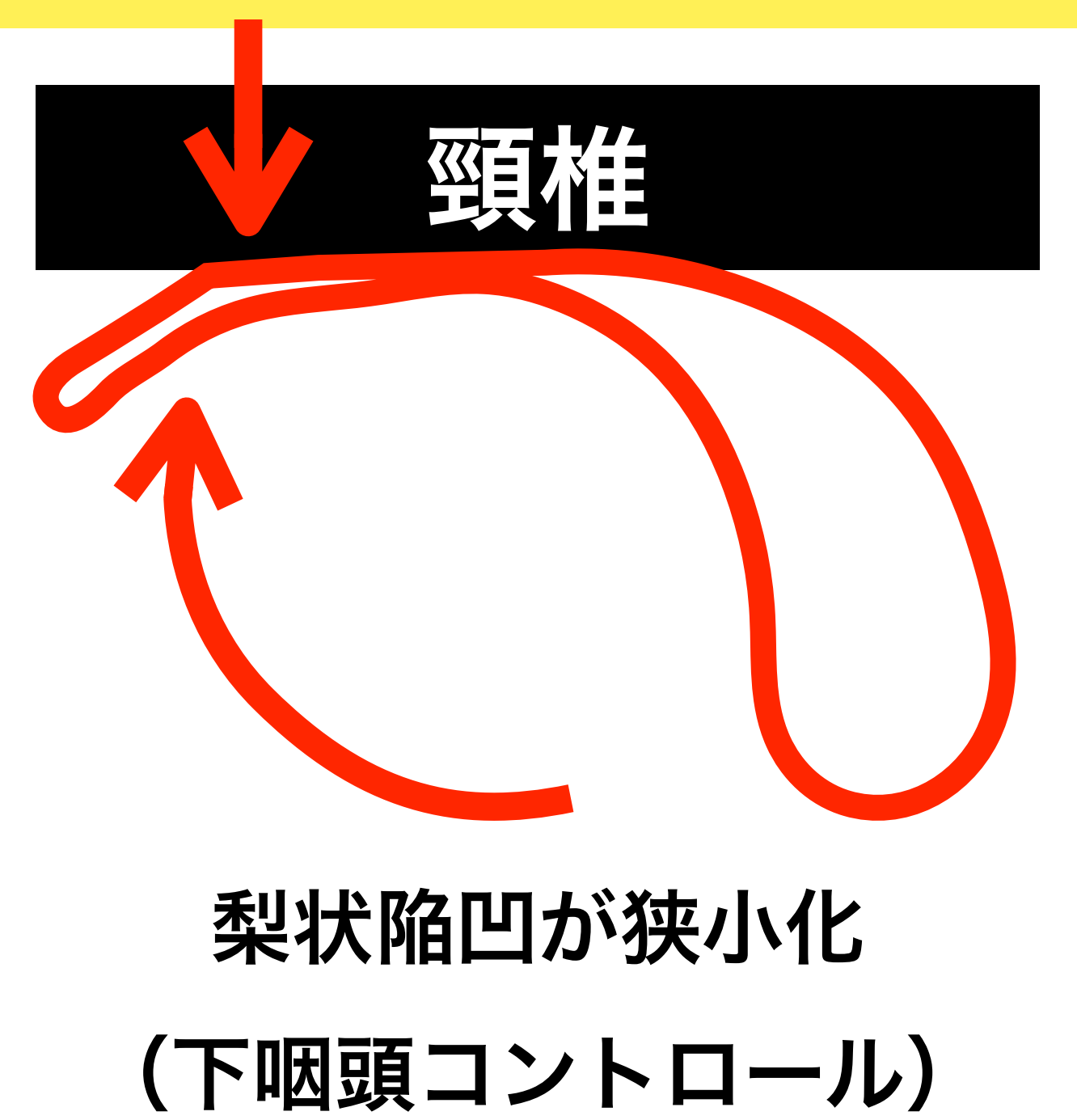




# 回旋での食塊の流れについて



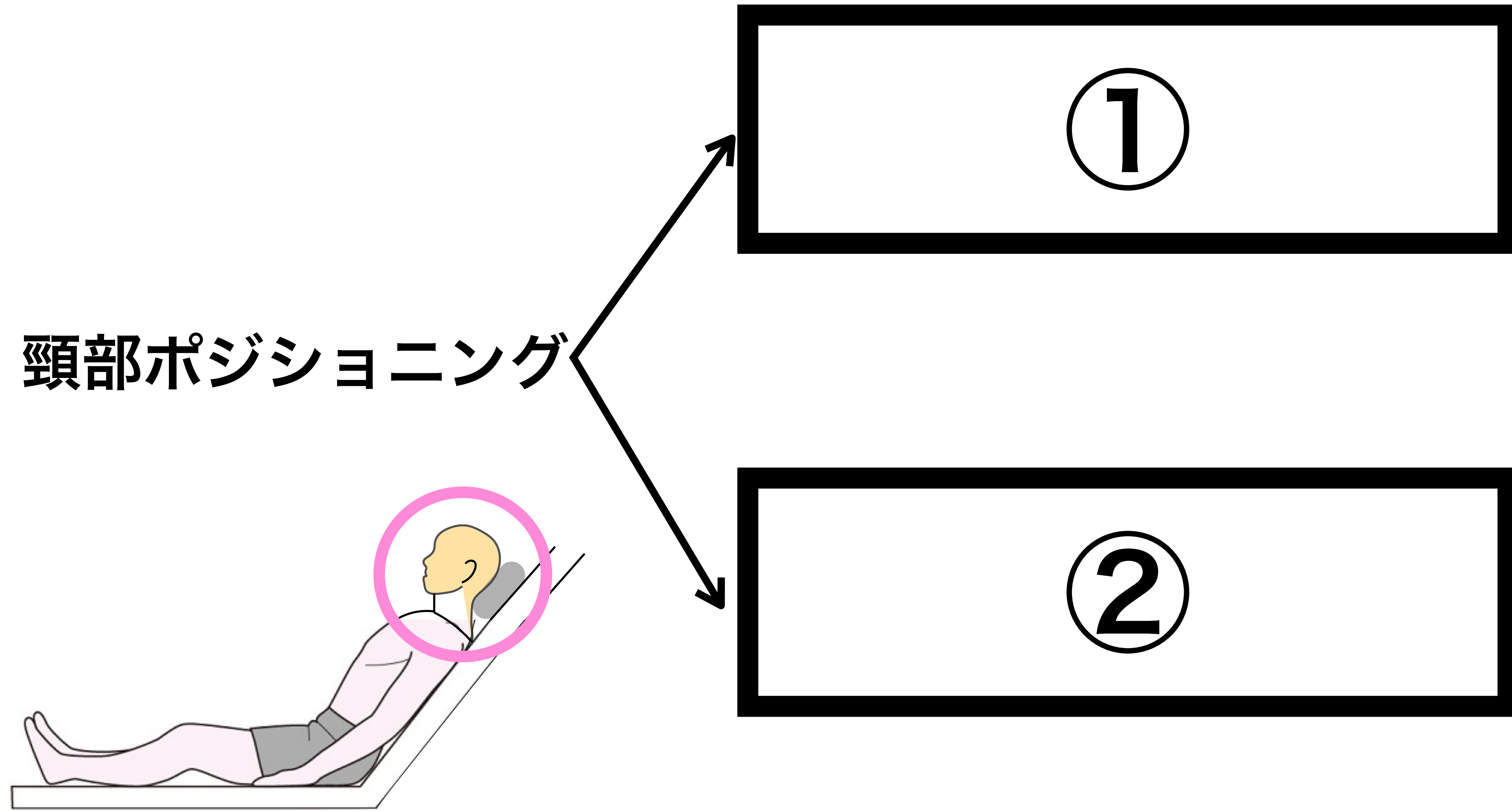
右回旋







# 基礎から考える 『頸部ポジショニング』





# 食事介助 & 嚥下 3 回コース

復習用動画  
練習会・相談会付き


## 基礎から臨床まで“学ぶ” 食事介助コース

- ① 食事介助での評価・分析：5月23日
- ② 認知期の評価・治療：5月30日
- ③ 口腔準備期の評価・治療：6月6日

基礎から学べる臨床の悩みをサポート  
仲間と臨床相談でskill up!

毎週火曜日20:00～21:30

→練習会・相談会 2回開催

今後も『嚥下』の情報発信していきます！  
いいね&フォローお願いします♪ 

koniyan1201




90 1606  
投稿 フォロワー


高齢者の嚥下リハビリ コニヤン  
教育

- \* 高齢者/脳卒中の嚥下障害専門リハビリ
- \* 嚥下セミナー毎月開催中
- \* 呼吸・姿勢&嚥下をテーマに情報発信中
- \* LINE登録で無料セミナー開催中

[linktr.ee/koniyan](https://linktr.ee/koniyan)

【公式LINE】摂食嚥下を継続して学びたい方はコチラ 

【公式HP】摂食嚥下セミナー情報

【Note】セミナーレポート・セミナー情報はコチラ 

【アシスタントNote】嚥下チーム内勉強会を配信 

  
参加は  
公式LINEから！

 公式LINE無料セミナー&相談会

4月5日(水) 21:00~  
頸部角度に応じた  
食塊の流れの違い

